

下北地域公共交通総合連携計画 (資料編)

平成23年3月

むつ市・大間町・東通村・風間浦村・佐井村

目 次

1. 検討の経緯	資－ 1
2. 移動実態アンケート	資－ 3
2. 1 調査概要	資－ 3
2. 2 調査結果	資－11

1. 検討の経緯

(1) 平成 21 年度

第 1 回 (仮称) 下北地域公共交通総合連携協議会 (平成 21 年 12 月 24 日 (木))

- ・ (仮称) 下北地域公共交通総合連携協議会規約 (案) について
- ・ (仮称) 下北地域公共交通総合連携協議会役員を選任等について
- ・ (仮称) 下北地域公共交通総合連携協議会事務局規程 (案) について
- ・ (仮称) 下北地域公共交通総合連携協議会財務規程 (案) について
- ・ 下北地域における交通の現状等について
- ・ 地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画認定申請書 (素案) について
- ・ 今後の予定について

第 2 回下北地域公共交通総合連携協議会 (平成 22 年 2 月 16 日 (火))

- ・ 地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画認定申請書 (案) について
- ・ 今後の予定について

(2) 平成 22 年度

平成 22 年度第 1 回下北地域公共交通総合連携協議会 (平成 22 年 11 月 16 日 (火))

- ・ 経過報告
- ・ 下北地域公共交通総合連携計画策定調査の進め方について
- ・ 地域公共交通の現状分析について
- ・ 移動実態アンケート調査実施計画 (案) について
- ・ 交通事業者・観光実態調査実施計画 (案) について

各種アンケート、ヒアリングの実施

- ・ 住民アンケート (12 月実施)
- ・ 観光協会ヒアリング (12 月実施)

平成 22 年度第 2 回下北地域公共交通総合連携協議会 (平成 23 年 1 月 29 日 (土))

- ・ 下北地域公共交通総合連携計画 (素案) について
- ・ 下北地域公共交通総合連携計画 (素案) に対するパブリックコメント (意見) 募集について
- ・ 調査事業に係る事後評価について (報告)

パブリックコメント募集 (平成 23 年 2 月 7 日 (月) ~2 月 21 日 (月))

- ・ 下北地域公共交通総合連携計画 (素案)

下北地域公共交通総合連携計画案承認 (平成 23 年 3 月 29 日 (火))

下北地域公共交通総合連携協議会 委員名簿
(平成 23 年 3 月現在)

(敬称略、順不同)

区分	所属	職名	氏名	備考
法第6条第2項第1号 ○連携計画を作成しよ うとする市町村	むつ市総務政策部	政策推進監	伊藤 道郎	
	大間町企画経営課	課長	伊藤 健一	
	東通村経営企画課	課長	田中 政明	
	風間浦村総務課	課長	中津 耕太郎	
	佐井村総務課	参事・課長	鹿嶋 年男	
法第6条第2項第2号 ○関係する交通事業 者等	東日本旅客鉄道(株)大湊線営業所	所長	柳谷 登	
	JRバス東北(株)大湊営業所	所長	村上 美伸	
	下北交通(株)	常務取締役	杉山 毅	
	シライイン(株)	代表取締役	濱崎 正明	
	むつ湾フェリー(株)	常務取締役	石川 俊夫	
	青森県タクシー協会むつ支部	支部長	館岡 清貴	
	青森県タクシー協会下北支部	支部長	乙部 文夫	
○関係する道路管理者	下北地域県民局地域整備部道路施設課	課長	松橋 靖之	
○関係する漁港管理者	下北地域県民局地域農林水産部下北地 方漁港漁場整備事務所管理課	課長	宇野 貴	
法第6条第2項第3号 ○公安委員会	むつ警察署交通課	課長	佐藤 克彦	
	大間警察署交通課	課長	大橋 次郎	
○利用者	青森県地域婦人団体連合会下北地区ブ ロック	ブロック長	齋藤 美津江	
	むつ市老人クラブ連合会	会長	大畑 敏和	
	下北郡老人クラブ連合会	会長	松谷 幸一	
	むつ市連合PTA	会長	柴田 文彦	
	下北郡連合PTA	会長	野崎 尚文	
	むつ商工会議所	会頭	關 實	(副会長)
	川内町商工会	理事	本間 千佳子	(監事)
	大畑町商工会	会長	越後林 達巳	
	大間町商工会	会長	松山 義文	
	東通村商工会	会長	二本柳 雄作	
	風間浦村商工会	会長	駒嶺 剛一	
	佐井村商工会	会長	山口 捷夫	
	下北観光協議会	事務局長	柳谷 孝志	
法第6条第2項第4号 ○学識経験者等	青森公立大学	教授	山本 恭逸	(会長)
	国土交通省東北運輸局青森運輸支局	首席運輸 企画専門官	田中和 男	
	下北地域県民局地域連携部地域支援室	室長	村上 泰浩	(監事)

2. 移動実態アンケート

2. 1 調査概要

(1) 目的

地方の公共交通（鉄道、バス、タクシー、船）は利用者の減少などで厳しい経営状況の中、国や自治体から補助金を受けながら経営を続けている。一方で国や自治体も財政状況は厳しく、交通事業者への補助金は年々減少している。今後も利用者が少ない状況が続きますと交通事業者の経営状況はますます悪化（赤字の増加）し、いずれ（近い将来）は路線の縮小や廃止、交通事業者の経営破たんといった事態が予想される。また一旦廃止された路線を復活させることは全国的にみても非常に困難であり、この地域においてもそのようになる可能性が高いと思われる。

以上のような最悪の事態を避けるため、地域住民の公共交通の利用状況や公共交通に対する考えを聞くことで、既存データからは分かり得ない実態を把握し、下北地域公共交通総合連携計画を策定するための基礎資料とすることを目的とする。

(2) ねらい

- ① 季節の違いによる外出行動の違いを把握する。
- ② 年齢の違いによる公共交通に対する意識や考え方の違いを把握する。
- ③ 特に高齢者層の行動実態と若年層の公共交通に対する意識や考え方を明らかにする。

(3) 内容

以下にアンケート調査の対象者・主旨・内容を示す。

名称	対象者	主旨	内容
移動実態アンケート	下北地域の住民	<ul style="list-style-type: none">・季節の違いによる外出行動の違いの把握（特に高齢者層）・年齢の違いによる公共交通に対する意識や考え方の違いの把握（特に若年層）	<ul style="list-style-type: none">○性別、年齢、住所、職業、勤務先、自動車利用環境、送迎環境○日常の市町村を跨ぐ外出の目的地、理由、利用交通手段、頻度等○昔と現在の交通手段比較（60歳以上）○公共交通に対する意識や考え方

(4) 実施方法等

1) 調査対象範囲

下北地域の全域を対象とした。対象地域の総人口は約8万3千人であり、総世帯数は約3万6千世帯である。このうち、15歳以上の人口は約7万2千人であり、1世帯当たり平均約2人の居住となる。また、むつ市は広域なため、むつ地区、大畑地区、川内地区、脇野沢地区の4地区に細分化し、調査を実施した。



アンケート調査対象地域

アンケート調査対象地域の人口及び世帯数

対象地域	総人口 (人)	15歳以上人口 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯当たり15歳以上人員 (人)
むつ市	64,247	55,711	28,849	1.9
大間町	6,210	5,323	2,483	2.1
東通村	7,403	6,520	2,725	2.4
風間浦村	2,475	2,232	1,033	2.2
佐井村	2,494	2,238	1,039	2.2
計	82,829	72,024	36,129	2.0

2) 調査票の配布票数

配布および回収方法の違いにより回収率が異なると考えられるため、以下の2通りとした。

① むつ市むつ地区 (大湊地区+田名部地区)

むつ市むつ地区の15歳以上人口は41,994人(平成21年9月末現在)であり、

抽出率を 1%とすると標本数（＝目標回収票数）は 420 人（票）となる。標本数を回収するためには、予想回収率を 20%と設定した場合に 2,100 票の配布が必要となる。むつ市の一世帯当たりの平均人員が 2 人であることから一世帯当たりに 2 票を配布した。配布世帯数は約 1,050 世帯となる。

アンケート配布世帯数、及び配布票数

調査圏域	㉑15 歳以上人口	㉒標本数 [㉑×1%]	㉓予想 回収率	㉔配布票数 [㉒÷㉓]	㉕配布世帯数 [㉔÷2 票]
むつ市 むつ地区	41,994 人	420 票	20%	2,100 票	1,050 世帯

出典：データむつ 2010

② むつ市(大畑地区、川内地区、脇野沢地区)、大間町、東通村、風間浦村、佐井村

人口の多い地区・集落のみの移動実態を把握するのではなく、下北地域全域の住民の移動実態を把握するために各集落から満遍なく、標本を採取した。そのため、各集落の総世帯数の 5%に対して調査票を配布した（5%が 10 世帯に満たない場合は、集落に最低 10 世帯に配布するよう、修正する）。下北地域のむつ市むつ地区を除いた地域の一世帯当たりの平均人員が 2 人であることから一世帯当たりに 2 票を配布した。

アンケート配布世帯数、及び配布票数

調査圏域	㉑集 落 数	㉒配布世帯数 [総世帯数× 5%]	㉓配布世帯数 (最低 10 票 配布)	㉔配布票数 [2 票×㉓]	㉕予想 回収率	㉖標本数 (＝目標 回収票数) [㉓×㉔]
むつ市 大畑地区	24	179 世帯	272 世帯	544 票	40%	218 票
むつ市 川内地区	26	107 世帯	265 世帯	530 票	40%	212 票
むつ市 脇野沢地区	19	43 世帯	190 世帯	380 票	40%	152 票
大間町	3	252 世帯	252 世帯	504 票	40%	202 票
東通村	29	137 世帯	321 世帯	642 票	40%	257 票
風間浦村	4	52 世帯	59 世帯	118 票	40%	47 票
佐井村	9	63 世帯	106 世帯	212 票	40%	85 票
計	114	833 世帯	1,465 世帯	2,930 票		1,172 票

3) 調査対象者への配布方法

① むつ市むつ地区（大湊地区+田名部地区）

住民基本台帳からむつ地区の下表の世帯数を抽出し郵送配布した。

むつ市むつ地区の町内別抽出世帯数

町名	抽出する世帯数	町名	抽出する世帯数
本町	2	金曲三丁目	14
田名部町	5	大曲一丁目	17
柳町一丁目	8	大曲二丁目	4
柳町二丁目	13	大曲三丁目	3
柳町三丁目	15	一里小屋、南那古平、清平	7
柳町四丁目	15	名古平	1
新町	56	南関根	7
横迎町一丁目	20	北関根	8
横迎町二丁目	19	高梨	1
上川町	20	水川目	1
小川町一丁目	30	美付、浜関根	6
小川町二丁目	17	出戸	3
栗山町	12	川代	4
女館	7	鳥沢	8
尻釜	1	新田	1
宮ノ後	1	上新田、大室平	5
権山	4	金谷沢	4
赤坂	13	神山、二又	1
土手内	11	今泉	1
斗南丘	3	石蔵平、奥内	6
最花	3	浜奥内	3
品ノ木	22	近川	13
酪農	1	中野沢	7
岩菜、松山町	17	中野沢開拓	1
緑ヶ丘	15	山田町	31
十二林	7	浜森町	14
美里町	3	荒川町	13
長坂	1	真砂町	1
金谷一丁目	18	文京町	21
金谷二丁目	12	旭町	22
金谷団地	1	並川町	21
中央一丁目	5	大平町	32
中央二丁目	21	大湊新町	25
越葉沢	1	大湊浜町	14
海老川町	35	大湊上町	15
昭和町	28	川守町	24
緑町	23	宇田町	15
下北町	20	桜木町	31
仲町	32	宇曾利川	4
若松町、港町	16	堺田	1
南町	10	新城ヶ沢	6
赤川町	4	城ヶ沢	4
松原町	5	泉沢	2
南赤川町	1	永下	1
菅生町一丁目	7	近沢	1
菅生町二丁目	10	角違	4
金曲一丁目	28	田名部地区小計	756
金曲二丁目	12	大湊地区小計	302
		計	1,058

田名部地区
756 世帯

大湊地区
302 世帯

※複数の町名が記載されている場合の複数町内あわせた合計の世帯数

② むつ市(大畑地区、川内地区、脇野沢地区)、大間町、東通村、風間浦村、佐井村

各集落の最低 10 世帯に対して配布できるよう広報紙に挿み、各地区の行政連絡員（大間町は町内会）が広報紙と一緒に配布した（各集落の配布世帯は無作為抽出）。

4) 調査票の回収方法

① むつ市むつ地区（大湊地区+田名部地区）

郵送回収

② むつ市(大畑地区、川内地区、脇野沢地区)、大間町、東通村、風間浦村、佐井村

各地区の行政連絡員（大間町は町内会）が直接回収

5) 配布・回収期間

配布・回収期間

調査圏域	配布日	回収日
むつ市むつ地区	11月25日	12月15日
むつ市大畑、川内、脇野沢地区	12月1日	12月15日
大間町	12月1日	12月15日
東通村	12月1日	12月15日
風間浦村	12月1日	12月15日
佐井村	12月1日	12月15日

6) 調査票

(この調査票はむつ地区用)

下北地域の公共交通に関するアンケート 調査票

質問1

「下北地域の公共交通に関するアンケート ご協力をお願い」の裏面にある説明書きを読んでからお答えください。

次の(1)、(2)の時期に当地域内の市町村(地区)の境を越えて移動(外出)したことがある方は、最も多く行った場所、その場所へ行った目的と回数を1つずつ選んで番号に○をつけてください。また、そのとき利用した全ての交通手段を選んで番号に○をつけてください。

(1) 今年の8月から10月まで

(この期間に移動(外出)をしなかった方は(2)へ進んでください)

①最も多く行った場所

- | | | | |
|-----------------------|------------|-------------|--------|
| 1. むつ市大畑地区 | 2. むつ市川内地区 | 3. むつ市脇野沢地区 | |
| 4. 大間町 | 5. 東通村 | 6. 風間浦村 | 7. 佐井村 |
| 8. その他(具体的にお書きください:) | | | |

②その場所へ行った目的

- | | | |
|-----------------------|-------|-------------|
| 1. 通勤(パート、アルバイト含む) | 2. 通学 | 3. 仕事(通勤以外) |
| 4. 買い物 | 5. 通院 | 6. 知人・親戚に会う |
| 7. その他(具体的にお書きください:) | | |

③その場所へ行った回数(その場所へ行った目的が「通勤(パート、アルバイト含む)」または「通学」の方は④に進んでください)

- | | | | |
|-----------------------|------------|-----------|------------|
| 1. 週に2回以上 | 2. 週に1回くらい | 3. 月に2~3回 | 4. 月に1回くらい |
| 5. その他(具体的にお書きください:) | | | |

④そのとき利用した交通手段

- | | | | | |
|--------------|------------|---------|---------|-----------------------|
| 1. 自動車(自ら運転) | 2. 自動車(送迎) | 3. 路線バス | 4. 送迎バス | |
| 5. タクシー | | | | 6. その他(具体的にお書きください:) |

(2) 今年の11月から12月まで(これからの予定も含みます)

(この期間に移動(外出)をしなかった(予定のない)方は質問2へ進んでください)

①最も多く行った場所

- | | | | |
|-----------------------|------------|-------------|--------|
| 1. むつ市大畑地区 | 2. むつ市川内地区 | 3. むつ市脇野沢地区 | |
| 4. 大間町 | 5. 東通村 | 6. 風間浦村 | 7. 佐井村 |
| 8. その他(具体的にお書きください:) | | | |

②その場所へ行った目的

- | | | |
|-----------------------|-------|-------------|
| 1. 通勤(パート、アルバイト含む) | 2. 通学 | 3. 仕事(通勤以外) |
| 4. 買い物 | 5. 通院 | 6. 知人・親戚に会う |
| 7. その他(具体的にお書きください:) | | |

③その場所へ行った回数(その場所へ行った目的が「通勤(パート、アルバイト含む)」または「通学」の方は④に進んでください)

- | | | | |
|-----------------------|------------|-----------|------------|
| 1. 週に2回以上 | 2. 週に1回くらい | 3. 月に2~3回 | 4. 月に1回くらい |
| 5. その他(具体的にお書きください:) | | | |

④そのとき利用した交通手段

- | | | | | |
|--------------|------------|---------|---------|-----------------------|
| 1. 自動車(自ら運転) | 2. 自動車(送迎) | 3. 路線バス | 4. 送迎バス | |
| 5. タクシー | | | | 6. その他(具体的にお書きください:) |

記入が終わったら裏面へ進んでください。

質問2

「下北地域の公共交通に関するアンケート ご協力をお願い」の裏面にある説明書きを読んでからお答えください。

現在、60歳以上の方のみお答えください。(60歳未満の方は質問3へ進んで下さい。)

あなたが30～40歳代の頃を思い出してください。当地域内の市町村(地区)を越える移動(外出)をするときに利用した交通手段のうち、多かったものから順に3つまで選んでその番号を下の回答欄に記入してください。「その他」を選んだときは回答欄に「7」と記入した後、その下の枠内に具体的にお書きください。

1. 自動車(自ら運転) 2. 自動車(送迎) 3. 路線バス 4. 送迎バス
5. タクシー 6. 鉄道(大畑線) 7. その他

(回答欄)

1番多かったもの	2番目に多かったもの	3番目に多かったもの

「その他」の内容を具体的にお書きください：

記入が終わったら質問4へ進んでください。

質問3

現在、60歳未満の方のみお答えください。

冒頭にも書きましたが、このままの状況が続くと近い将来(例えば10年以内に)、この地域から公共交通がなくなる可能性もあります(そのときあなたは今よりも年齢を重ねています)。公共交通をなくさないためには、公共交通を利用することが不可欠です。このことについてどのようにお考えですか。考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | |
|---|
| <p>1. この地域から公共交通がなくなると生活に困るので積極的に利用する</p> <p>2. 公共交通を残すために利用する機会を増やす(例：自動車を5回利用するうち1回は公共交通を利用する)</p> <p>3. 誰かが公共交通を残すために行動すると思うので特に何もしない</p> <p>4. 公共交通がなくなっても不便と感じないので特に何もしない</p> <p>5. その他(具体的にお書きください：)</p> |
|---|

記入が終わったら質問4へ進んでください。

2. 2 調査結果

(1) 配布・回収状況

配布・回収状況

調査圏域	配布票数	回収票数	回収率
むつ市むつ地区	2,116	554	26.2%
むつ市大畑地区	544	437	80.3%
むつ市川内地区	530	419	79.1%
むつ市脇野沢地区	380	247	65.0%
大間町	504	280	55.6%
東通村	642	292	45.5%
風間浦村	118	65	55.1%
佐井村	212	162	76.4%
合計	5,046	2,456	48.7%

(2) 各市町村(地区)の集計結果

①むつ市むつ地区

●回答者属性

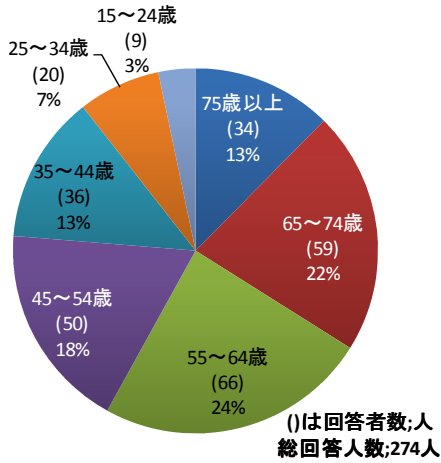


図 1-1 年齢別回答者数 (男性)

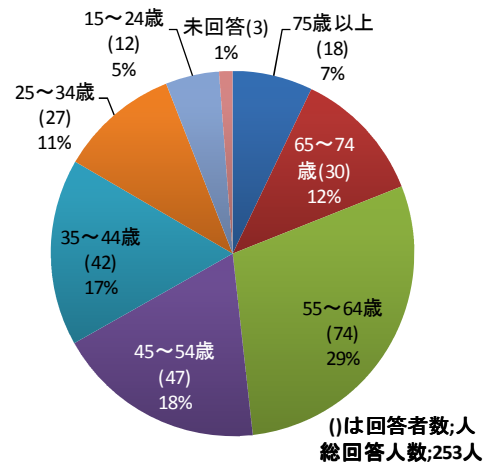


図 1-2 年齢別回答者数 (女性)

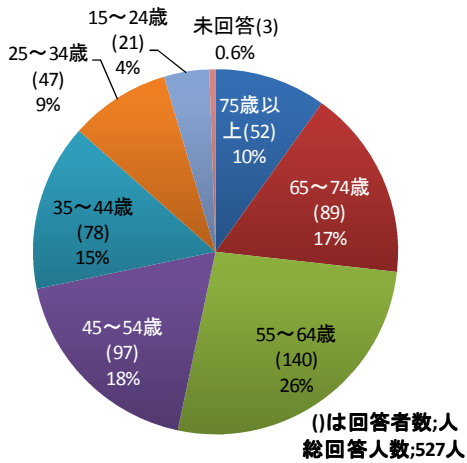


図 1-3 年齢別回答者数 (男女計)

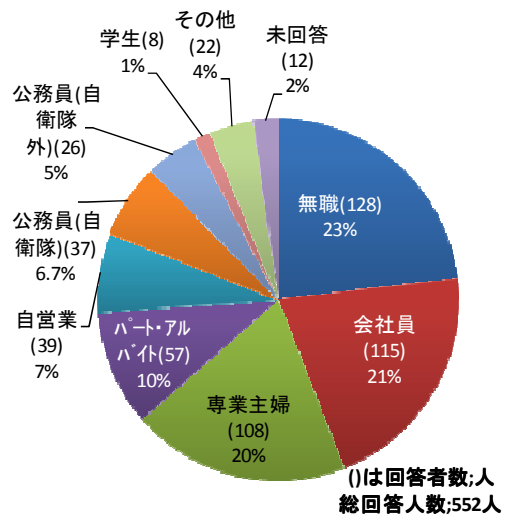


図 1-4 職業別回答者数

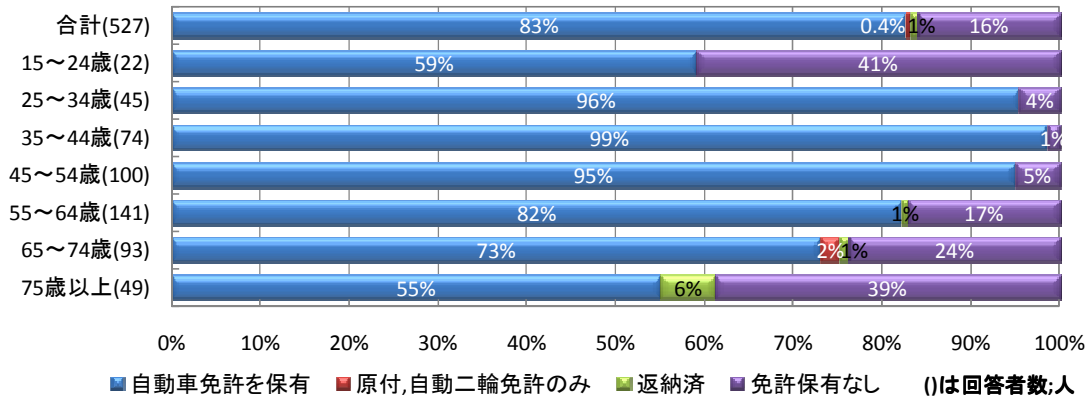


図 1-5 年齢別免許保有状況

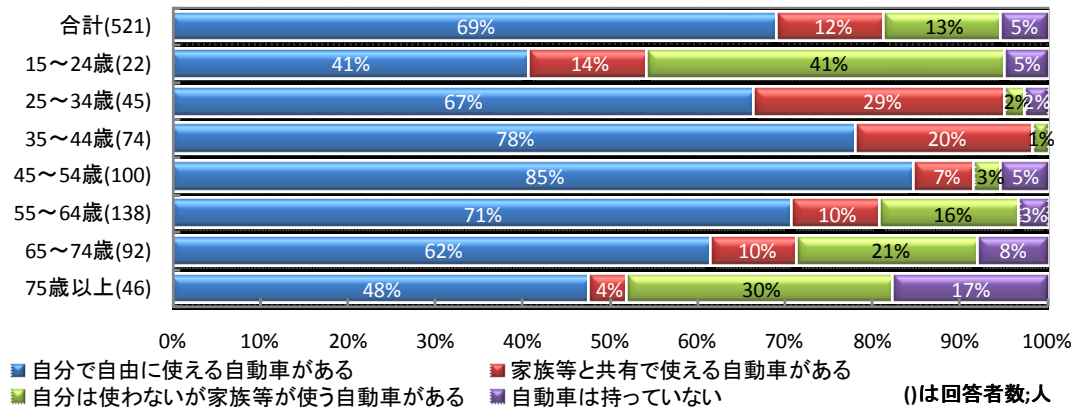


図 1-6 年齢別自家用車保有状況

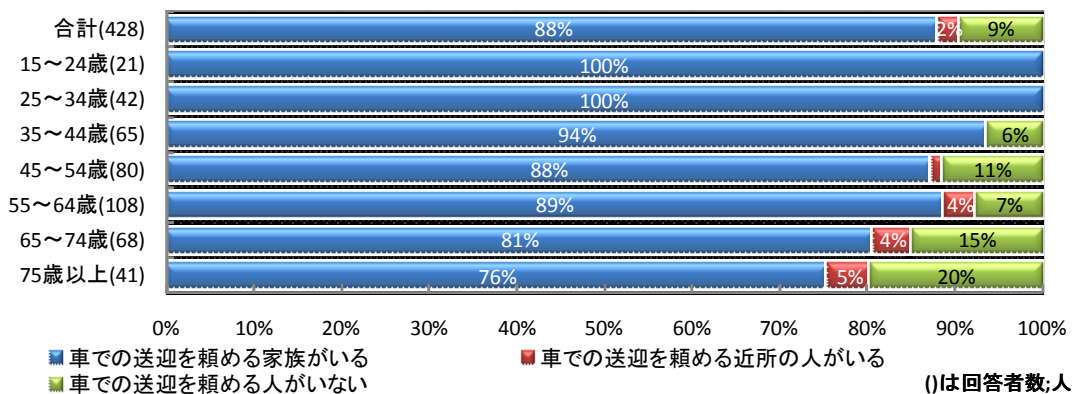


図 1-7 年齢別送迎環境

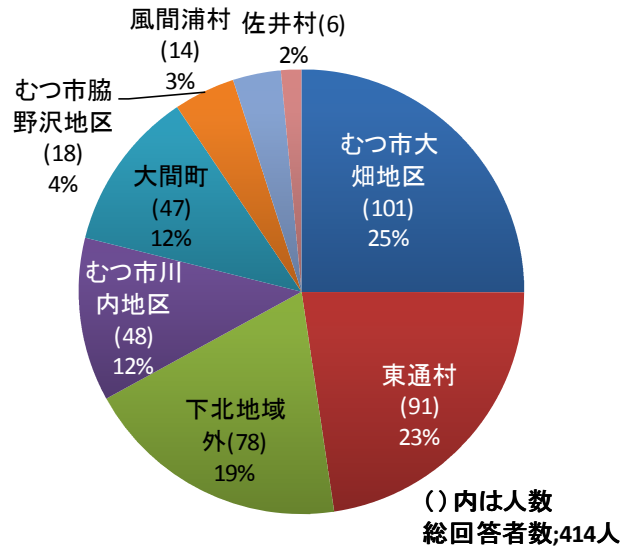


図 1-8 目的地別市町村を跨ぐ移動 (平成 22 年 8 月～10 月中)

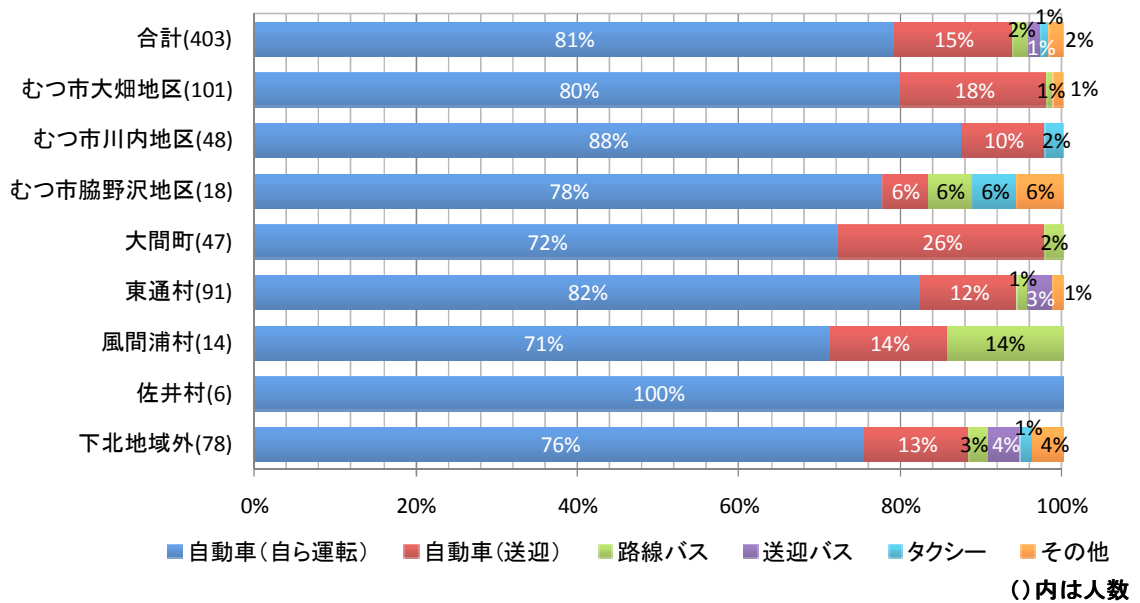


図 1-9 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

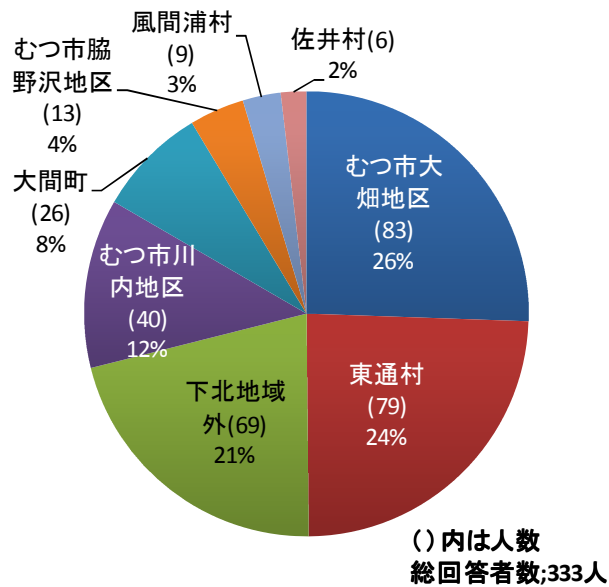


図 1-10 目的地別市町村を跨ぐ移動（平成 22 年 11 月～12 月中）

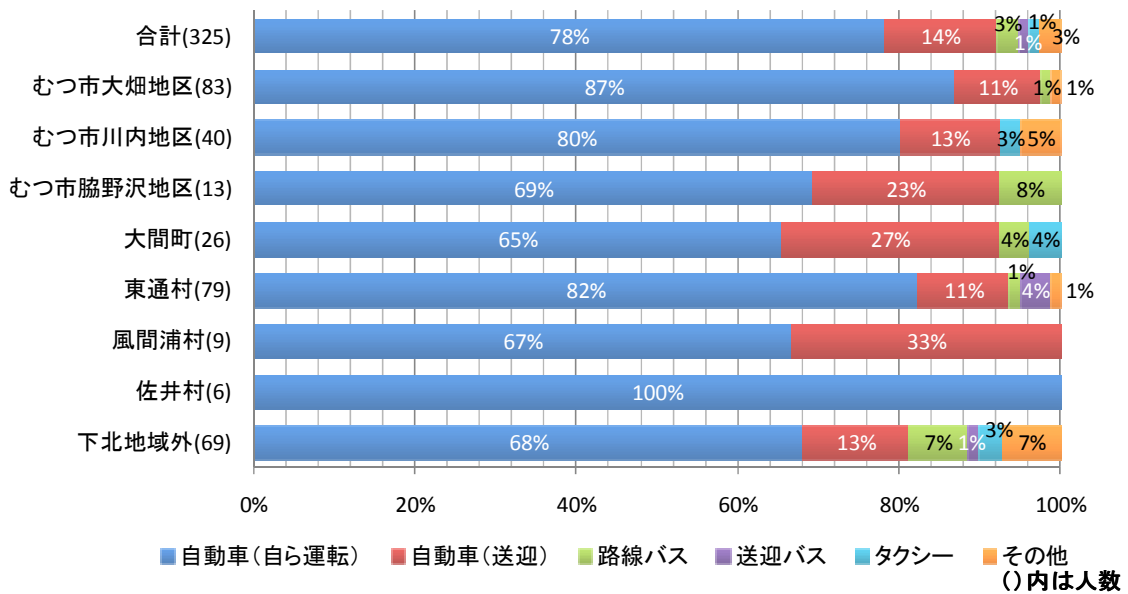


図 1-11 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段（平成 22 年 11 月～12 月中）

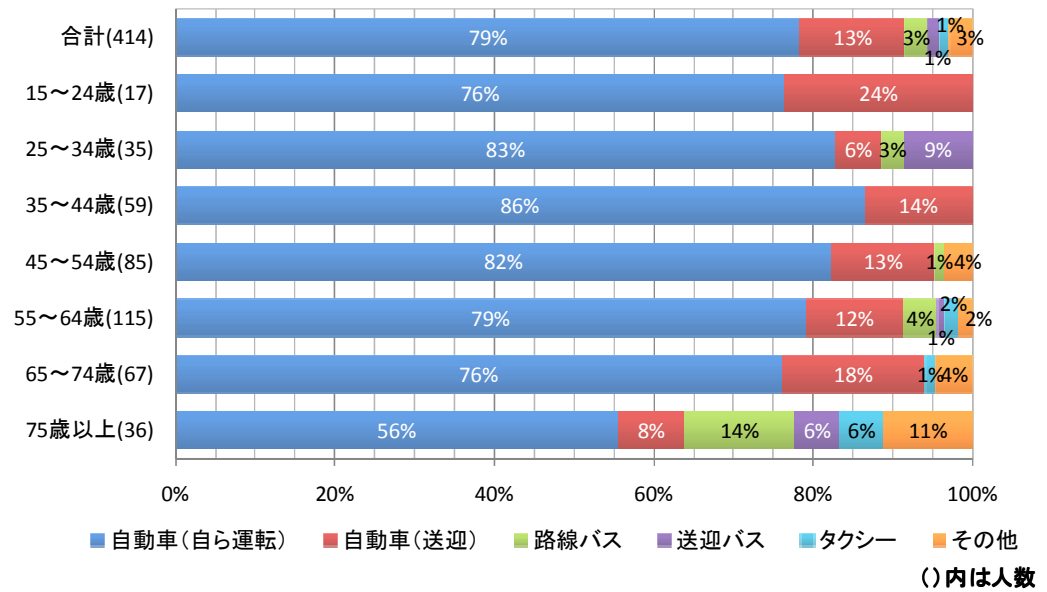


図 1-12 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

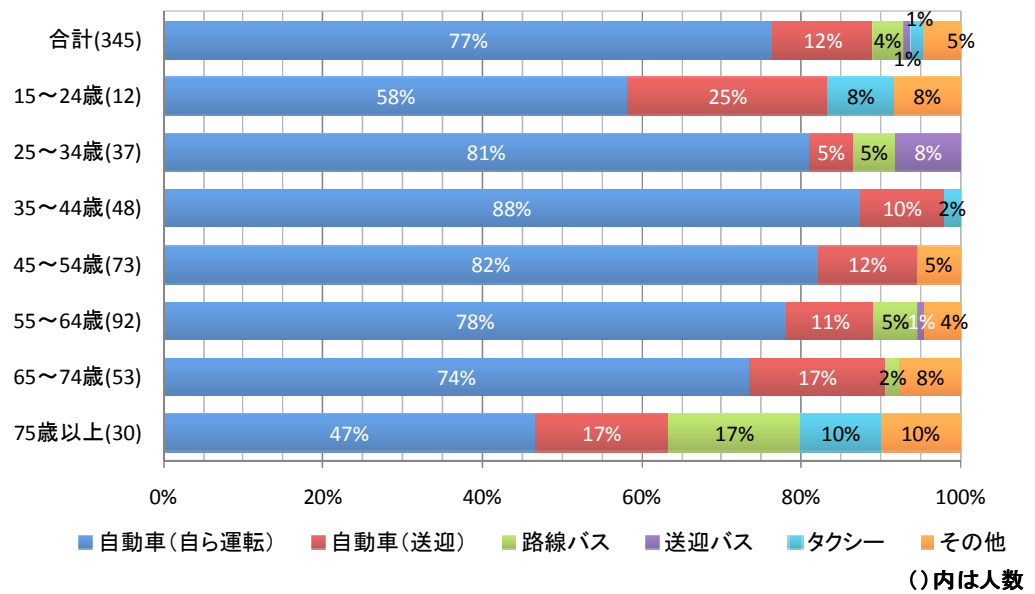


図 1-13 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 11 月～12 月中)

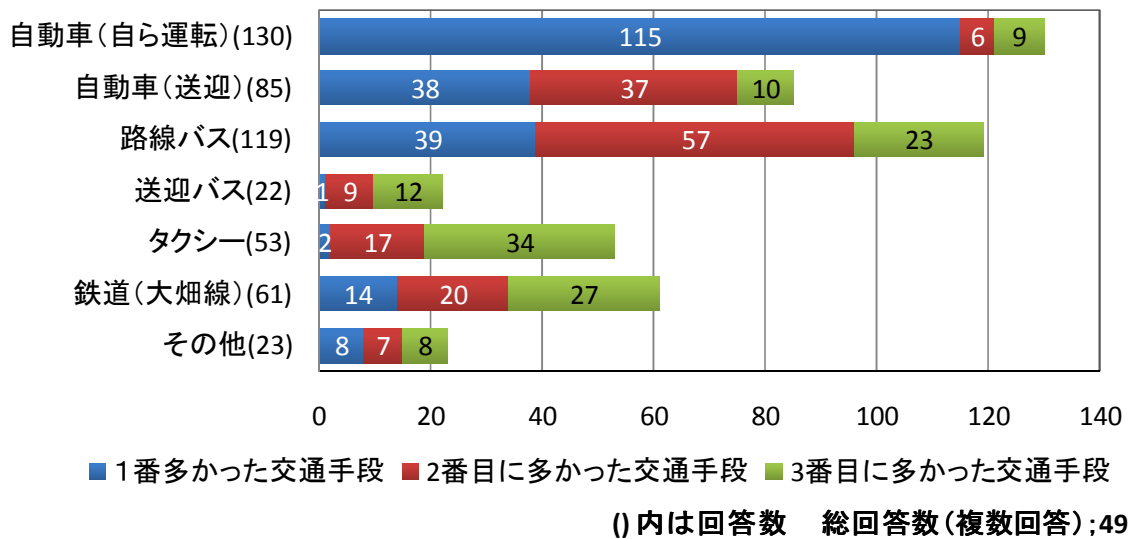


図1-14 過去の市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (60歳以上のみ回答)

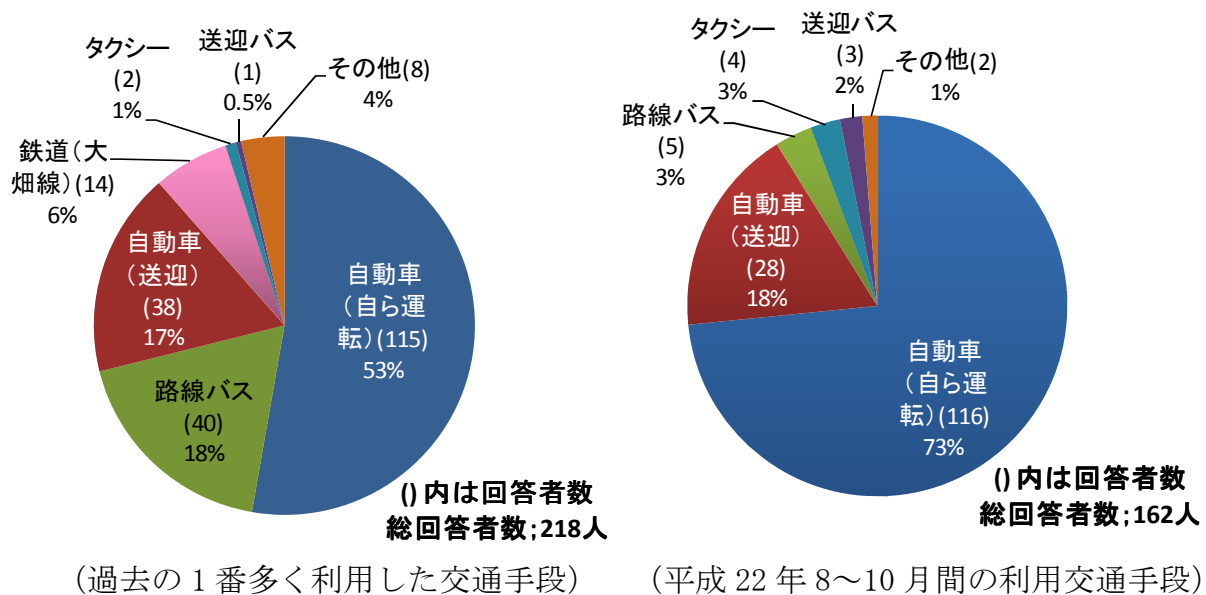


図1-15 市町村を跨ぐ移動の際の交通手段の比較 (60歳以上のみ回答)

●地域住民の意識

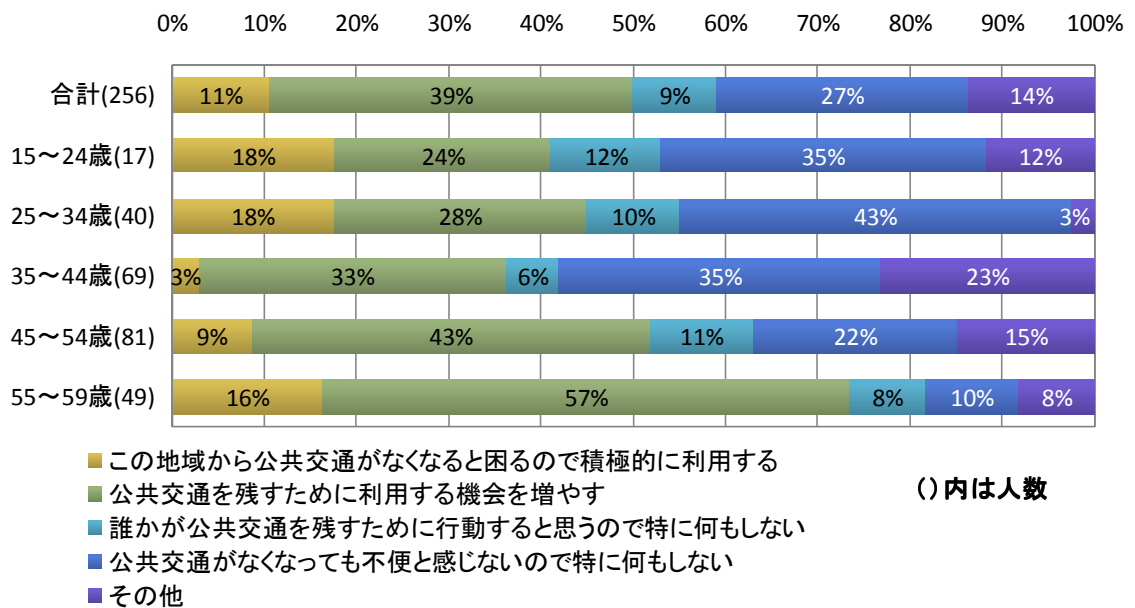


図 1-16 年齢別公共交通機関に対する意識（60歳未満のみ回答）

45～54歳の「その他」と回答した人の意識

- ・市営への切替、自治体が補助する等、最低限の公共交通を確保する。
- ・現在運行されているバスは大型で無駄が多いように感じるので、マイクロバスタイプ等の効率の良い手段を考える。

35～44歳の「その他」と回答した人の意識

- ・家族での外出や荷物を持って行く事が多いので、公共交通では不便だし料金もかかるので、自分での使用は難しいが、学生、年配の方はよく利用しているので全部なくなると困る。
- ・時間に追われて生活している為、現状のバスの本数・路線等では利用しにくく、目的地に着くことが出来ない。
- ・利用してみたいとは思いますが、子供がまだ小さく、鉄道に関しては遅れ・運休がよくあると聞き、なかなか利用する気にならない。

②むつ市大畑地区

●回答者属性

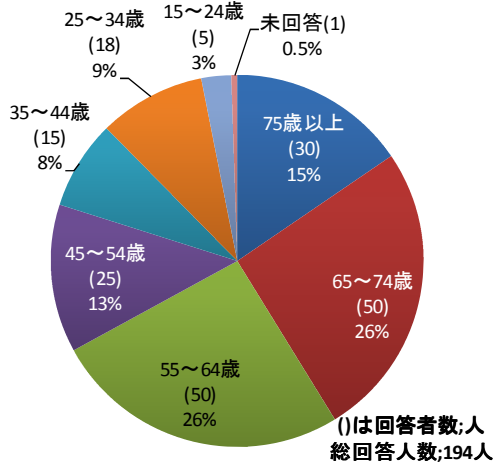


図 2-1 年齢別回答者数 (男性)

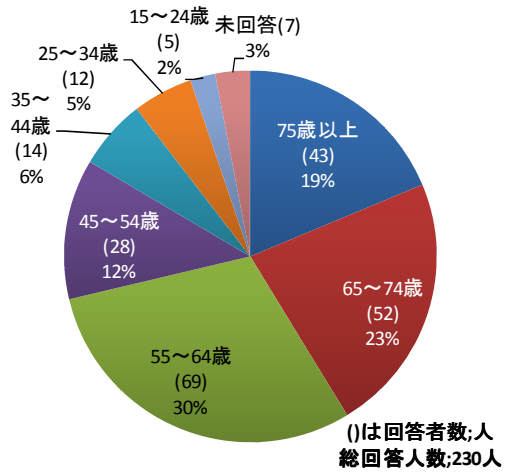


図 2-2 年齢別回答者数 (女性)

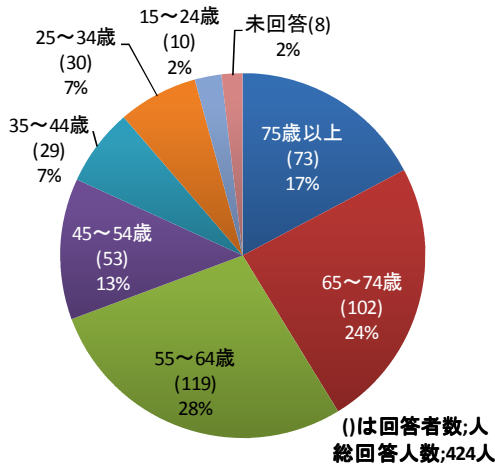


図 2-3 年齢別回答者数 (男女計)

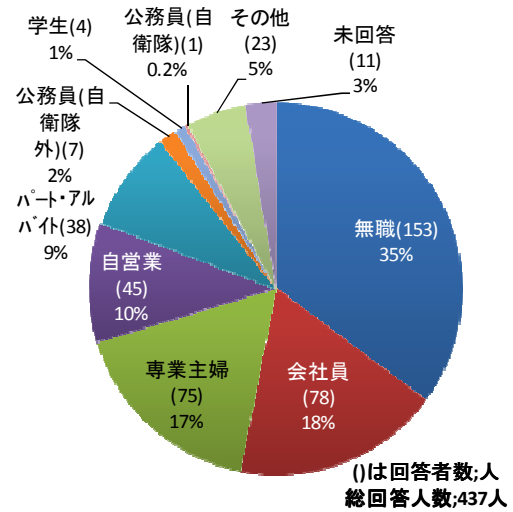


図 2-4 職業別回答者数

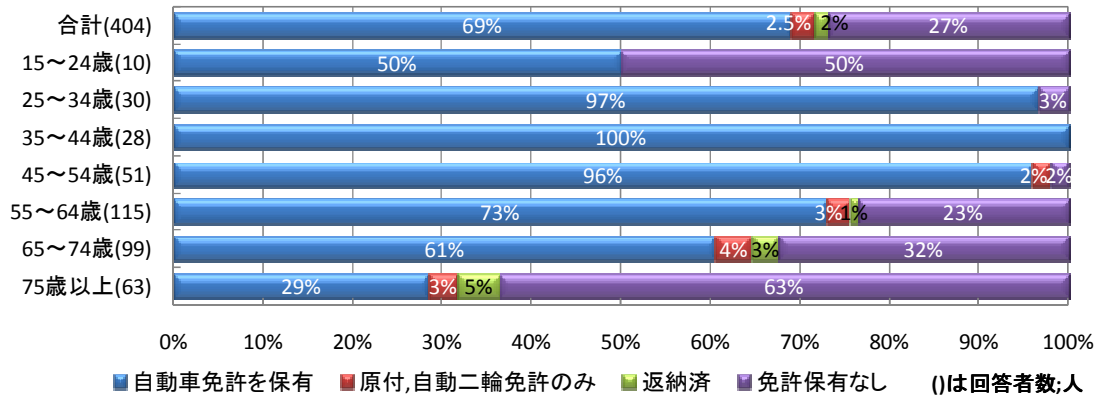


図 2-5 年齢別免許保有状況

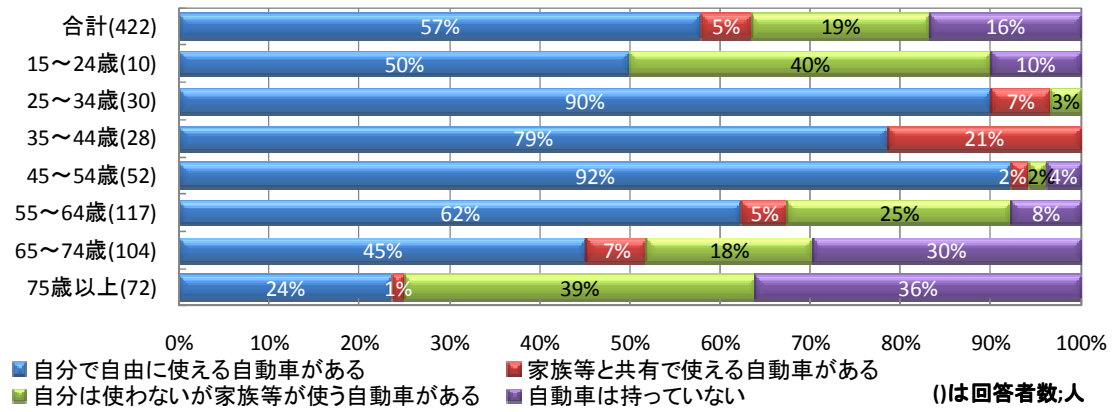


図 2-6 年齢別自家用車保有状況

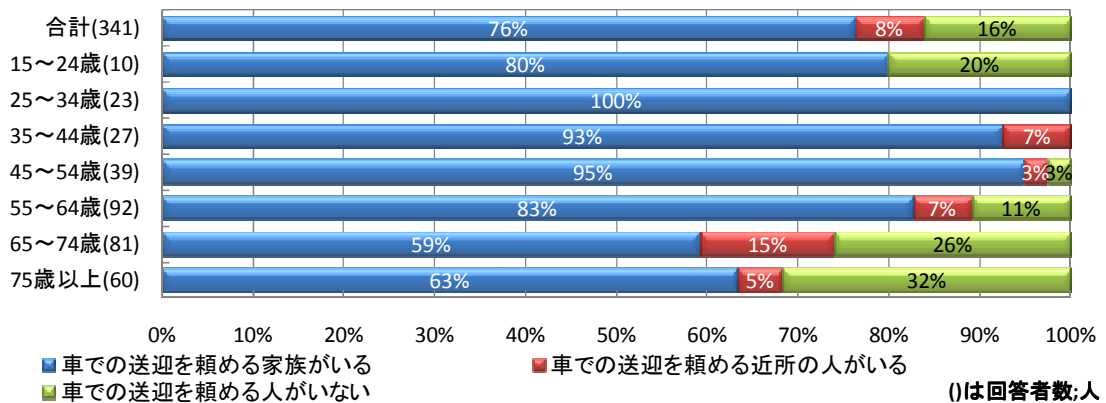


図 2-7 年齢別送迎環境

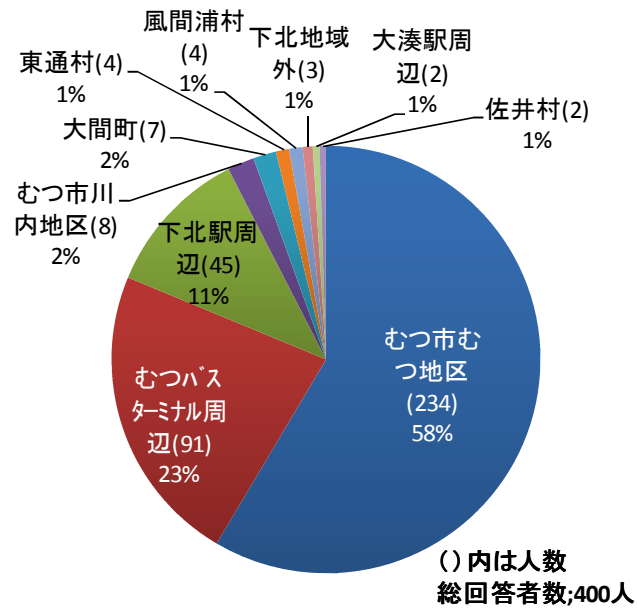


図 2-8 目的地別市町村を跨ぐ移動 (平成 22 年 8 月～10 月中)

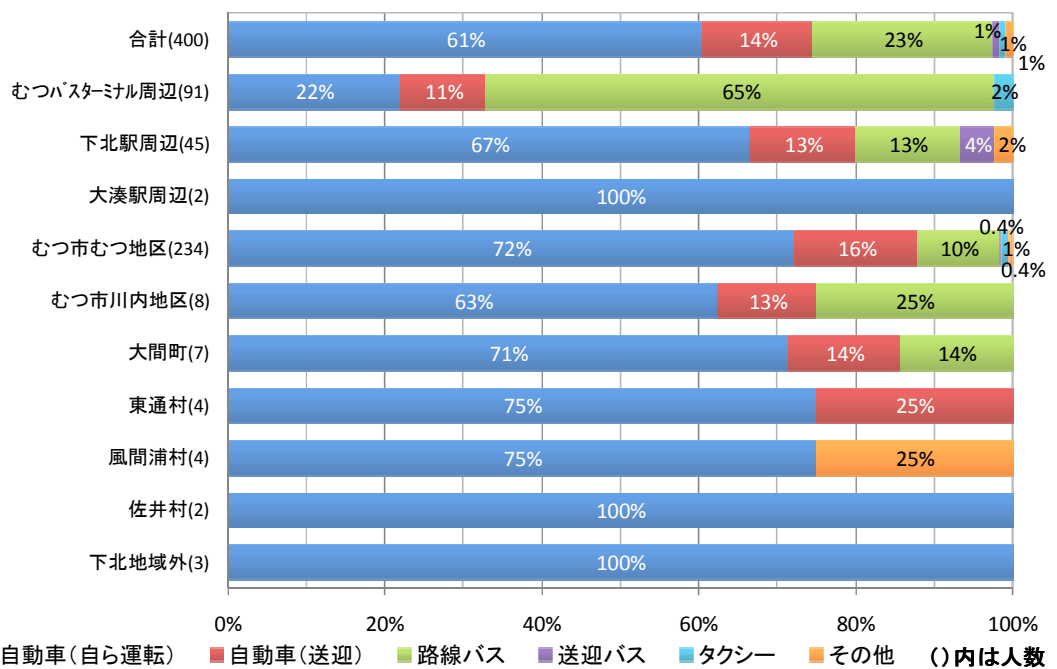


図 2-9 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

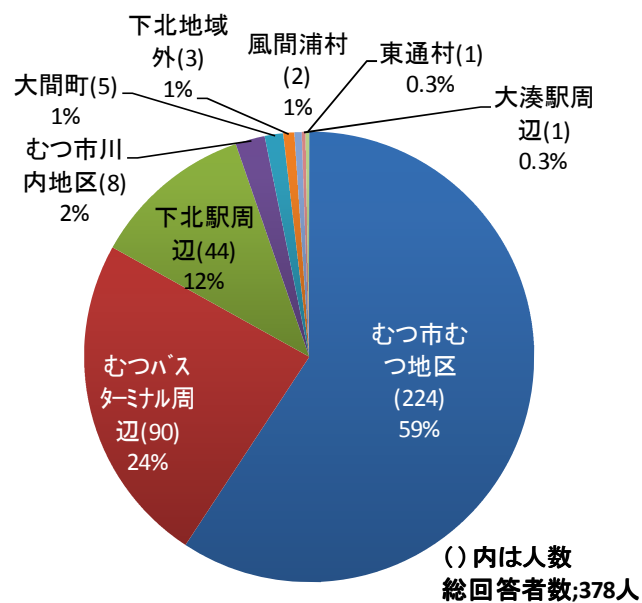


図 2-10 目的地別市町村を跨ぐ移動 (平成 22 年 11 月～12 月中)

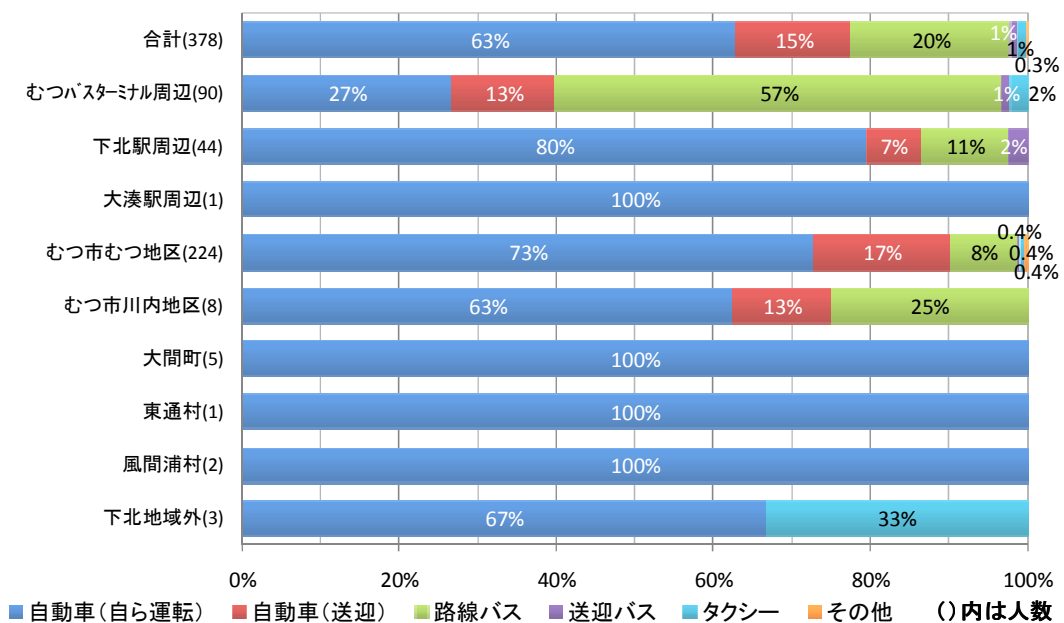


図 2-11 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 11 月～12 月中)

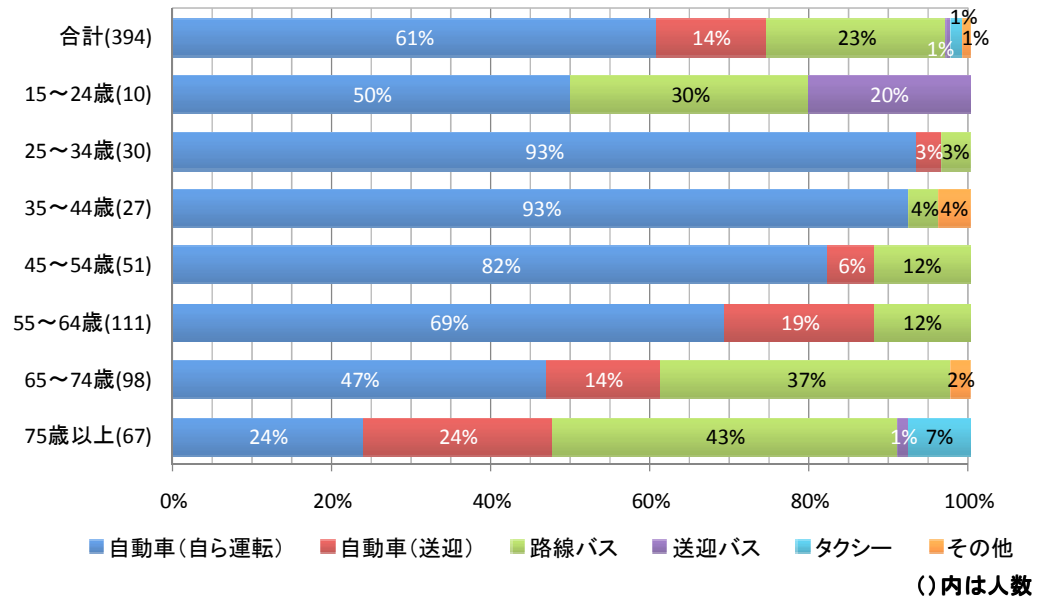


図 2-12 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

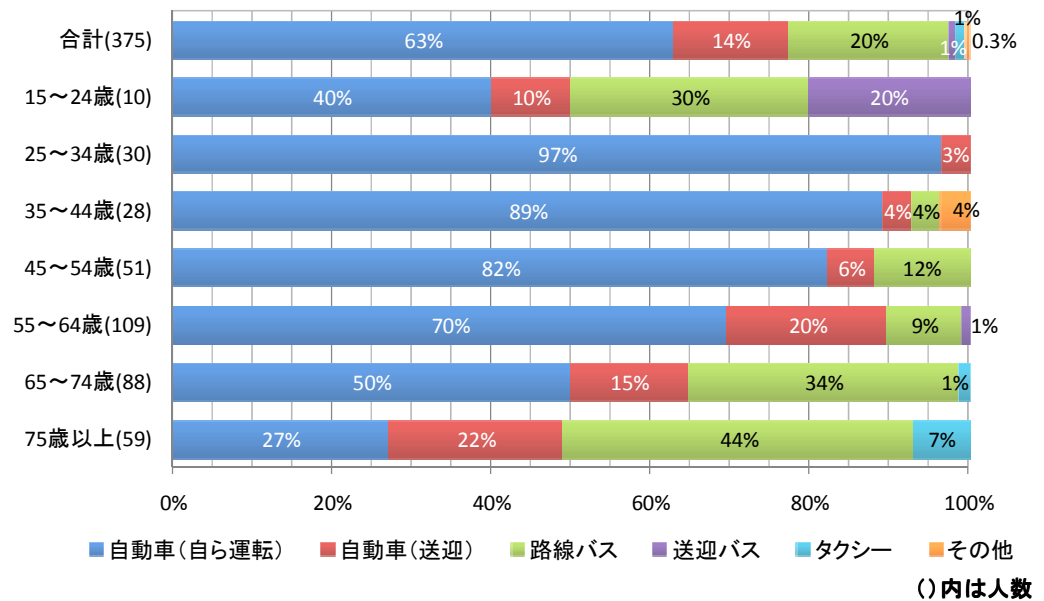


図 2-13 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 11 月～12 月中)

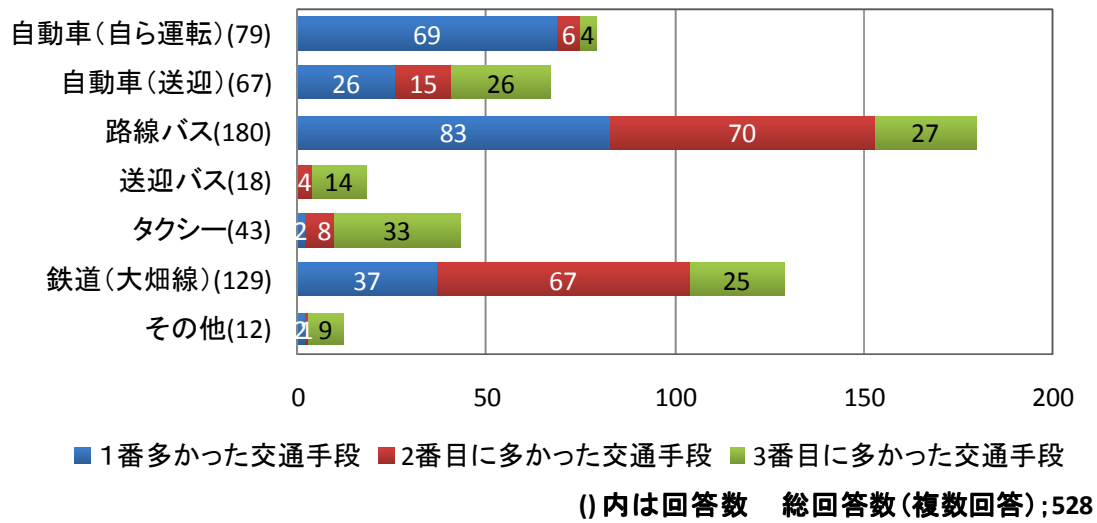


図 2-14 過去の市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (60歳以上のみ回答)

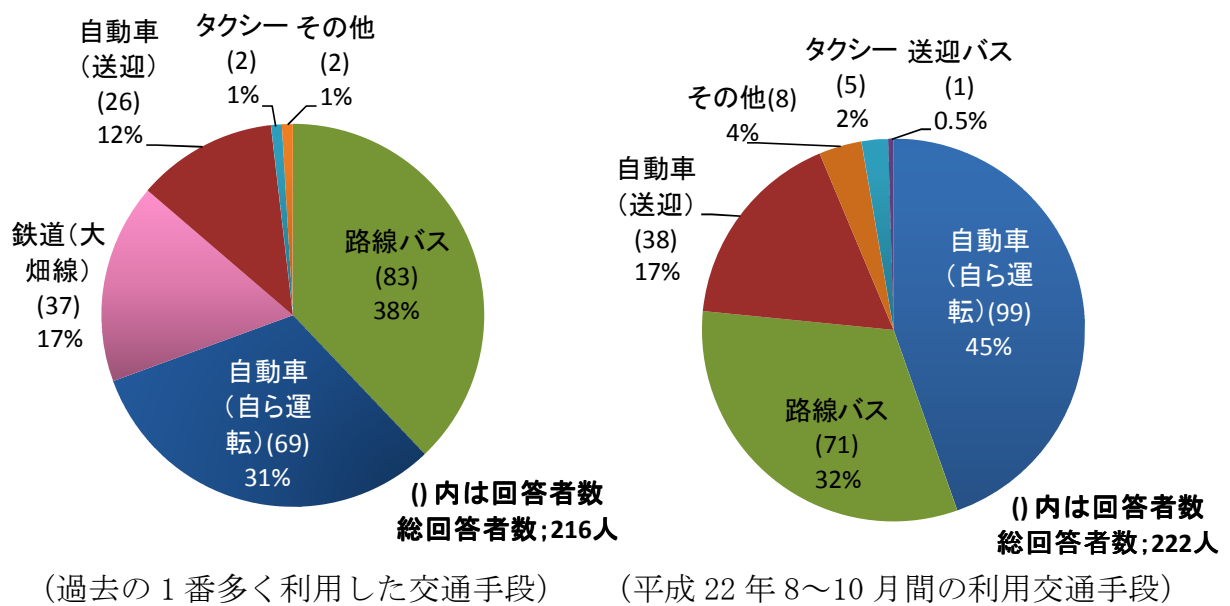


図 2-15 市町村を跨ぐ移動の際の交通手段の比較 (60歳以上のみ回答)

●地域住民の意識

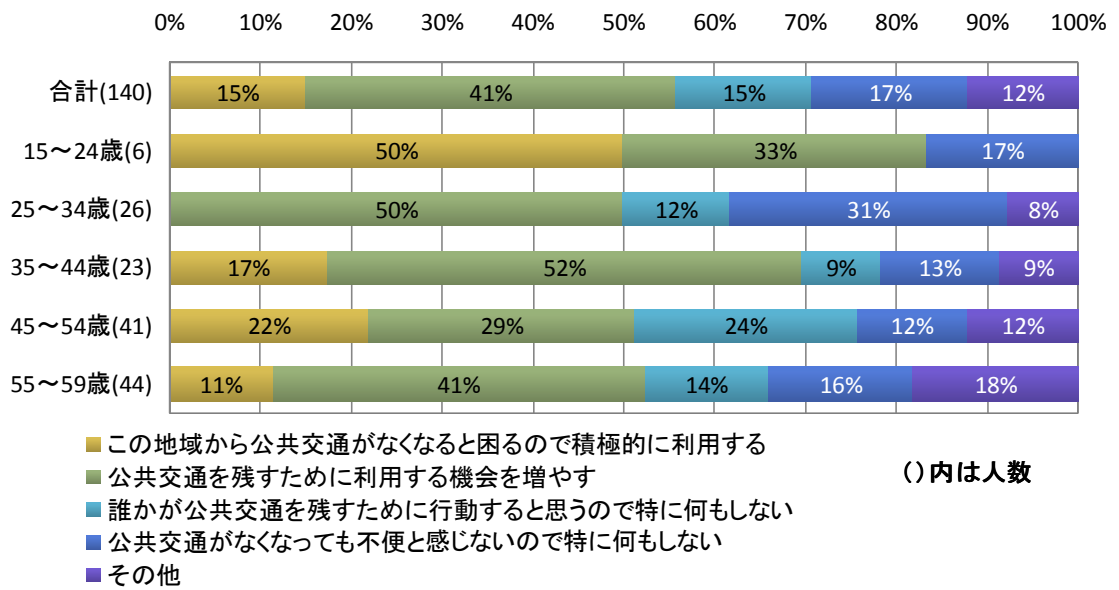


図 2-16 年齢別公共交通機関に対する意識 (60 歳未満のみ回答)

55～59 歳の「その他」と回答した人の意識

- ・利用したいが、ルートと時間帯があわない。

③むつ市川内地区

●回答者属性

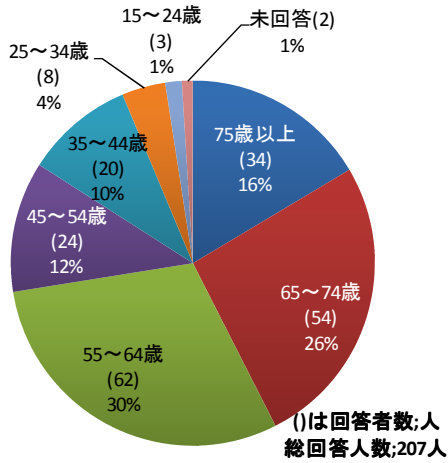


図3-1 年齢別回答者数 (男性)

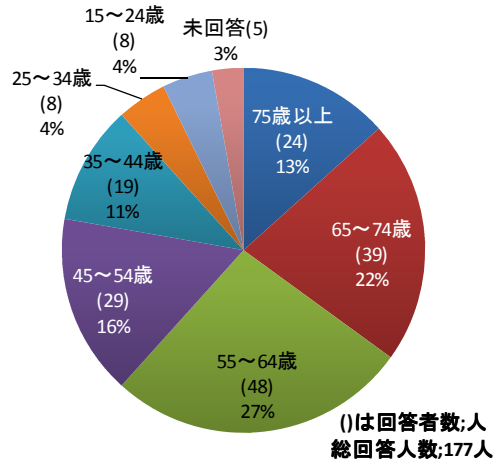


図3-2 年齢別回答者数 (女性)

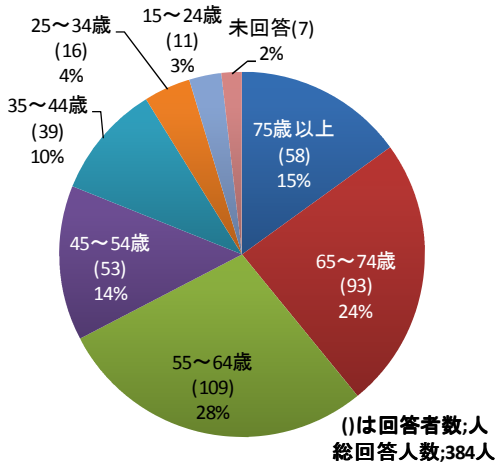


図3-3 年齢別回答者数 (男女計)

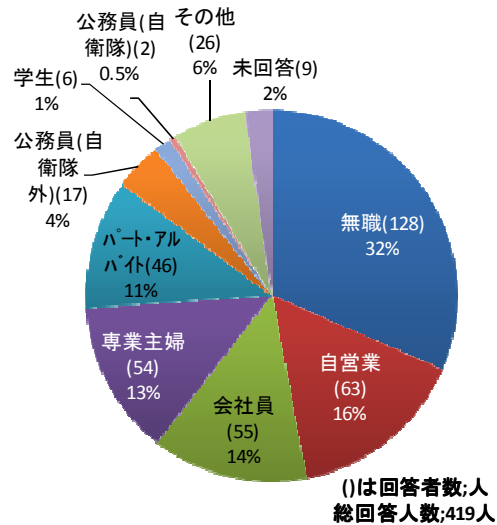


図3-4 職業別回答者数

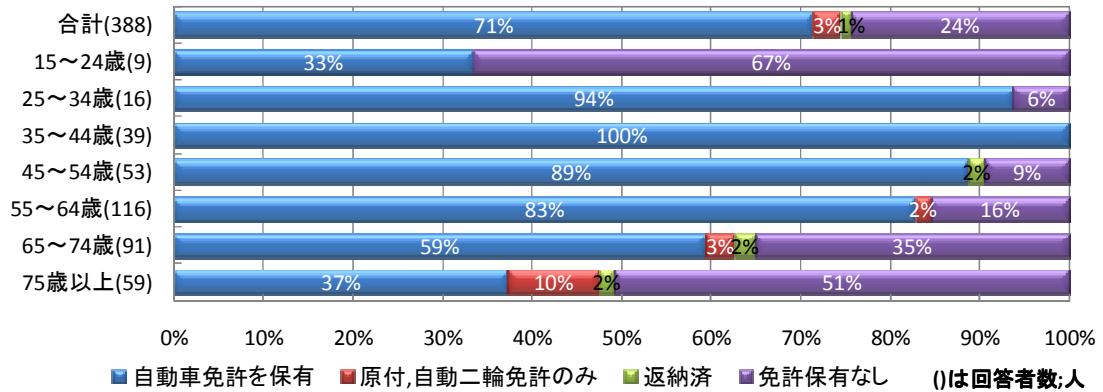


図 3-5 年齢別免許保有状況

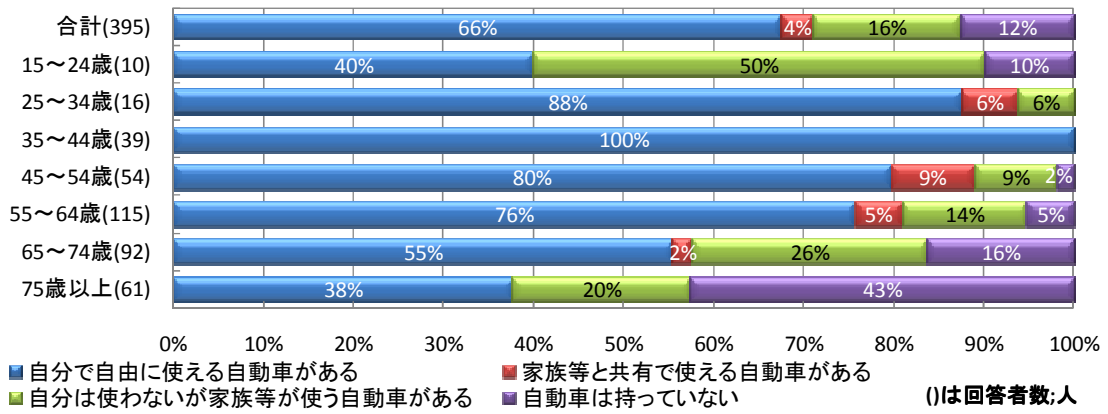


図 3-6 年齢別自家用車保有状況

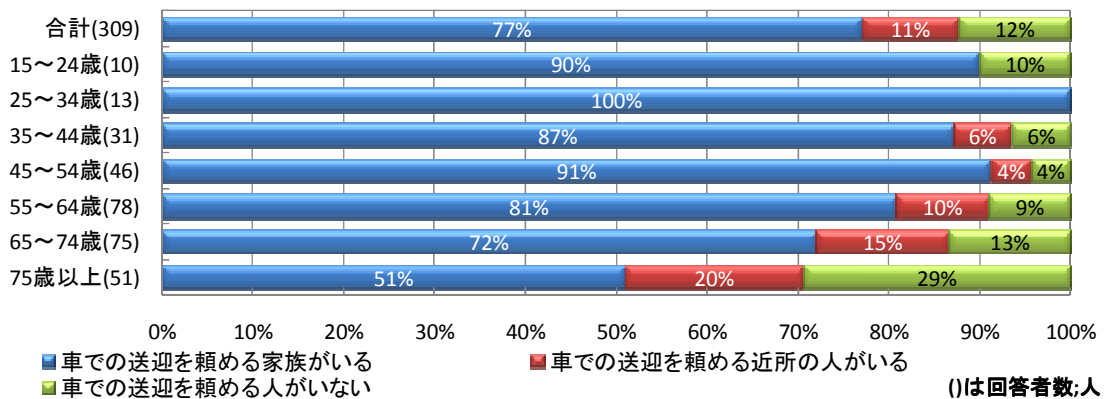


図 3-7 年齢別送迎環境

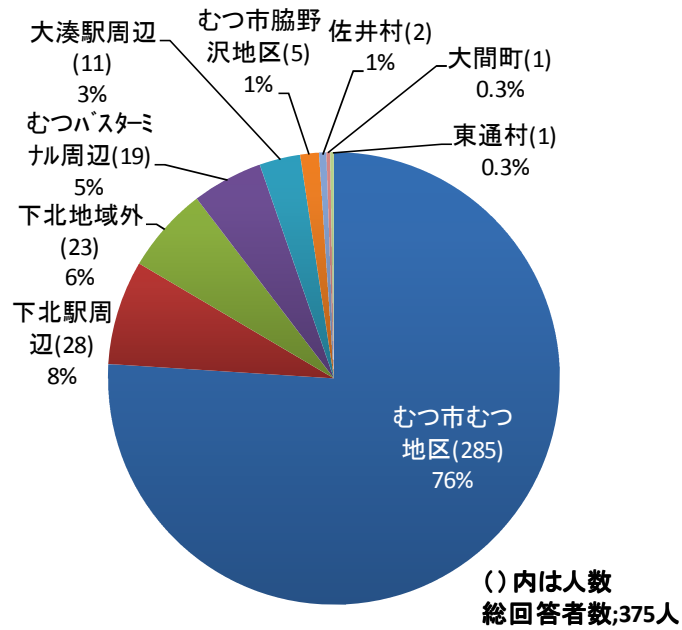


図3-8 目的地別市町村を跨ぐ移動（平成22年8月～10月中）

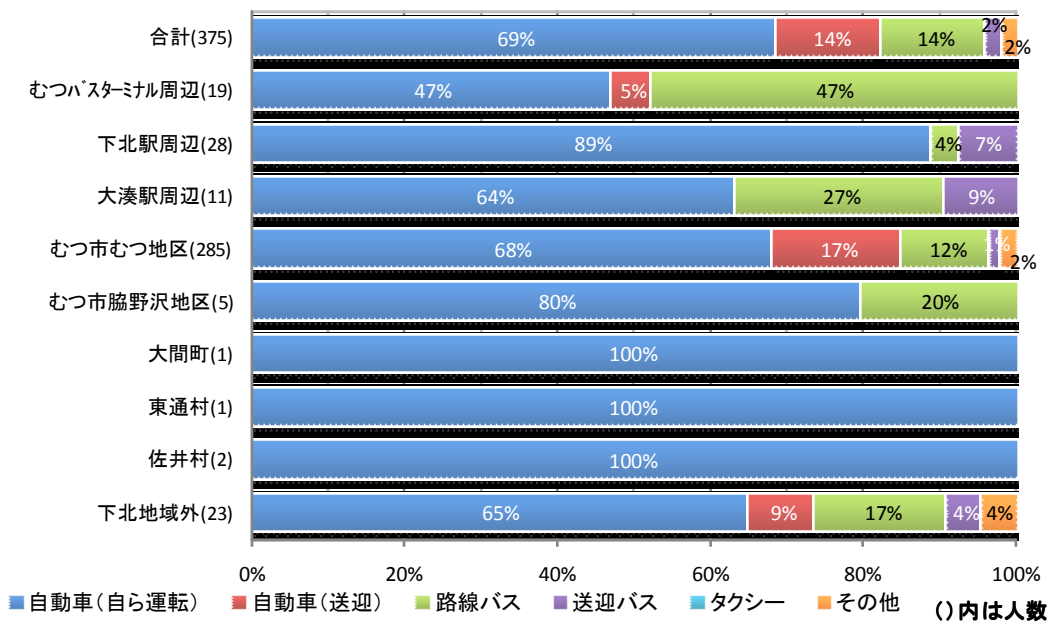


図3-9 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段（平成22年8月～10月中）

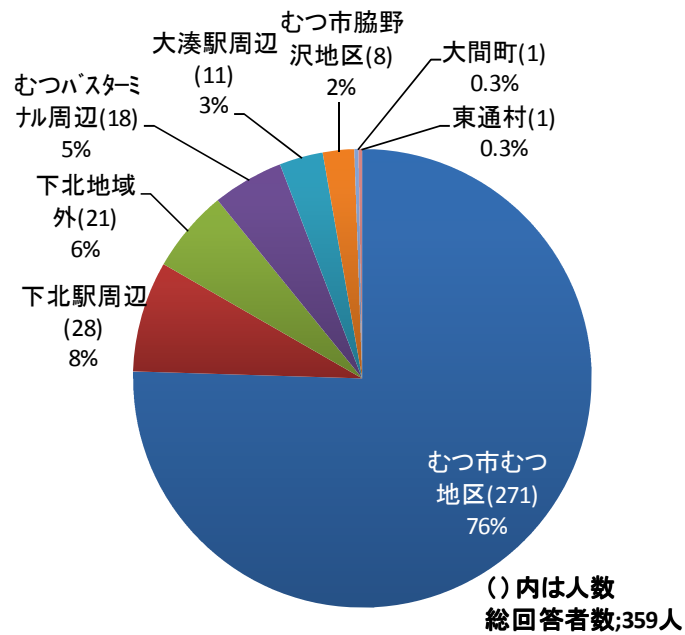


図 3-10 目的地別市町村を跨ぐ移動（平成 22 年 11 月～12 月中）

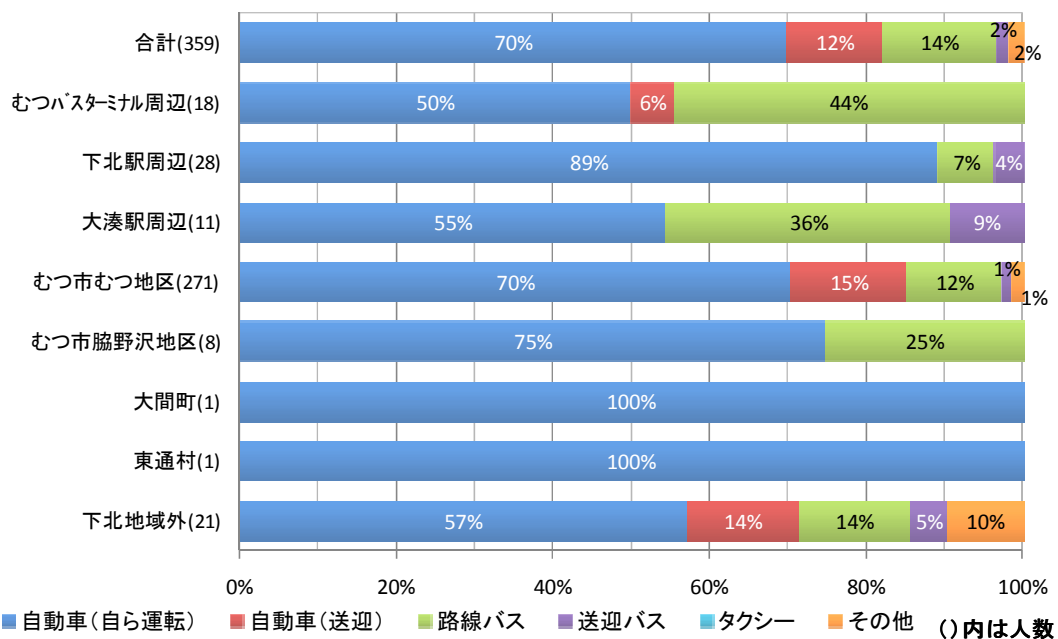


図 3-11 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段（平成 22 年 11 月～12 月中）

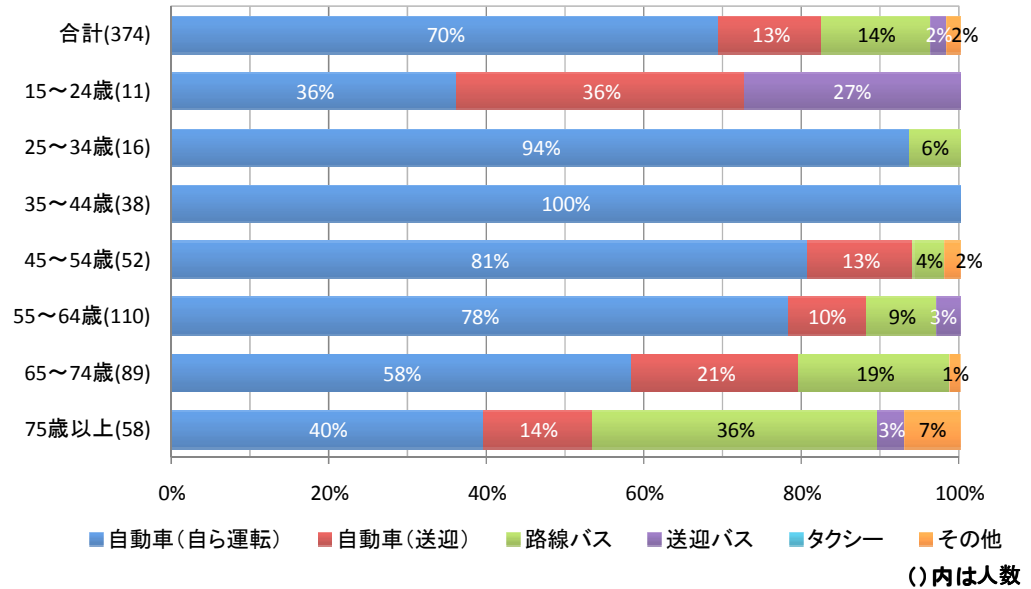


図 3-12 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

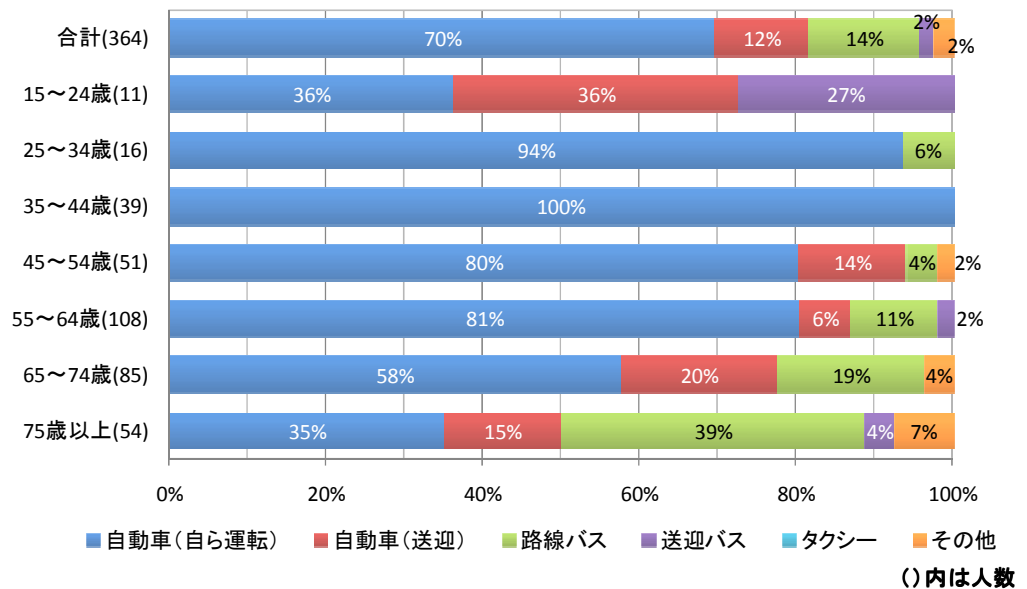


図 3-13 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 11 月～12 月中)

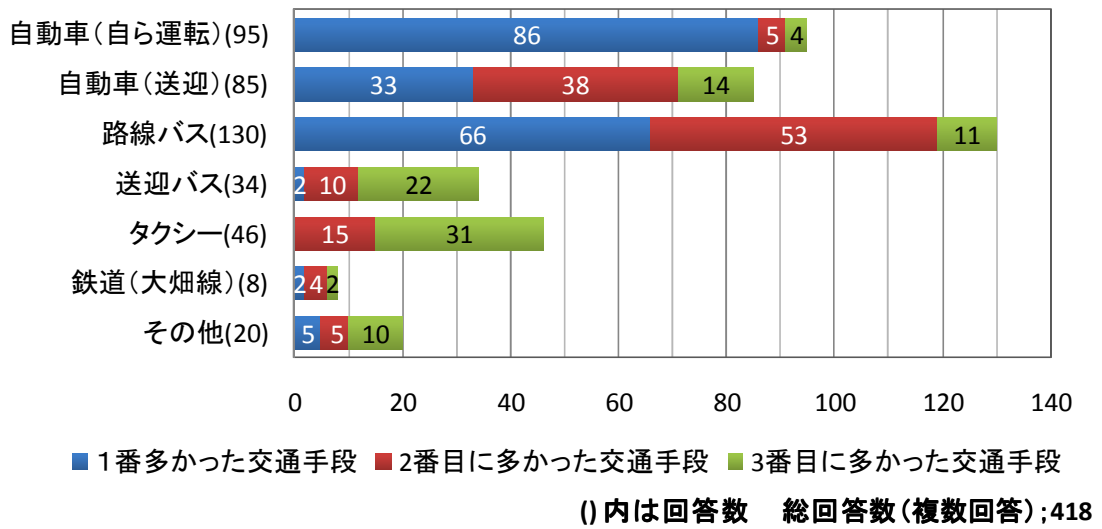
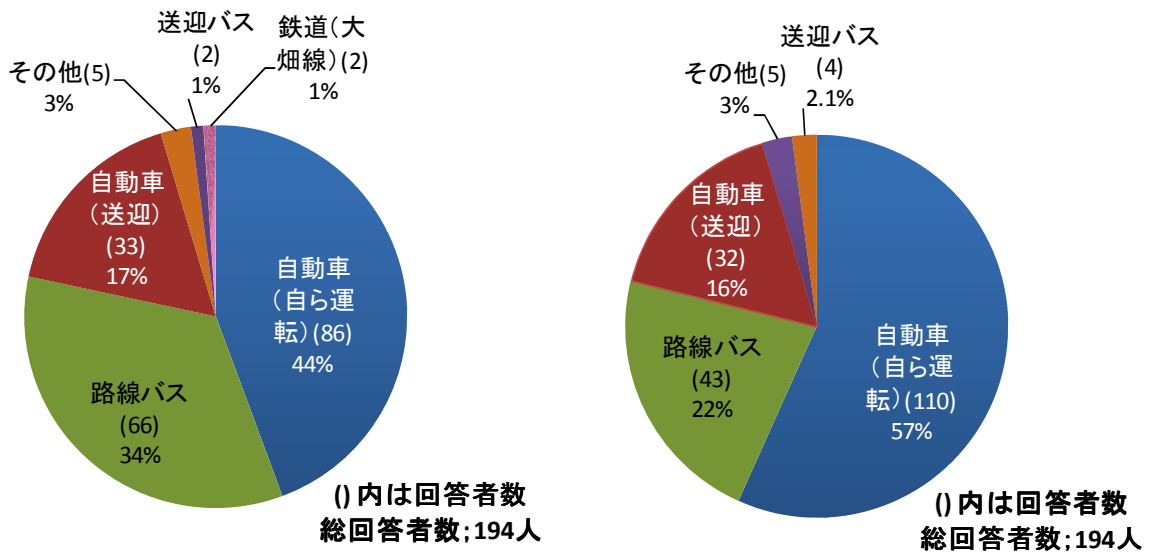


図 3-14 過去の市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (60歳以上のみ回答)



(過去の1番多く利用した交通手段) (平成22年8~10月間の利用交通手段)

図 3-15 市町村を跨ぐ移動の際の交通手段の比較 (60歳以上のみ回答)

●地域住民の意識

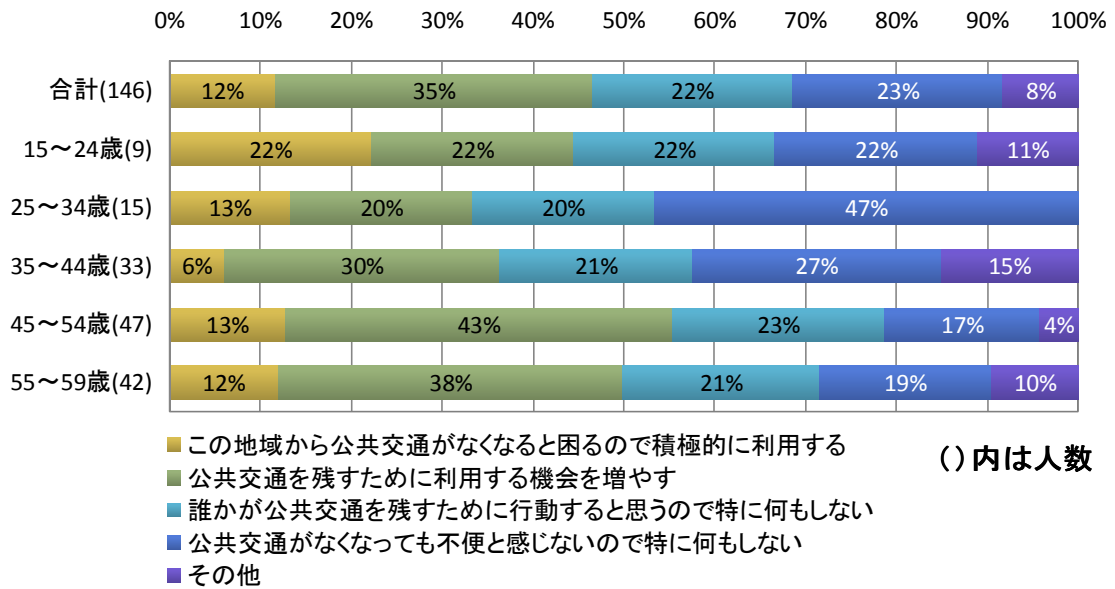


図 3-16 年齢別公共交通機関に対する意識（60歳未満のみ回答）

35～44歳の「その他」と回答した人の意識

- ・子供(小中)に乗るように進めて、スクールバスのないときも乗せている。
- ・なくなったら不便だと思うが、仕事の関係上自家用車を使わざるを得ない。

④むつ市脇野沢地区

●回答者属性

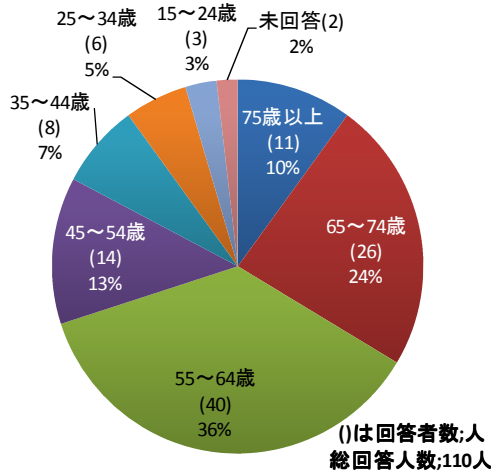


図4-1 年齢別回答者数 (男性)

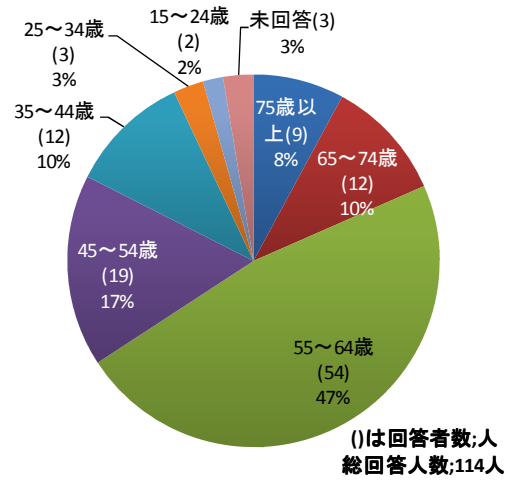


図4-2 年齢別回答者数 (女性)

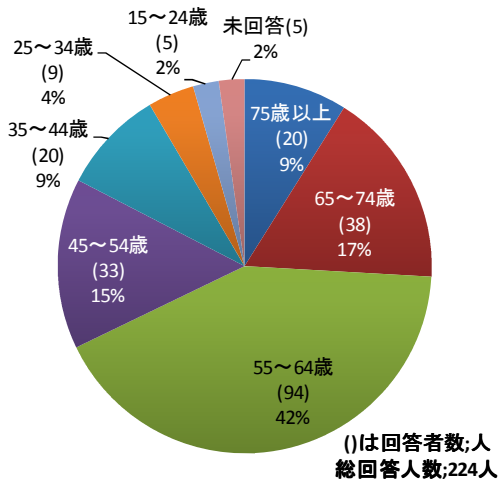


図4-3 年齢別回答者数 (男女計)

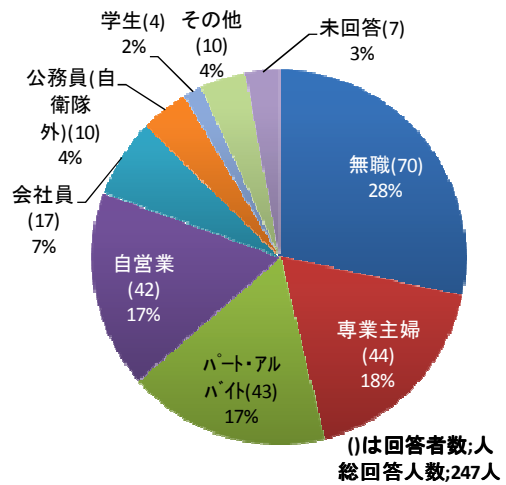


図4-4 職業別回答者数

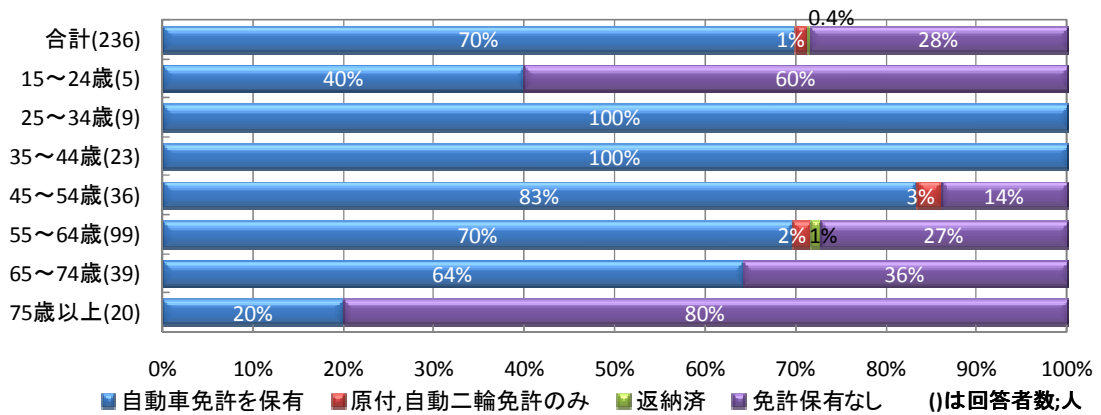


図 4-5 年齢別免許保有状況

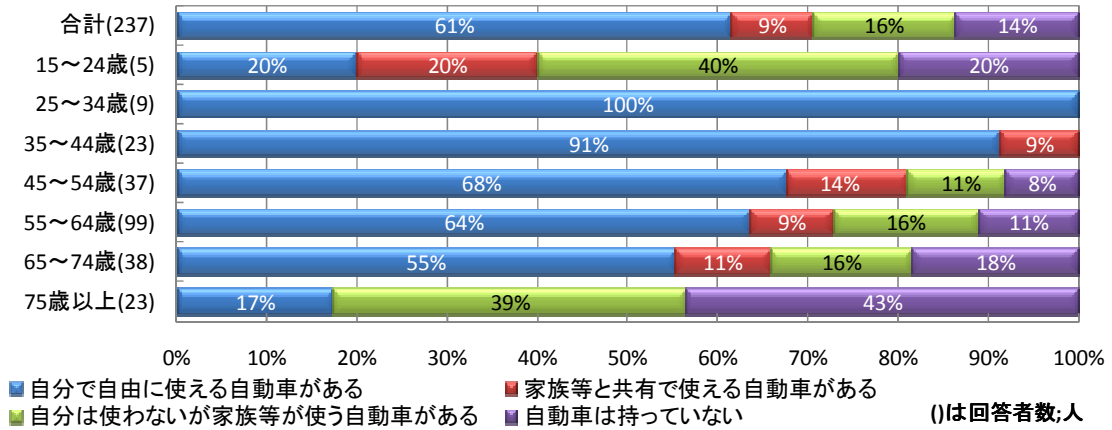


図 4-6 年齢別自家用車保有状況

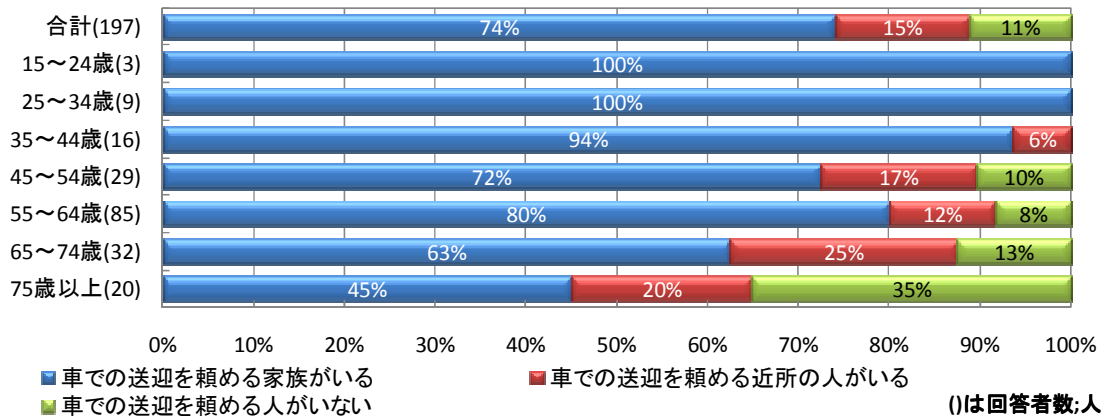


図 4-7 年齢別送迎環境

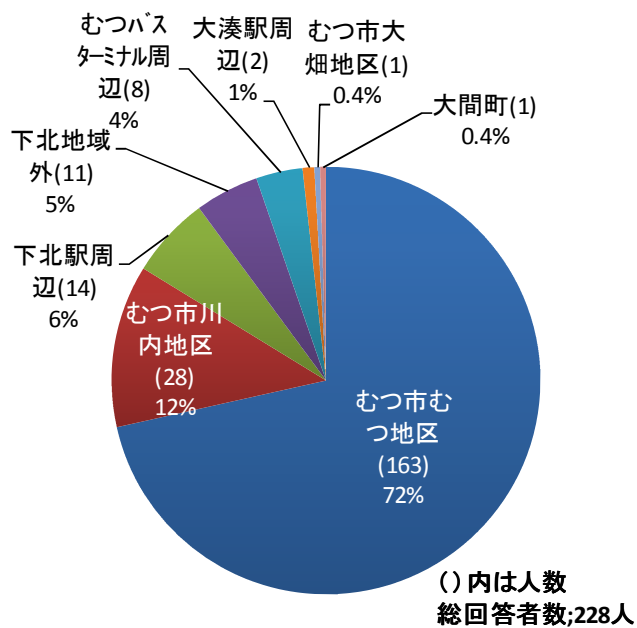


図 4-8 目的地別市町村を跨ぐ移動 (平成 22 年 8 月～10 月中)

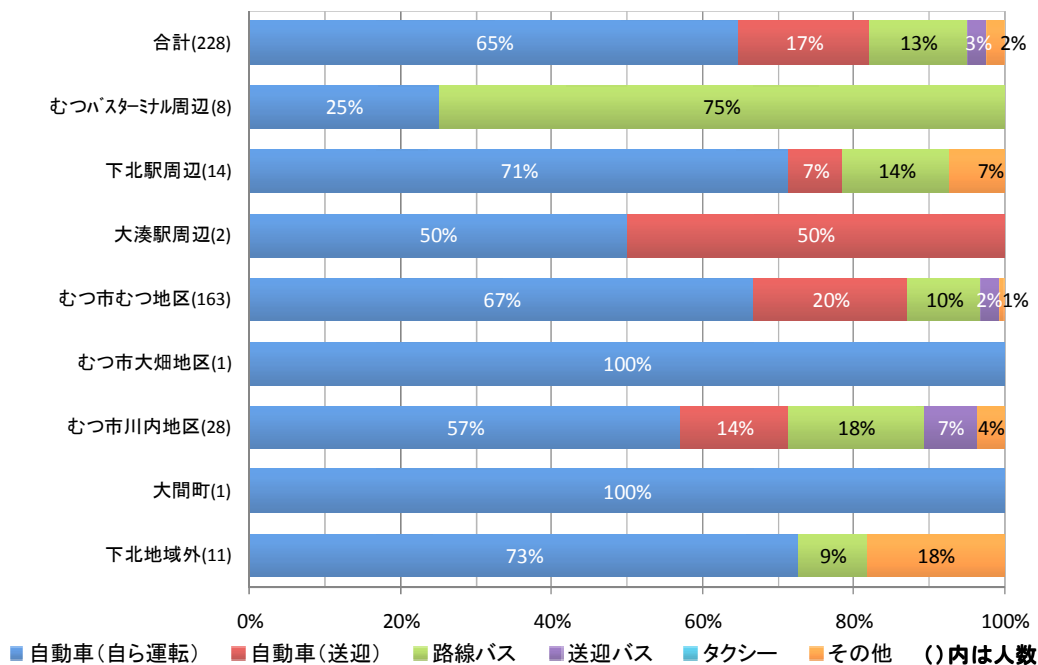


図 4-9 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

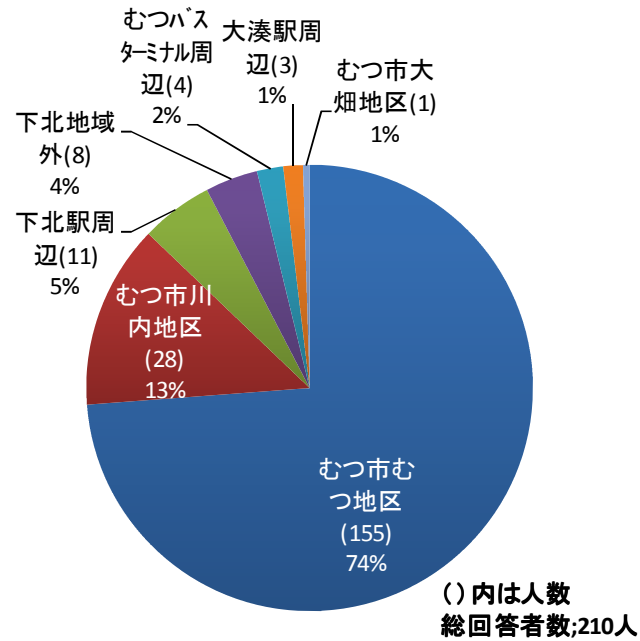


図 4-10 目的地別市町村を跨ぐ移動（平成 22 年 11 月～12 月中）

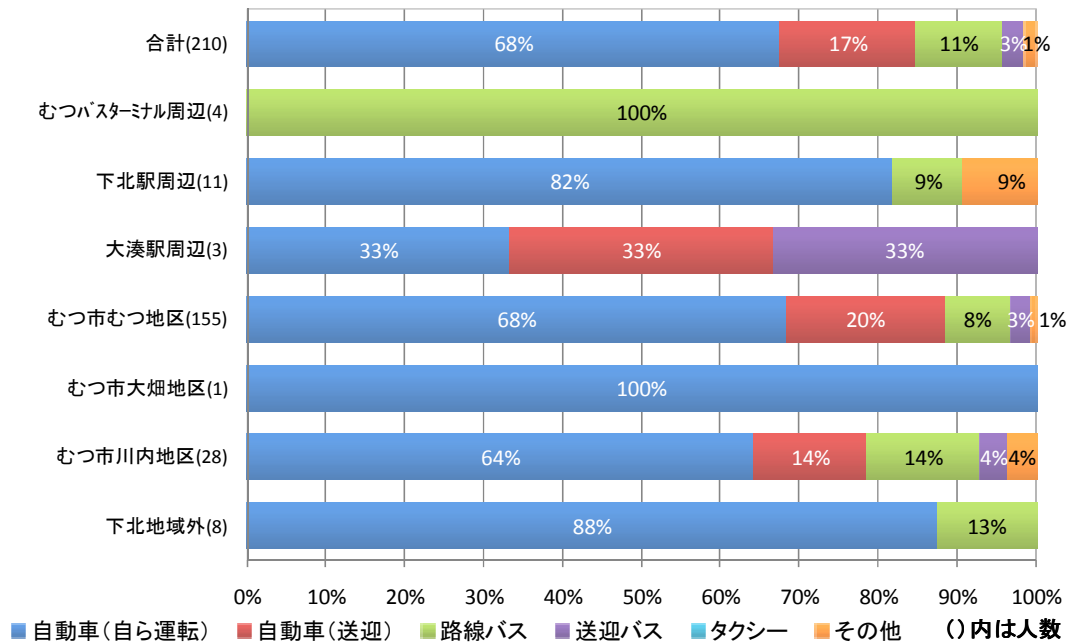


図 4-11 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段（平成 22 年 11 月～12 月中）

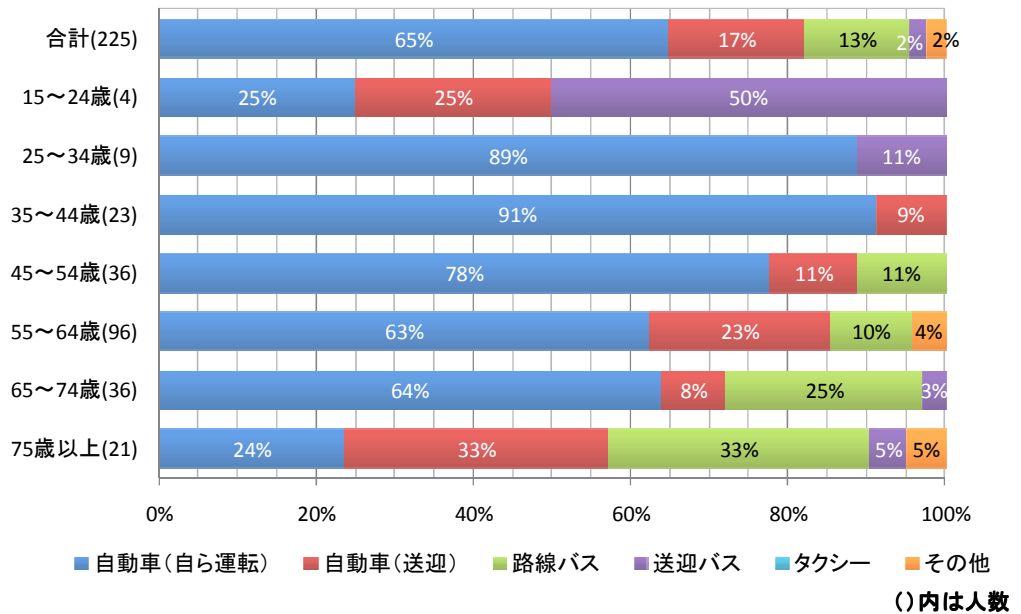


図 4-12 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

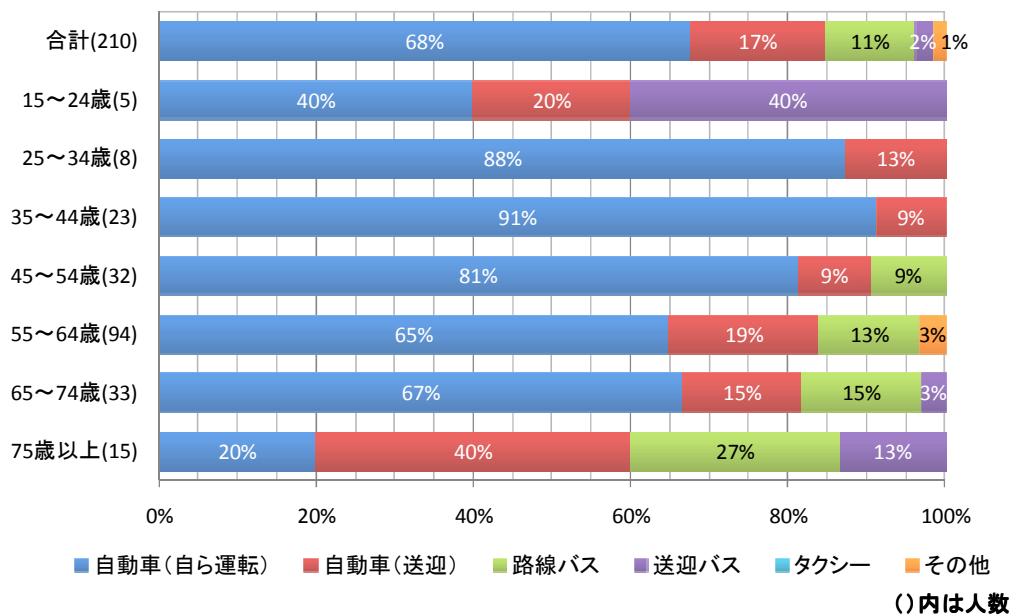


図 4-13 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 11 月～12 月中)

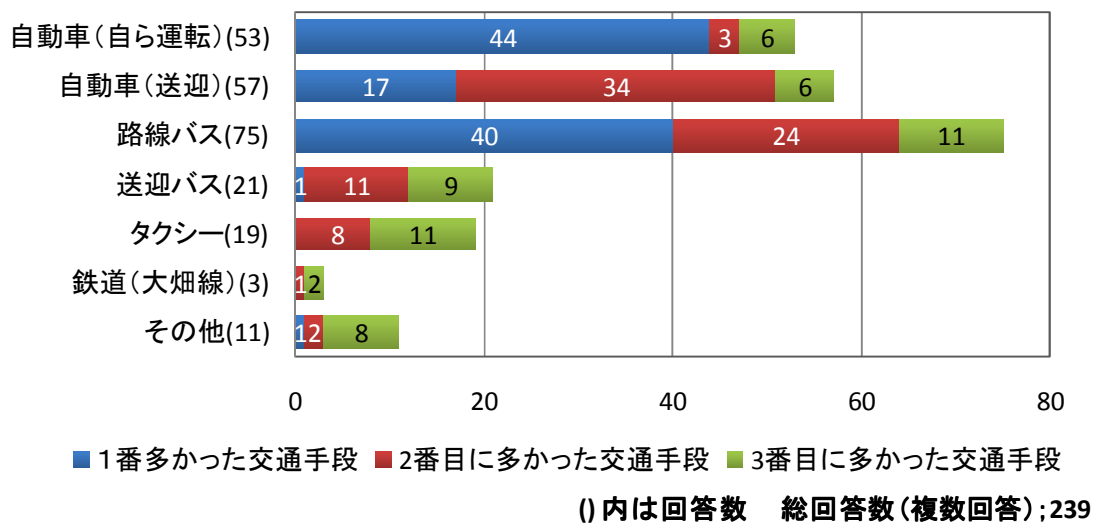
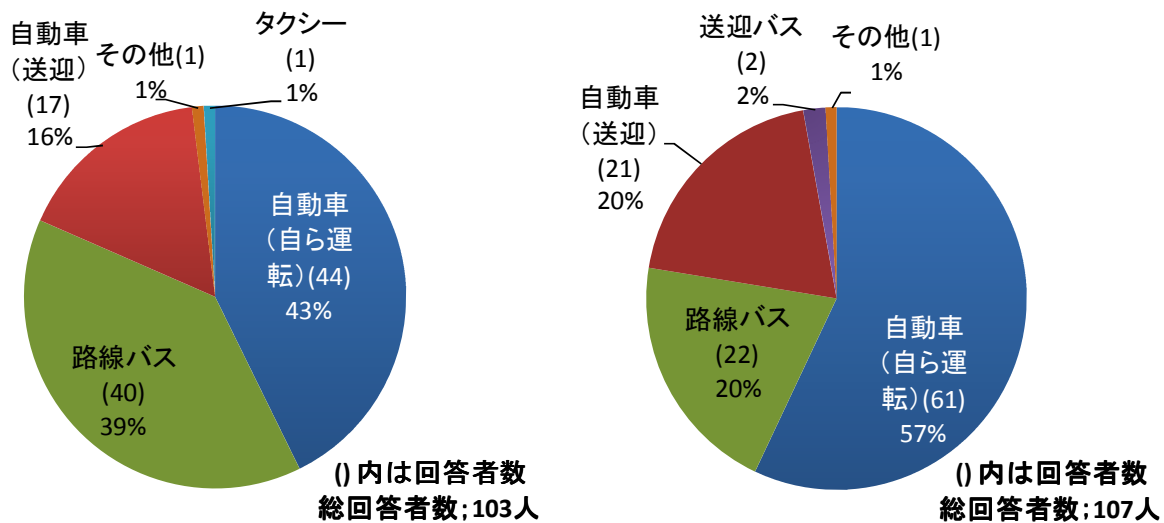


図 4-14 過去の市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (60歳以上のみ回答)



(過去の1番多く利用した交通手段) (平成22年8~10月間の利用交通手段)

図 4-15 市町村を跨ぐ移動の際の交通手段の比較 (60歳以上のみ回答)

●地域住民の意識

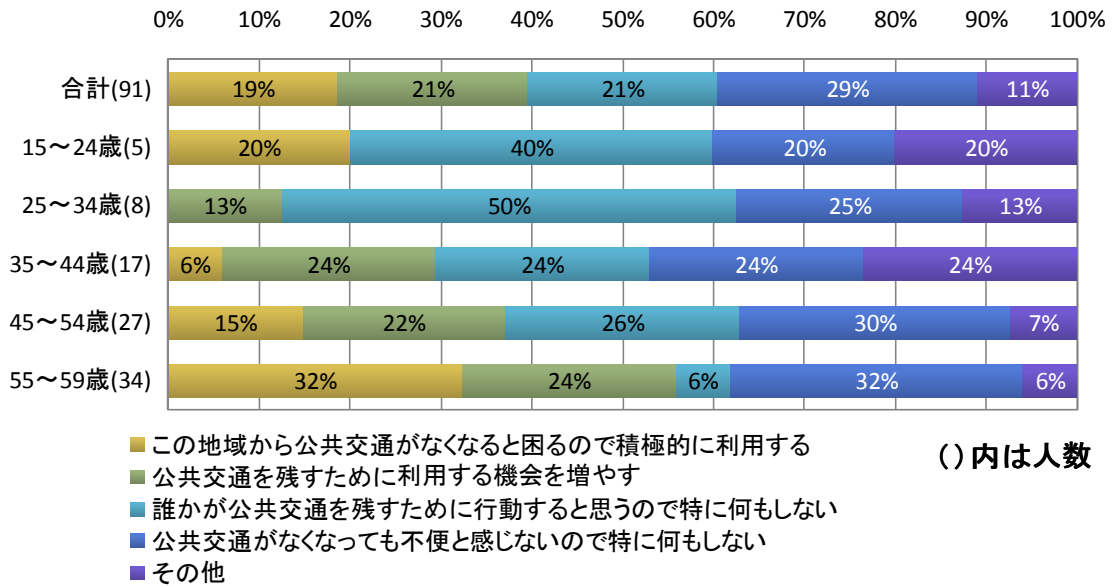


図 4-16 年齢別公共交通機関に対する意識（60歳未満のみ回答）

35～44歳の「その他」と回答した人の意識

- ・利用する機会も少ないので仕方のないことだと思うが、なくなると不便になる。
- ・公共交通は時間的に当てにならないので、必要性が少ないと思う。

⑤大間町

●回答者属性

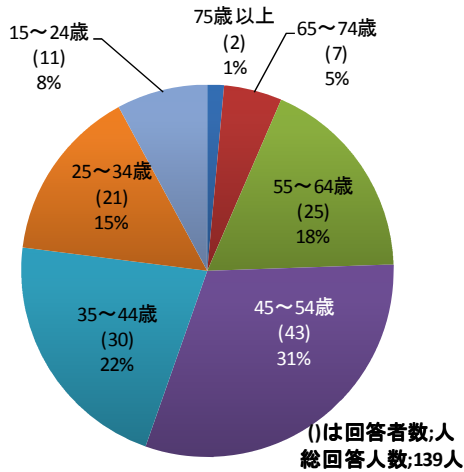


図 5-1 年齢別回答者数 (男性)

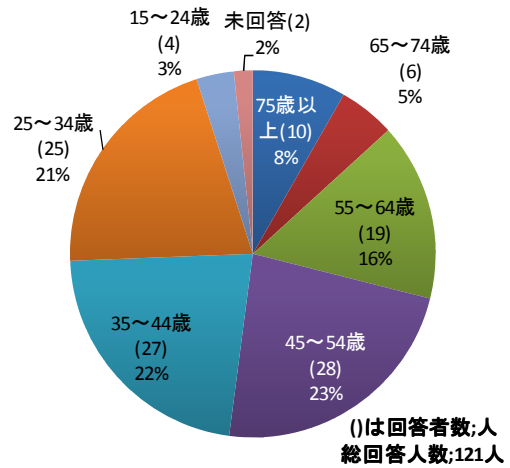


図 5-2 年齢別回答者数 (女性)

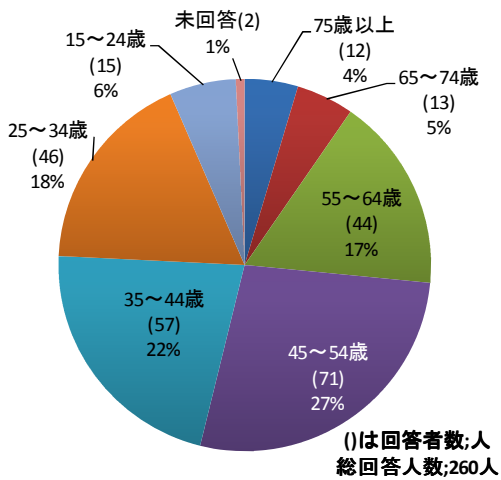


図 5-3 年齢別回答者数 (男女計)

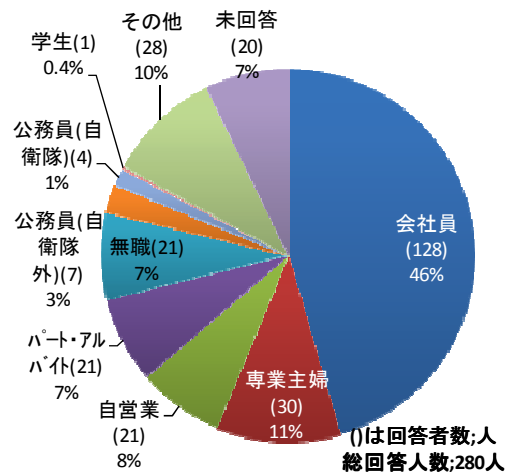


図 5-4 職業別回答者数

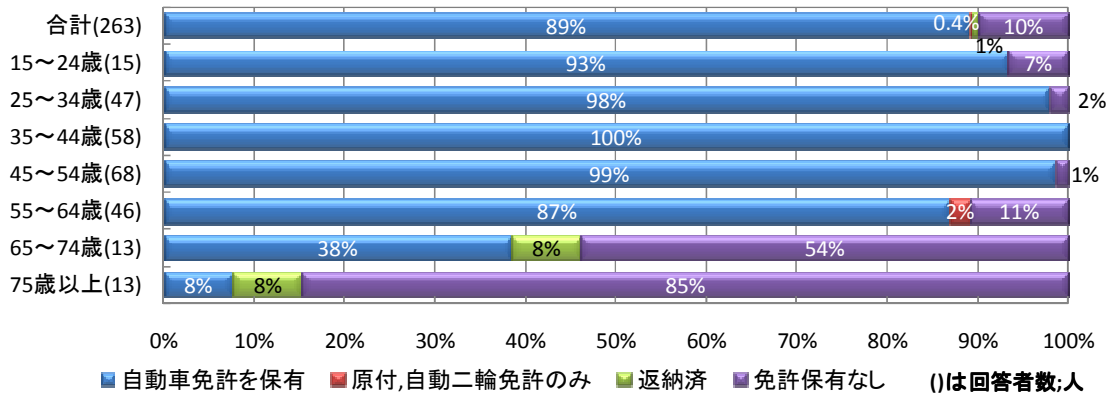


図5-5 年齢別免許保有状況

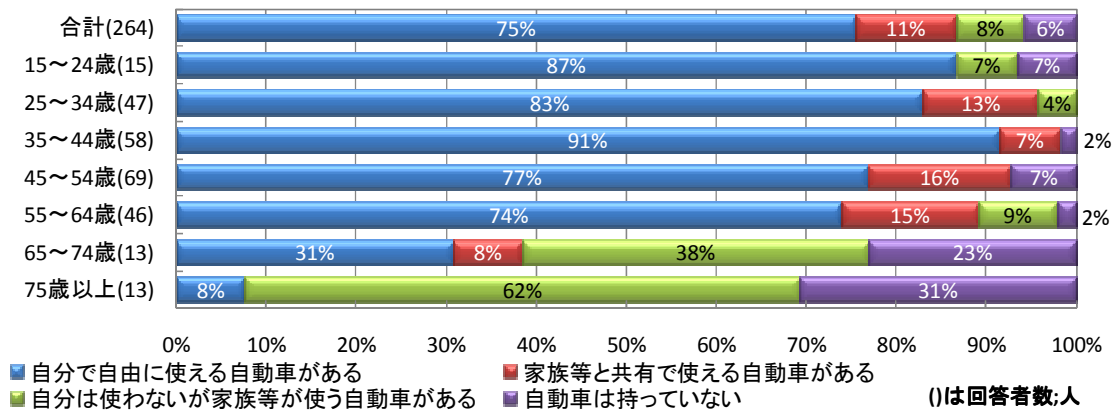


図5-6 年齢別自家用車保有状況

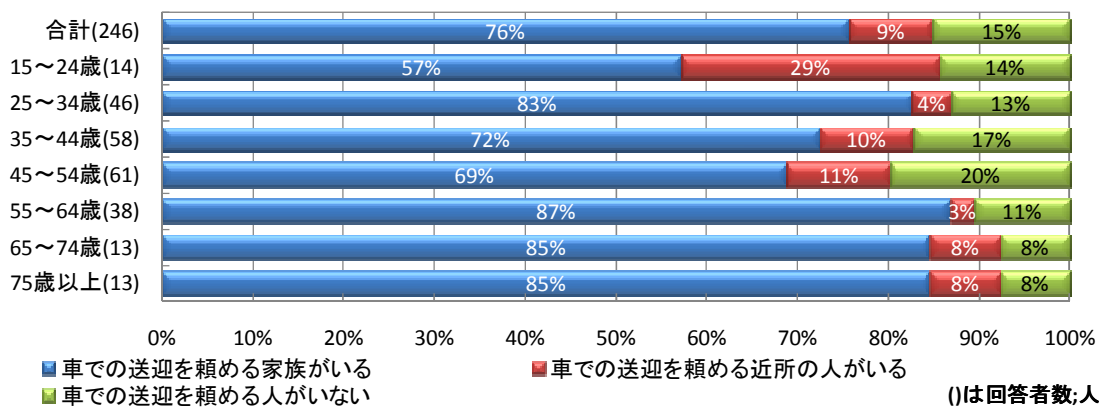


図5-7 年齢別送迎環境

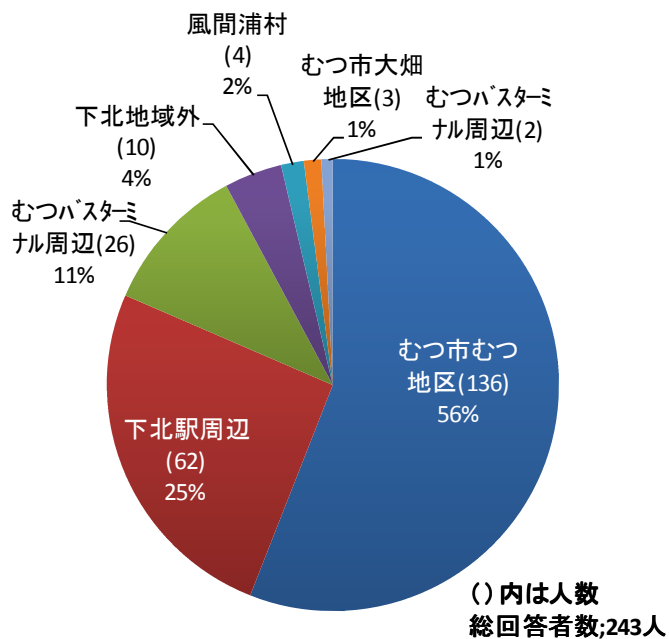


図 5-8 目的地別市町村を跨ぐ移動 (平成 22 年 8 月～10 月中)

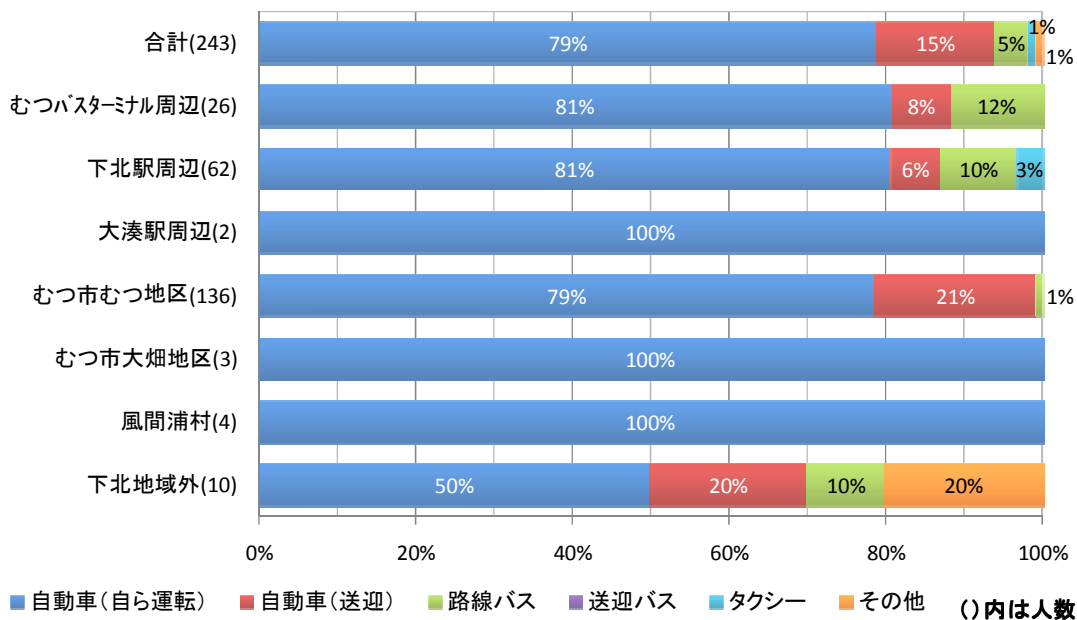


図 5-9 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

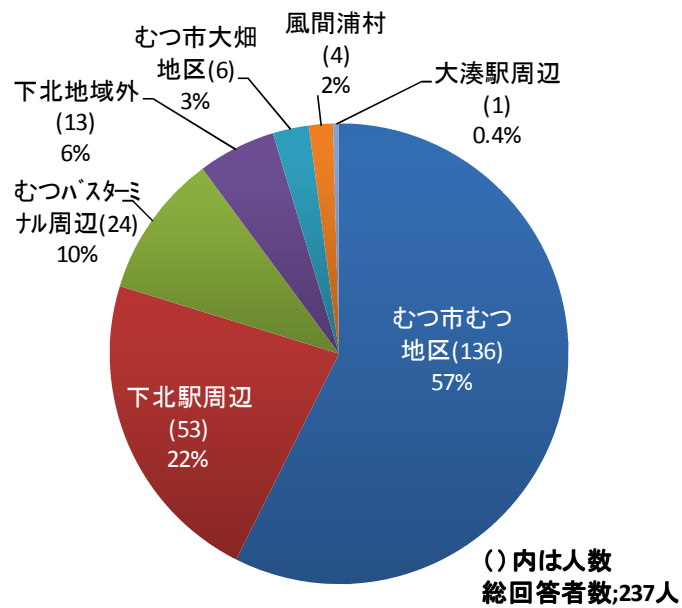


図 5-10 目的地別市町村を跨ぐ移動（平成 22 年 11 月～12 月中）

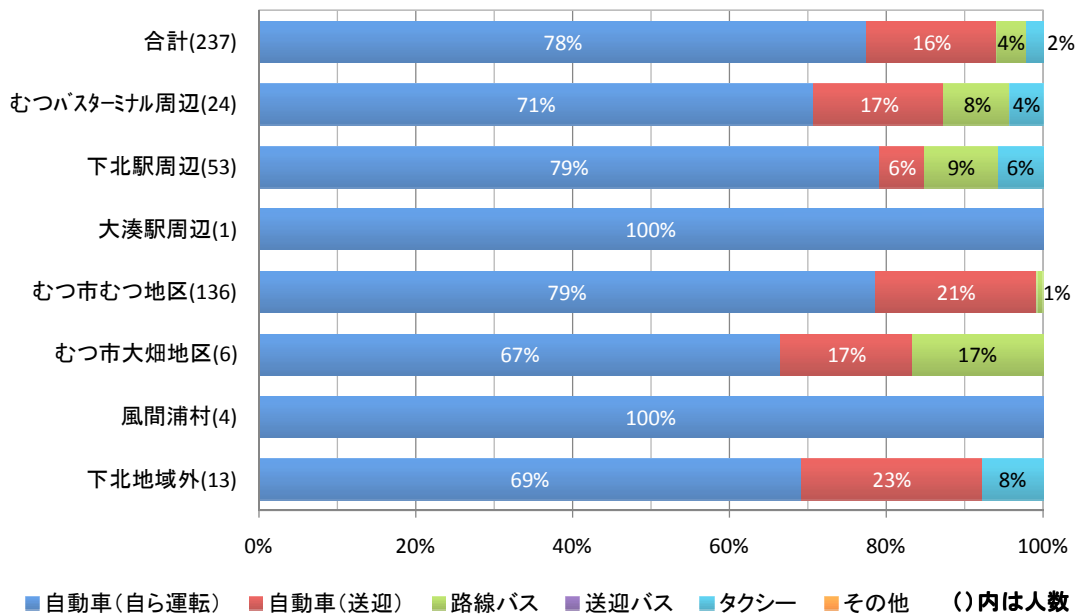


図 5-11 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段（平成 22 年 11 月～12 月中）

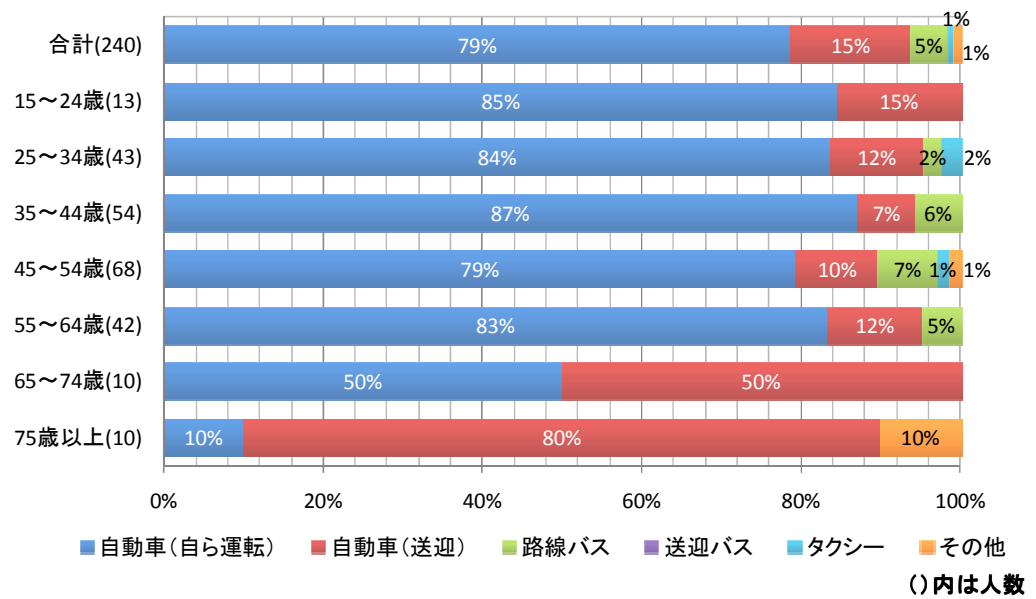


図 5-12 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

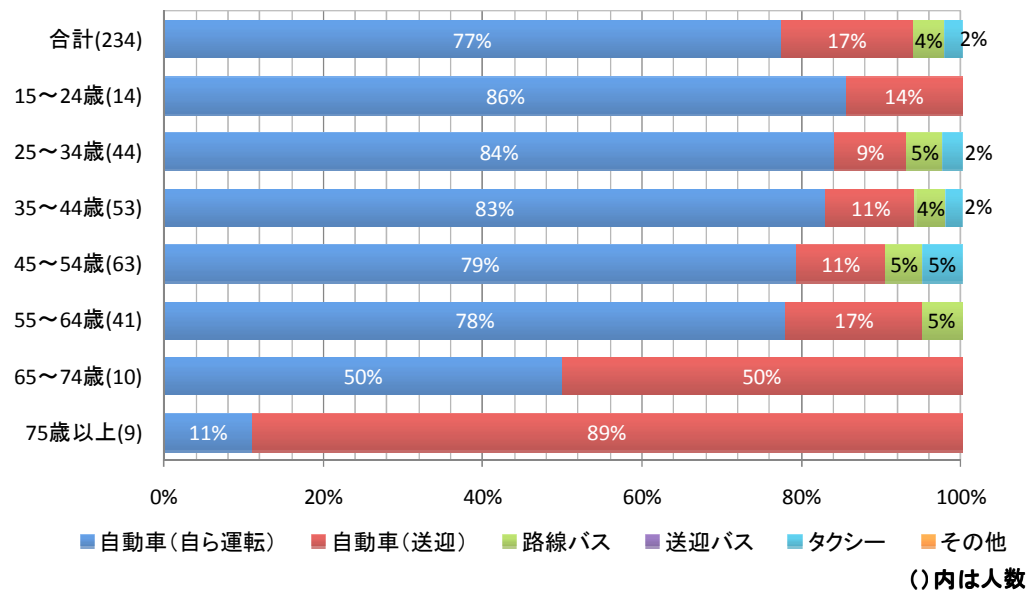
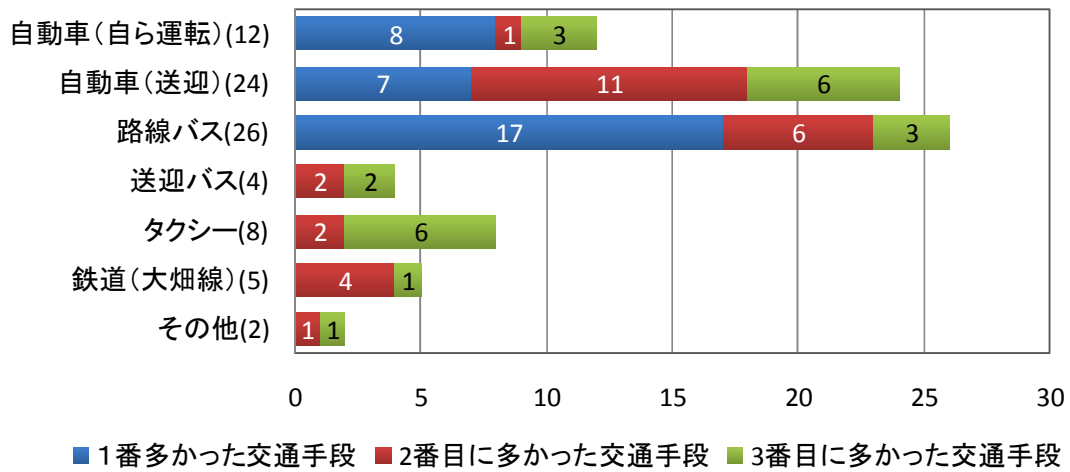
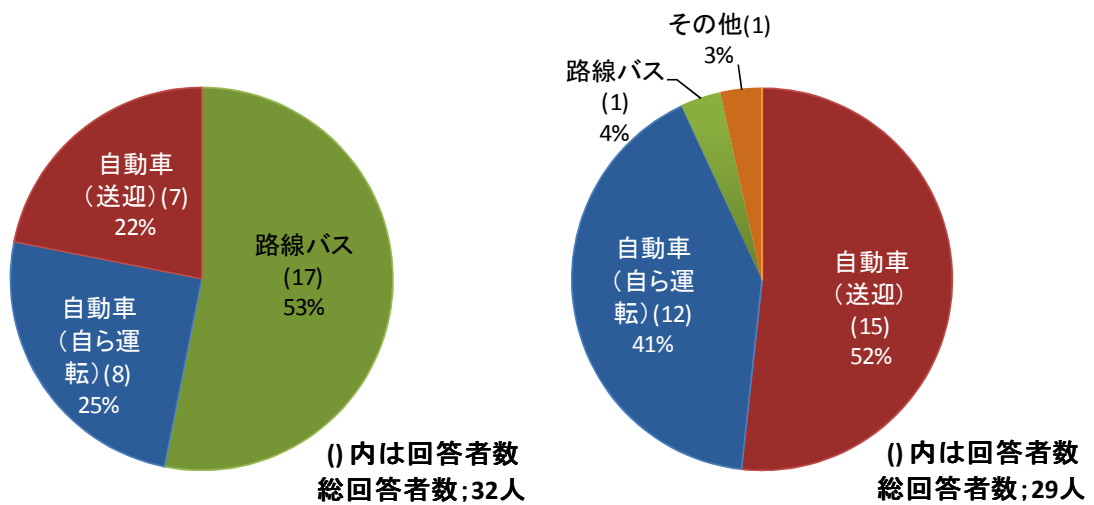


図 5-13 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 11 月～12 月中)



()内は回答数 総回答数(複数回答);81

図5-14 過去の市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (60歳以上のみ回答)



(過去の1番多く利用した交通手段) (平成22年8~10月間の利用交通手段)

図5-15 市町村を跨ぐ移動の際の交通手段の比較 (60歳以上のみ回答)

●地域住民の意識

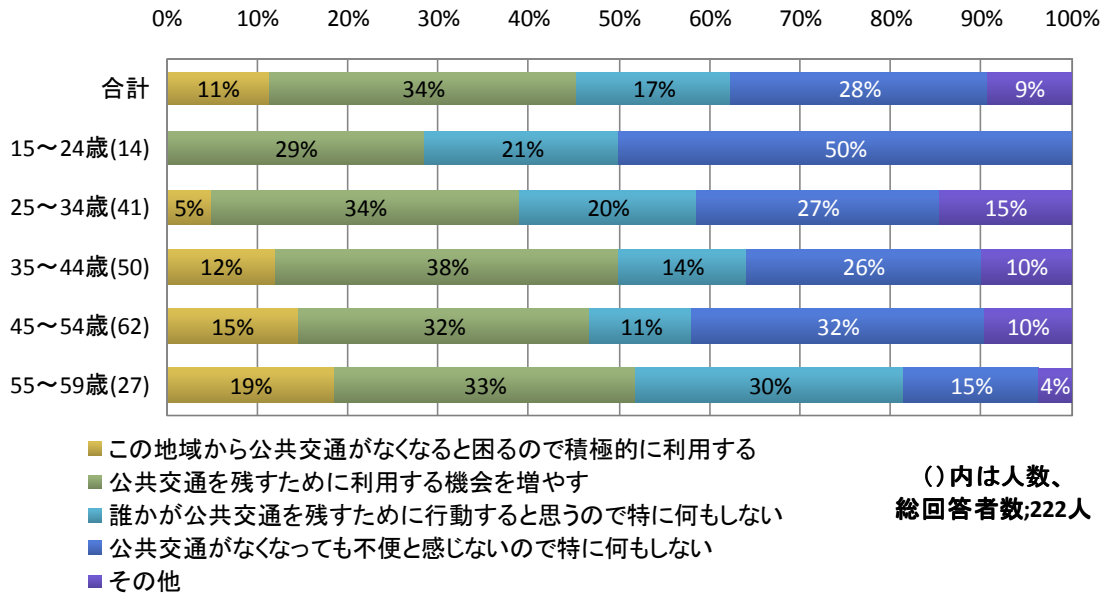


図 5-16 年齢別公共交通機関に対する意識 (60 歳未満のみ回答)

25～34 歳の「その他」と回答した人の意識

- ・公共交通がなくなると困るが、乗り継ぎが不便、時間がかかる、お金がかかる等の理由から積極的な利用は難しい。
- ・利用する機会は少ないと思うが支援はしたい。
- ・フェリーは積極的に利用する。

⑥東通村

●回答者属性

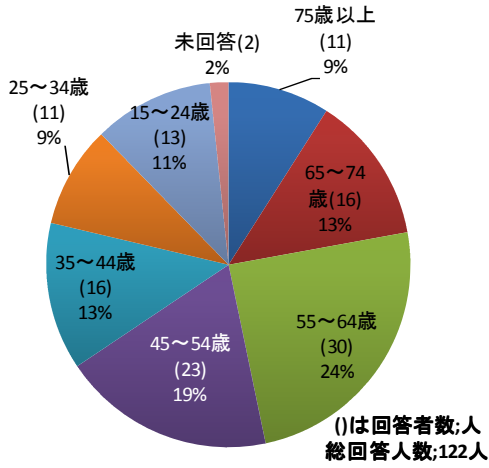


図 6 - 1 年齢別回答者数 (男性)

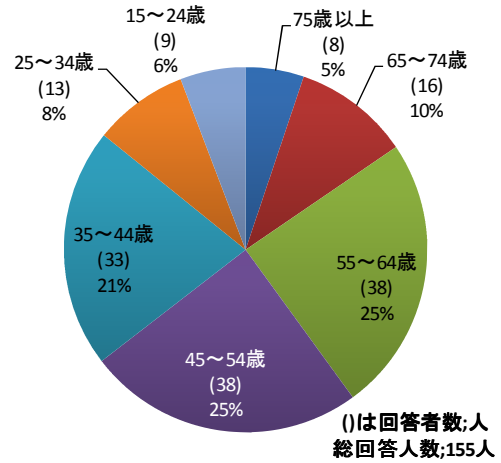


図 6 - 2 年齢別回答者数 (女性)

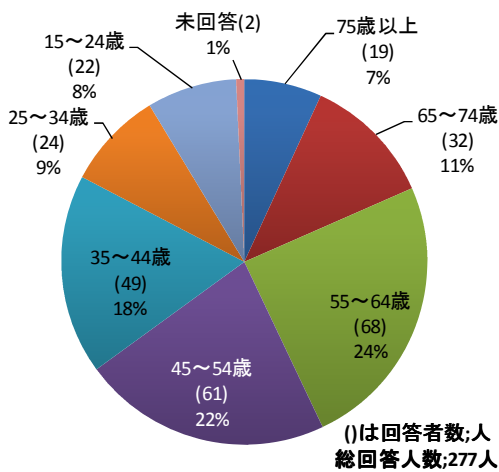


図 6 - 3 年齢別回答者数 (男女計)

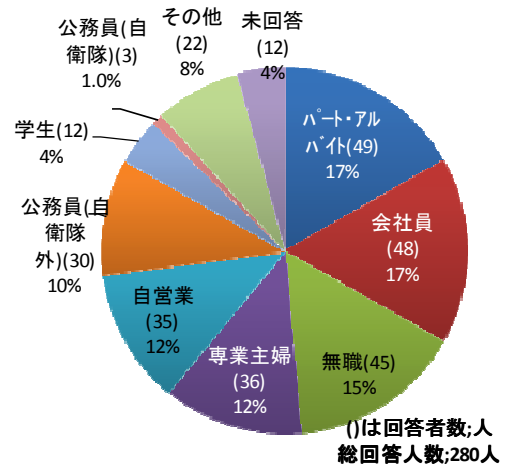


図 6 - 4 職業別回答者数

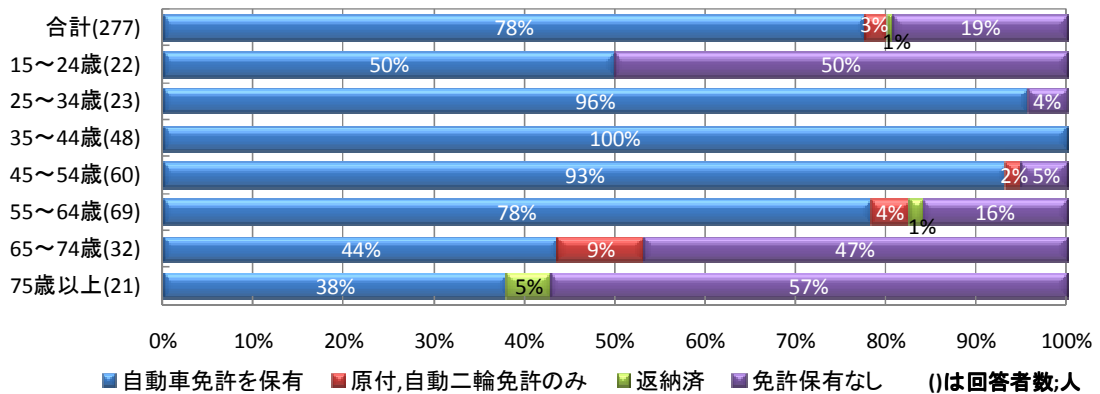


図 6-5 年齢別免許保有状況

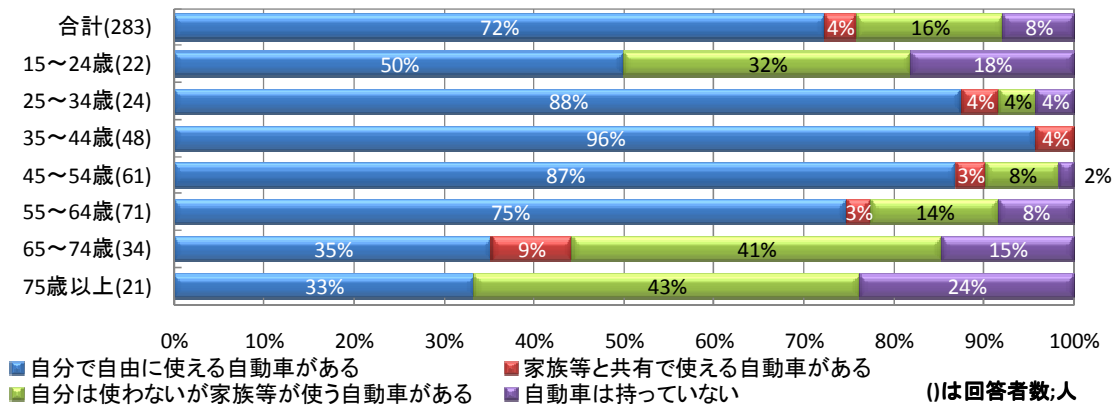


図 6-6 年齢別自家用車保有状況

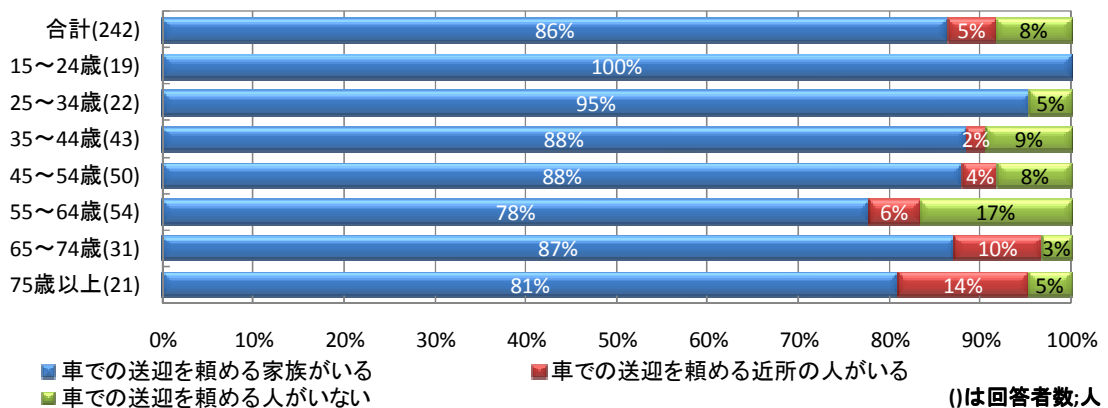


図 6-7 年齢別送迎環境

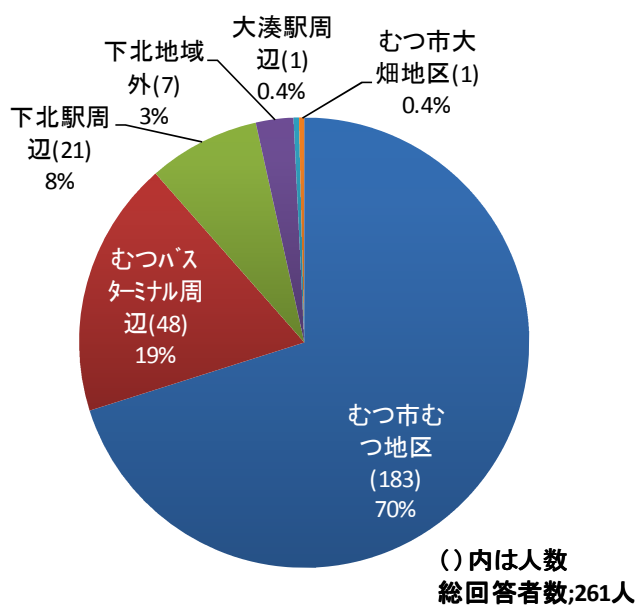


図 6-8 目的地別市町村を跨ぐ移動 (平成 22 年 8 月～10 月中)

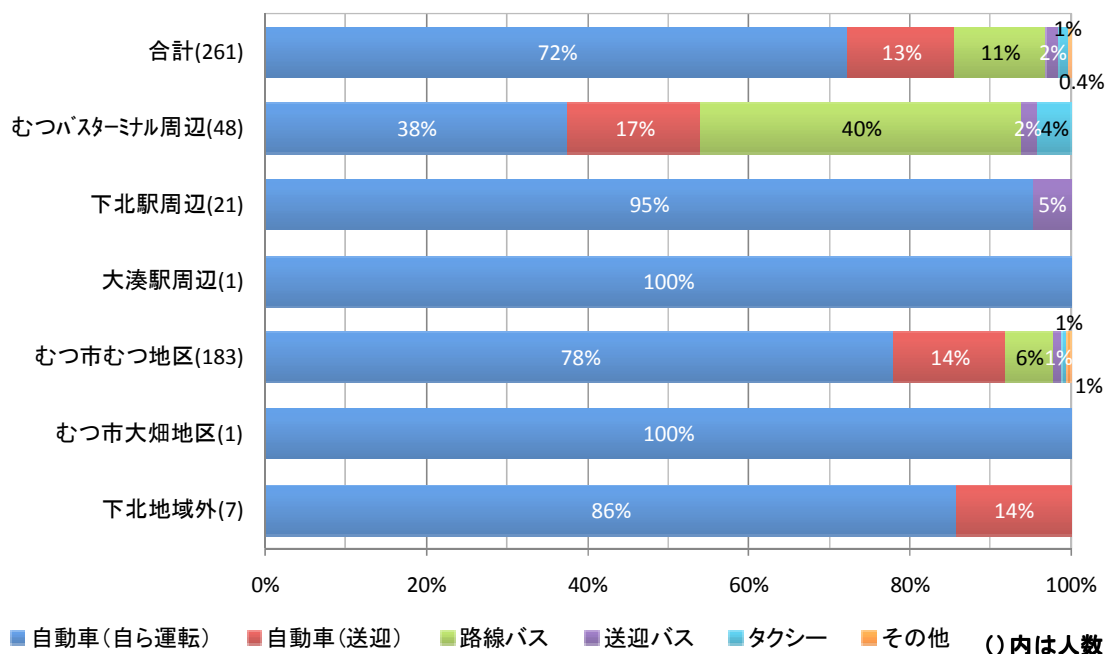


図 6-9 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

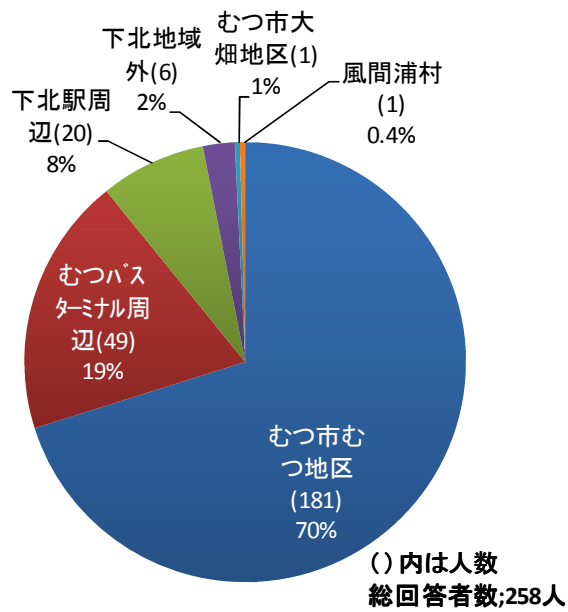


図 6-10 目的地別市町村を跨ぐ移動（平成 22 年 11 月～12 月中）

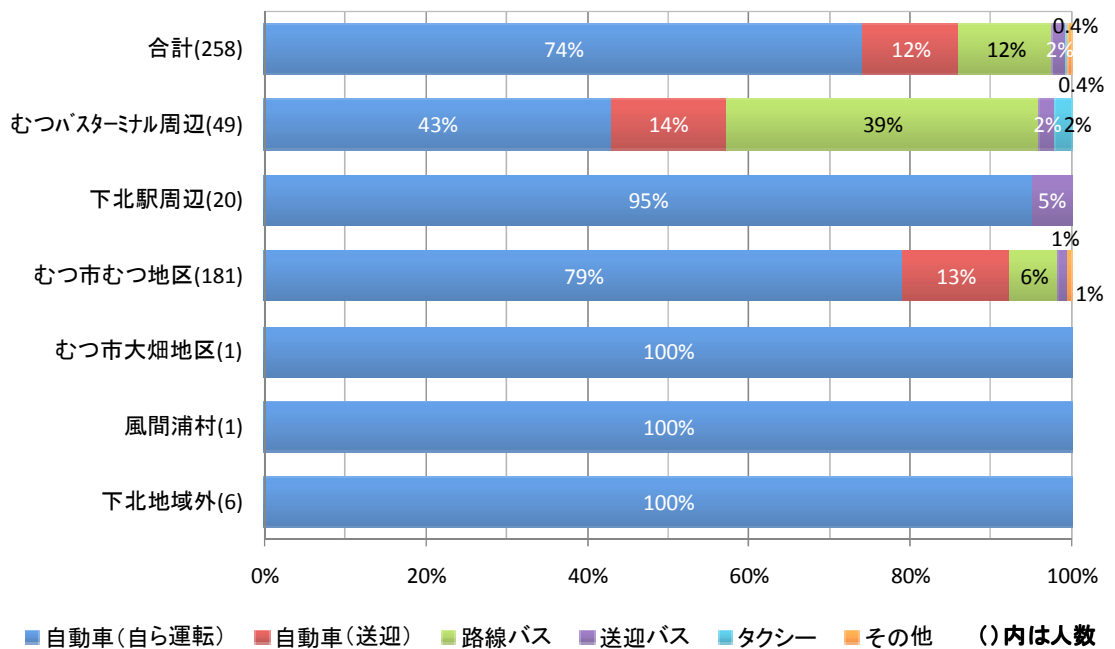


図 6-11 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段（平成 22 年 11 月～12 月中）

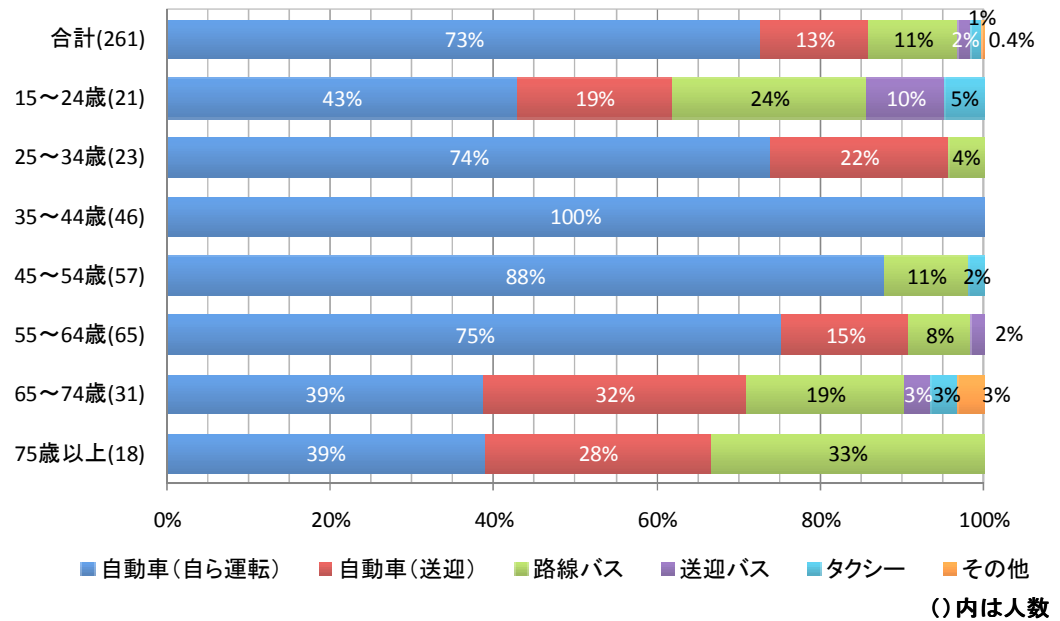


図 6-12 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

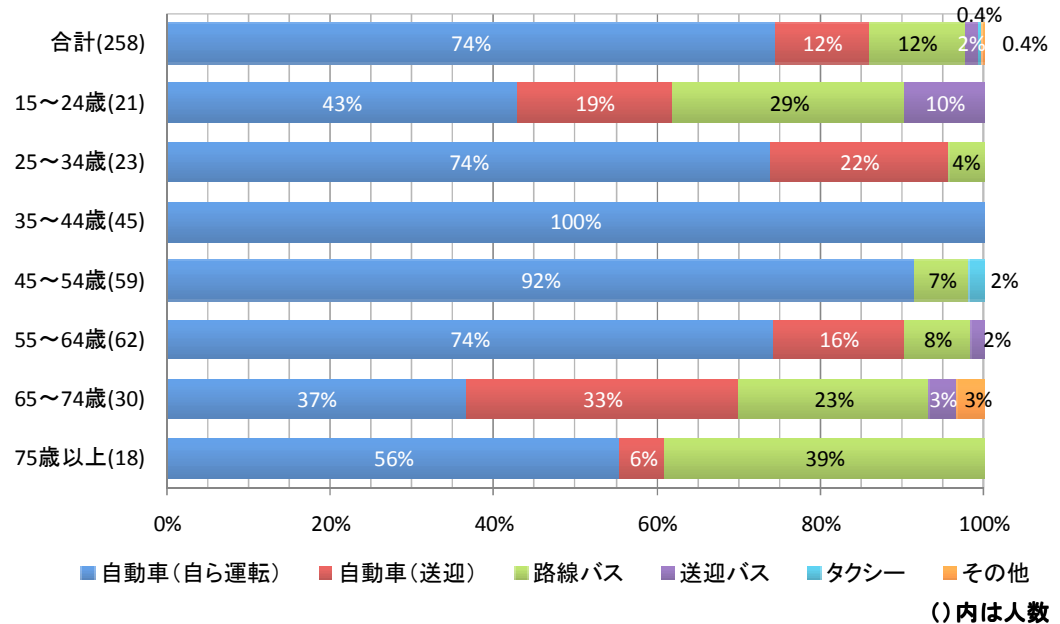


図 6-13 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 11 月～12 月中)

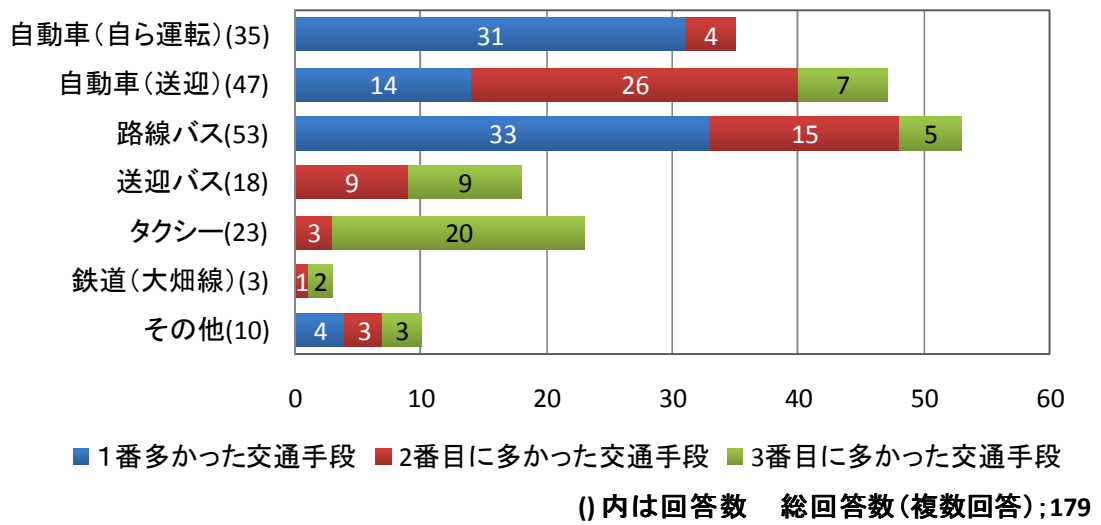
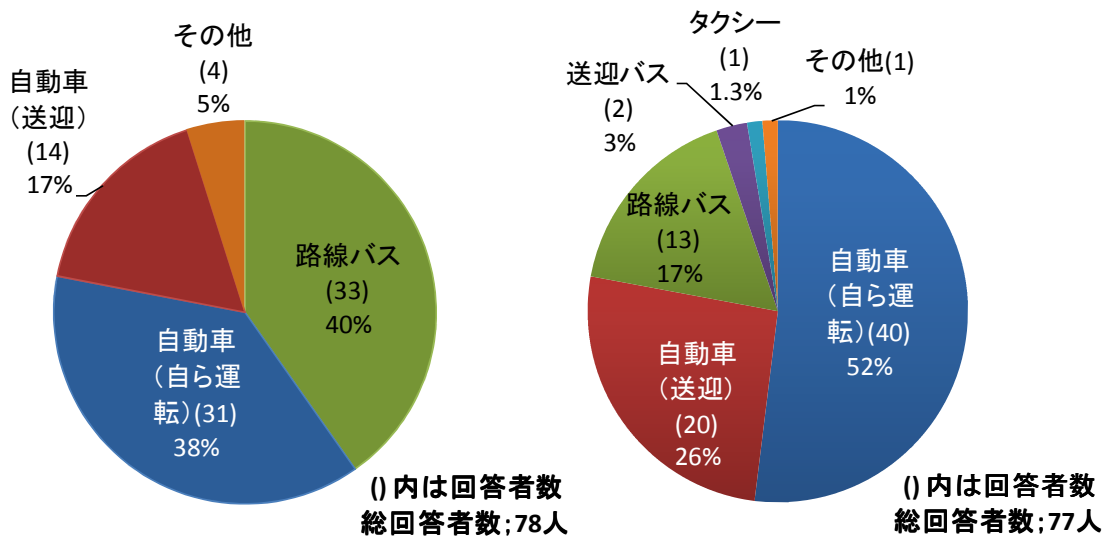


図6-14 過去の市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (60歳以上のみ回答)



(過去の1番多く利用した交通手段) (平成22年8~10月間の利用交通手段)

図6-15 市町村を跨ぐ移動の際の交通手段の比較 (60歳以上のみ回答)

●地域住民の意識

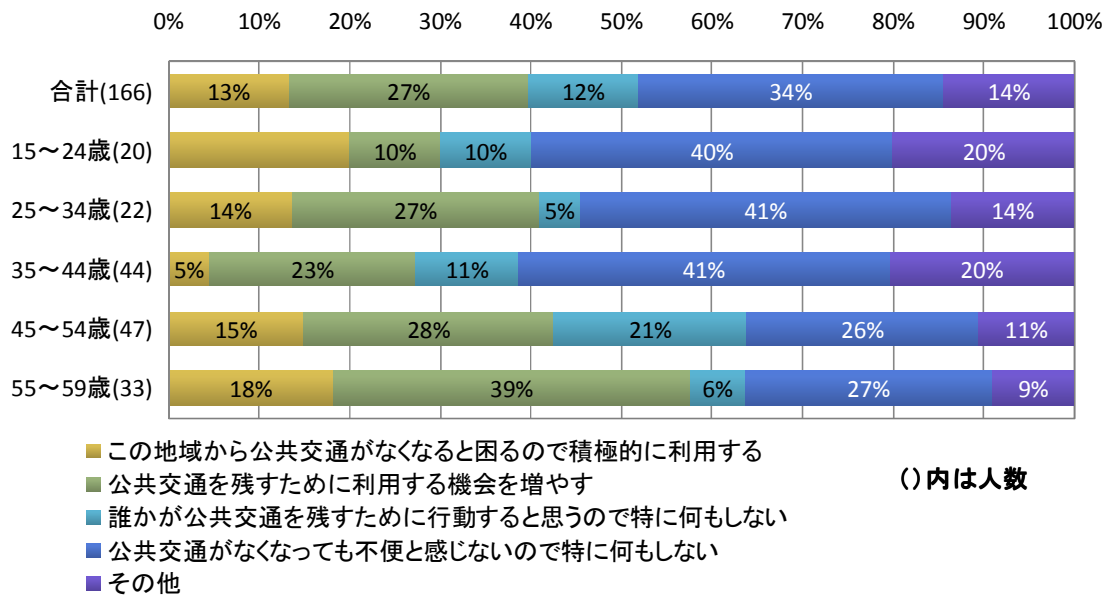


図 6-16 年齢別公共交通機関に対する意識（60歳未満のみ回答）

35～44歳の「その他」と回答した人の意識

- ・自分は利用しないが、祖母や子供が利用するので、公共交通は残して欲しい。

⑦風間浦村

●回答者属性

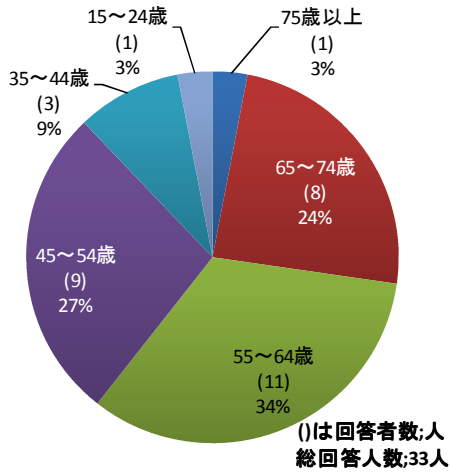


図 7-1 年齢別回答者数 (男性)

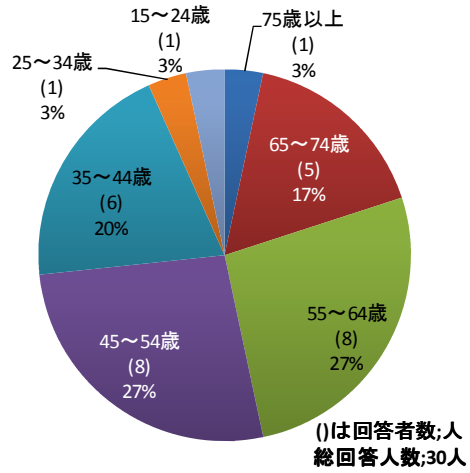


図 7-2 年齢別回答者数 (女性)

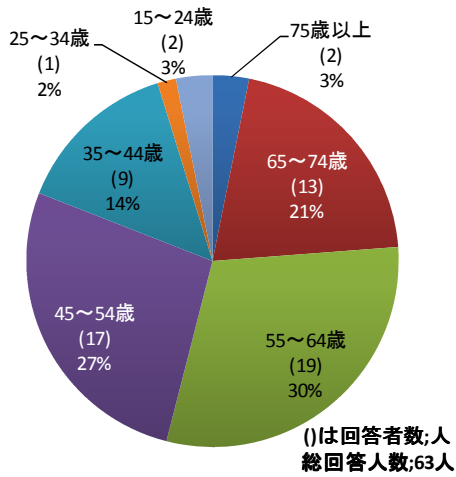


図 7-3 年齢別回答者数 (男女計)

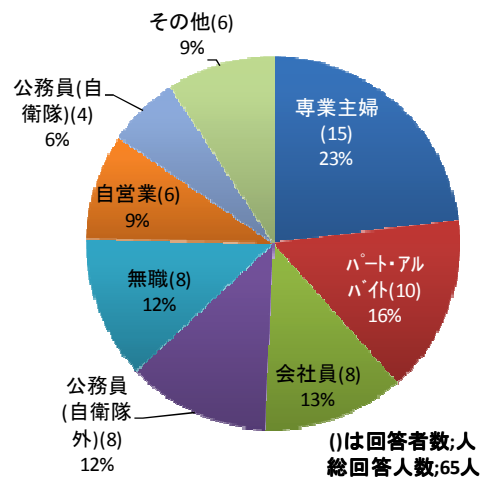


図 7-4 職業別回答者数

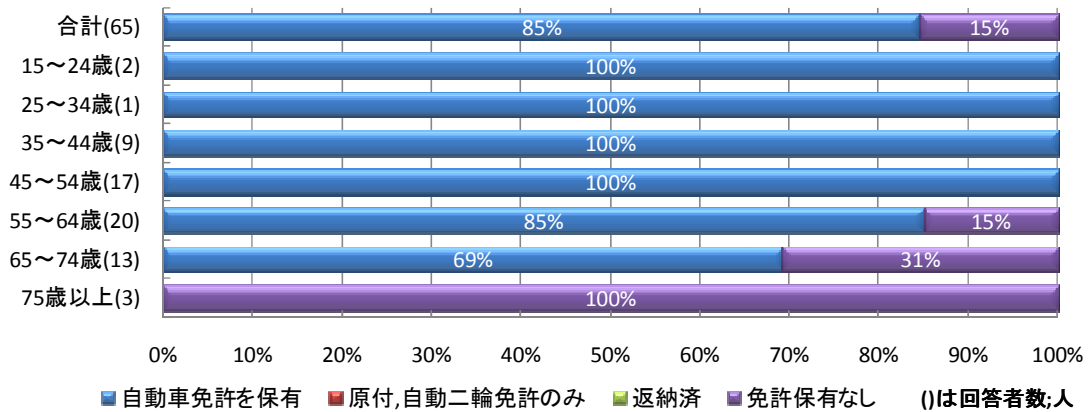


図 7-5 年齢別免許保有状況

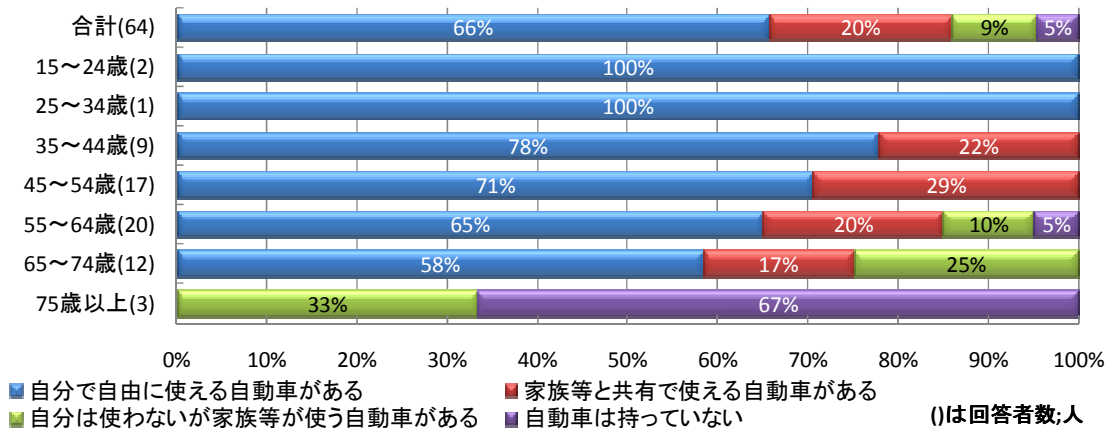


図 7-6 年齢別自家用車保有状況

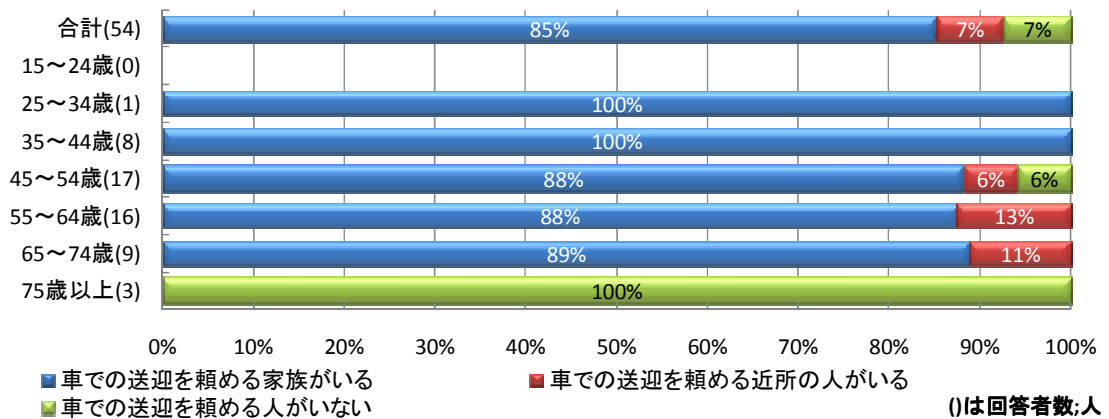


図 7-7 年齢別送迎環境

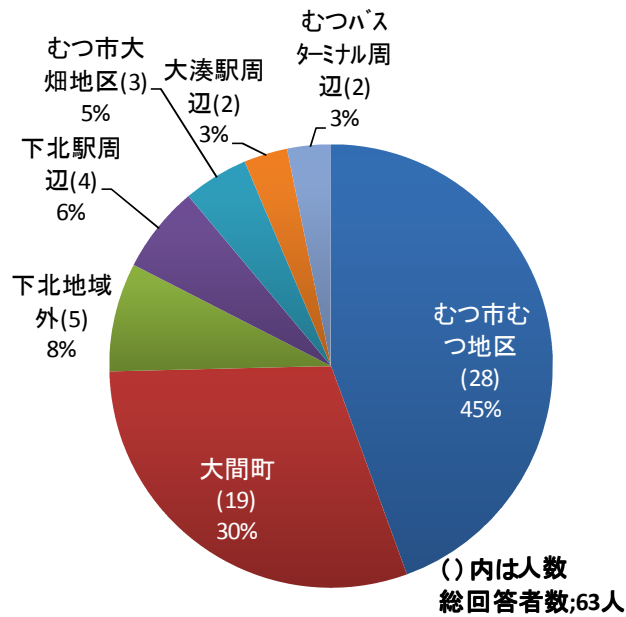


図 7-8 目的地別市町村を跨ぐ移動 (平成 22 年 8 月～10 月中)

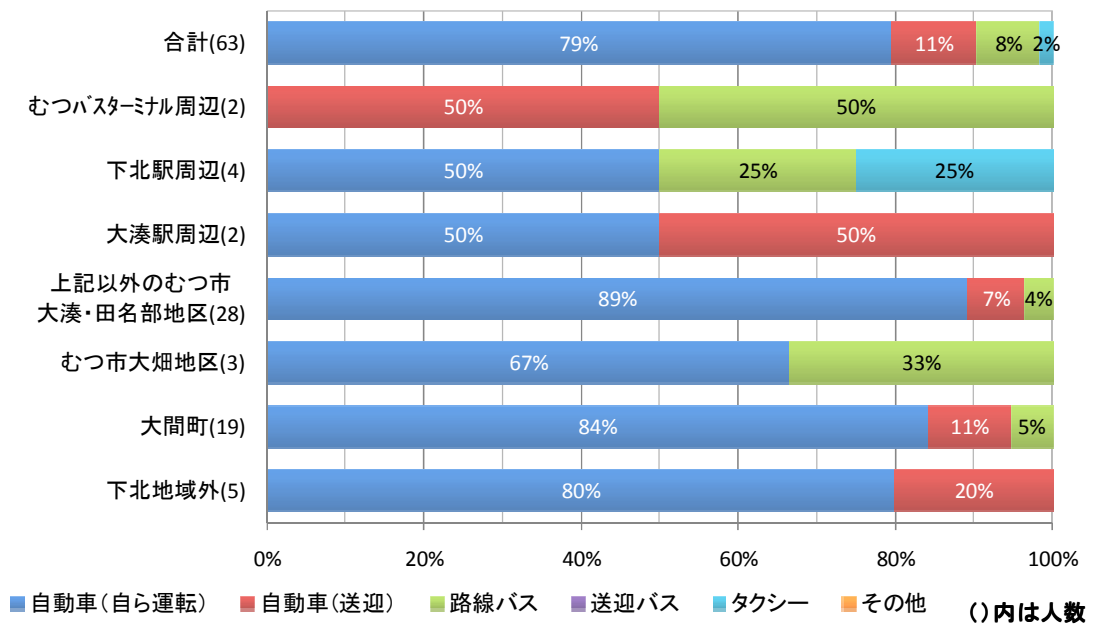


図 7-9 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

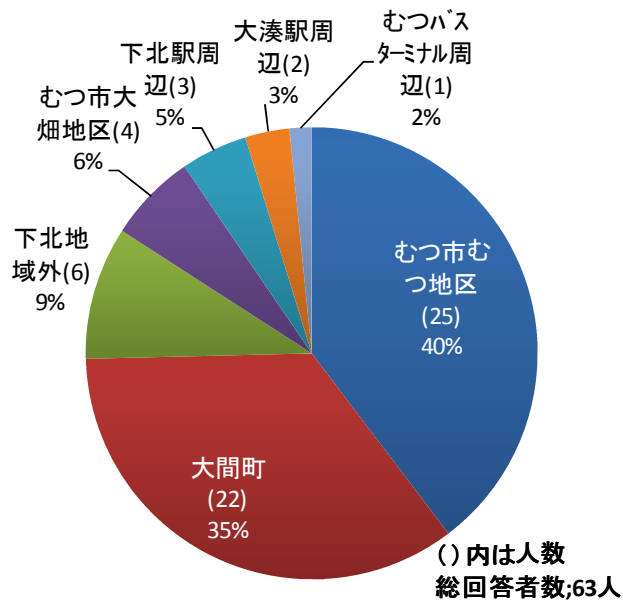


図 7-10 目的地別市町村を跨ぐ移動（平成 22 年 11 月～12 月中）

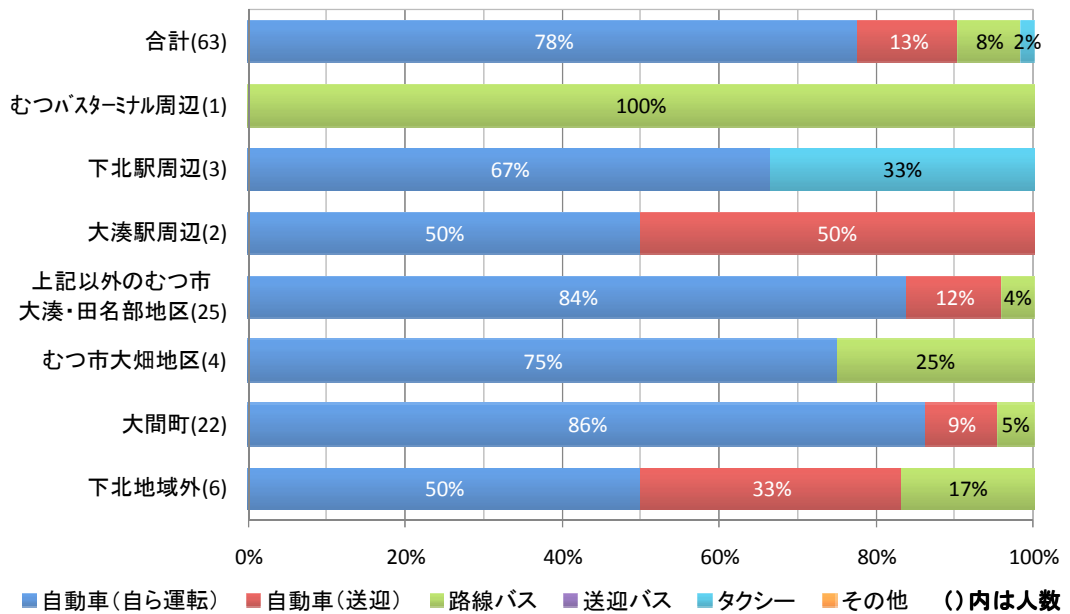


図 7-11 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段（平成 22 年 11 月～12 月中）

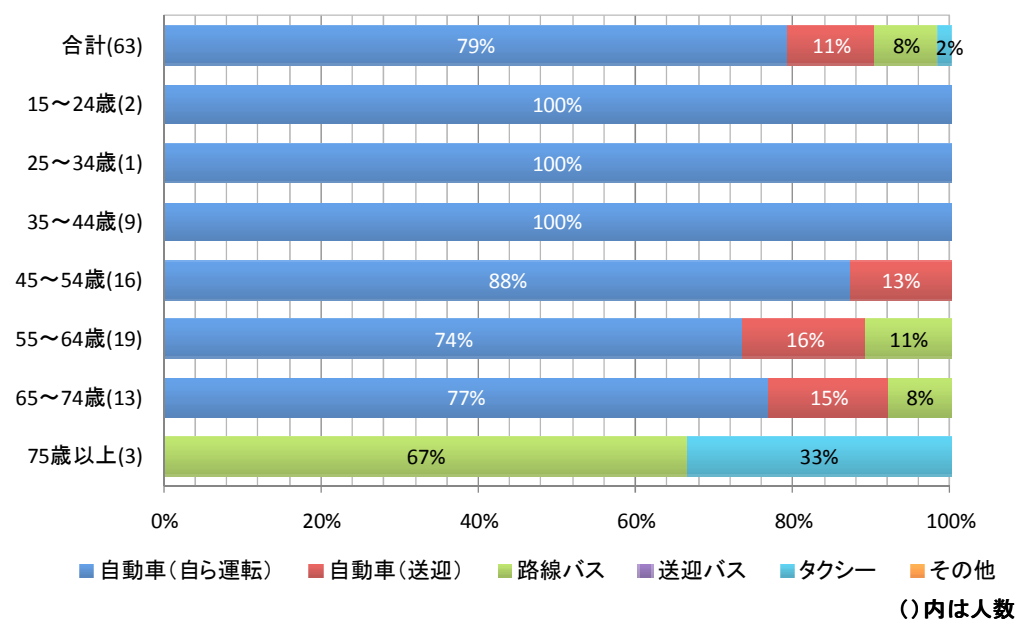


図 7-12 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

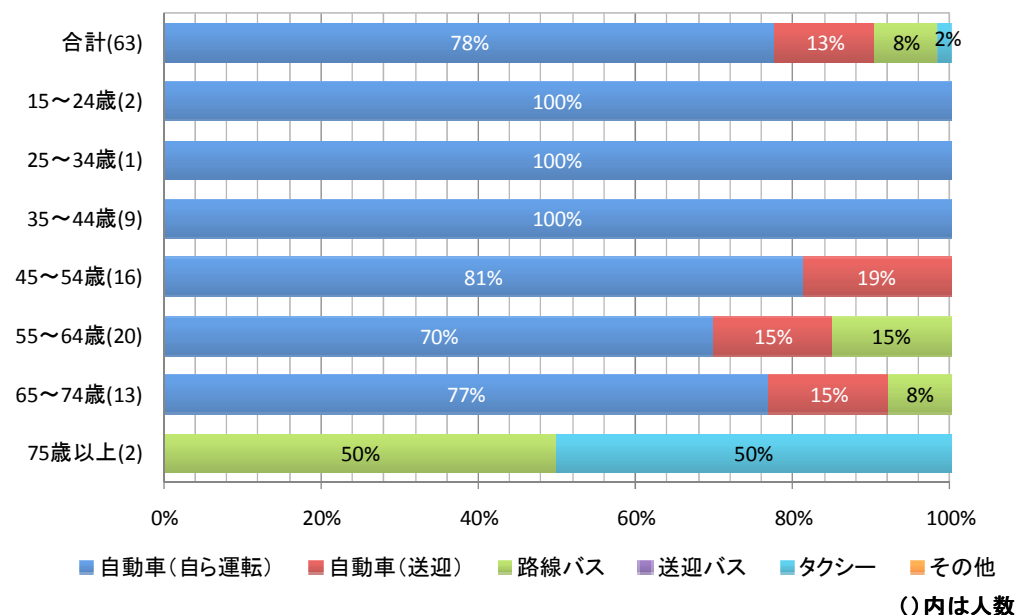


図 7-13 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 11 月～12 月中)

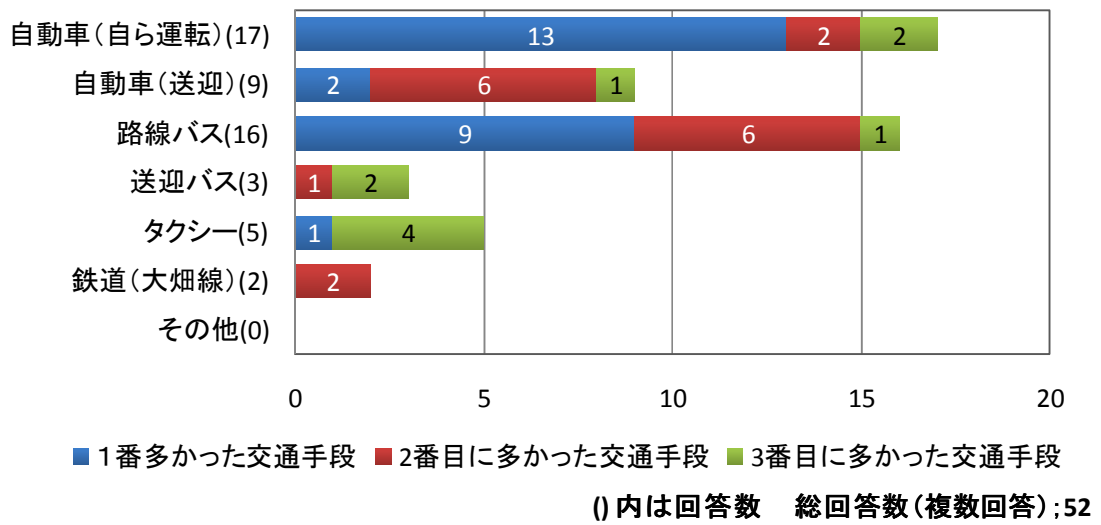
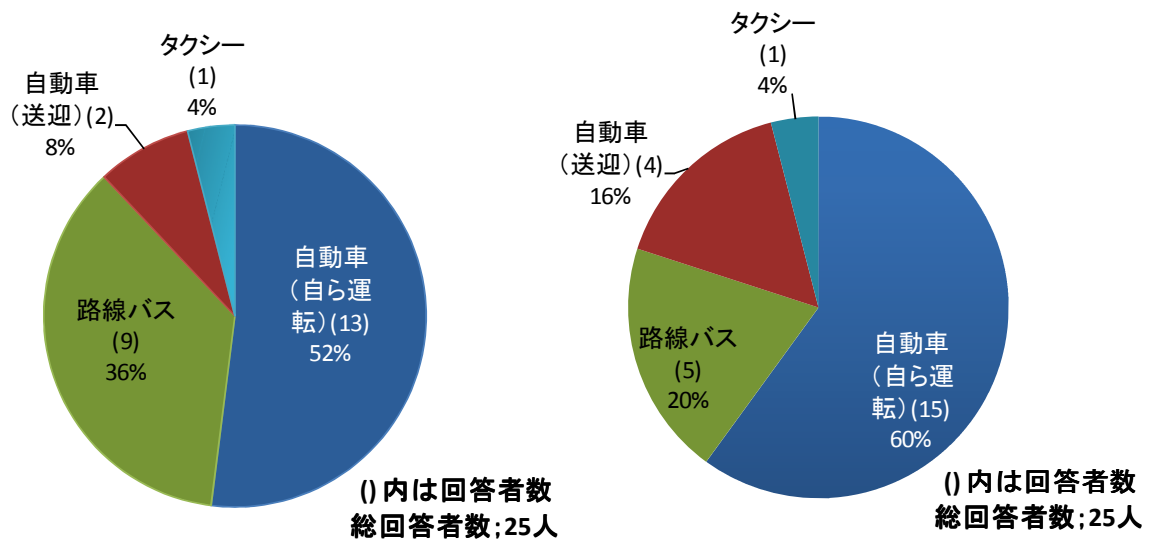


図 7-14 過去の市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (60歳以上のみ回答)



(過去の1番多く利用した交通手段) (平成22年8~10月間の利用交通手段)

図 7-15 市町村を跨ぐ移動の際の交通手段の比較 (60歳以上のみ回答)

●地域住民の意識

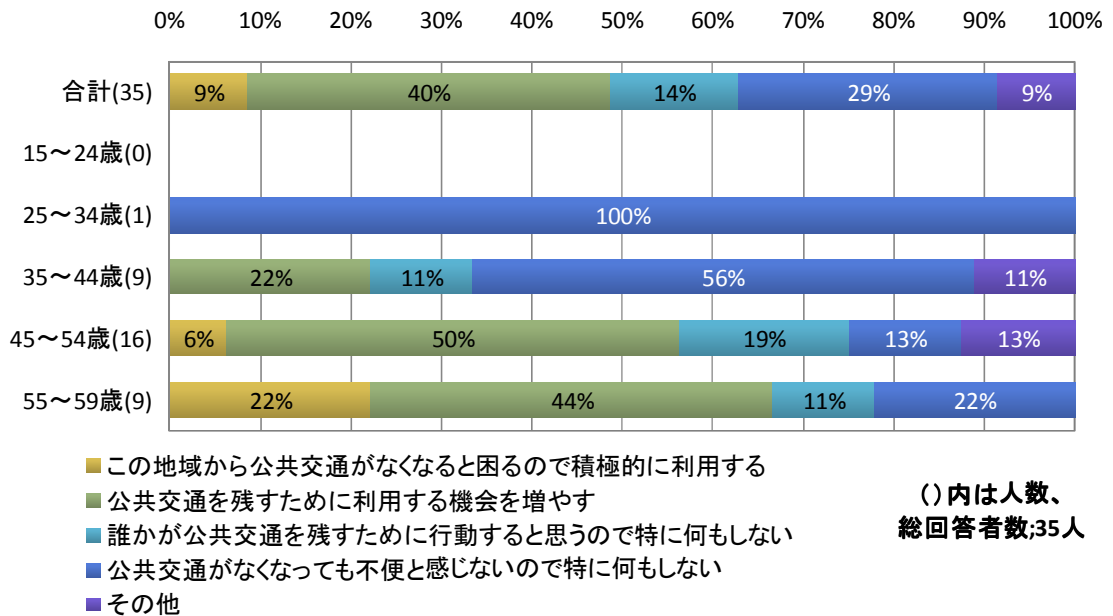


図 7-16 年齢別公共交通機関に対する意識 (60 歳未満のみ回答)

45～54 歳の「その他」と回答した人の意識

- ・公共交通がなくなると困るが、利用する事はないと思う。買い物に行ったとしても思う様に買い物ができず、運賃が高いのでどうしても自家用車になってしまう。

⑧佐井村

●回答者属性

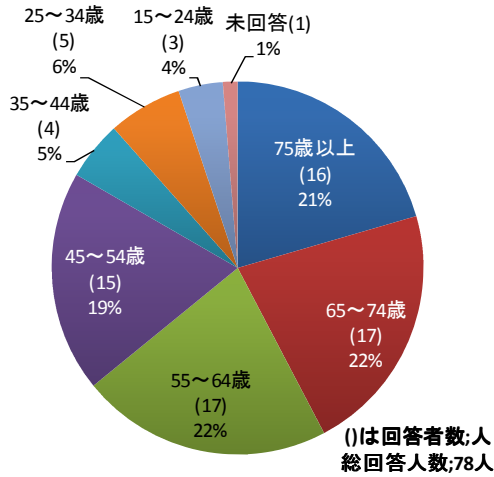


図 8-1 年齢別回答者数 (男性)

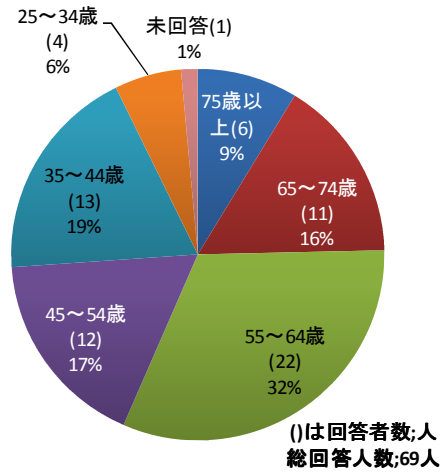


図 8-2 年齢別回答者数 (女性)

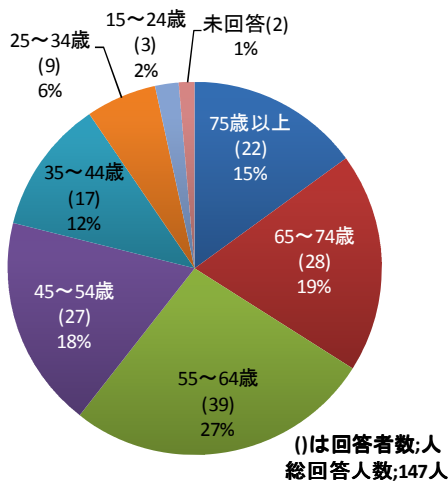


図 8-3 年齢別回答者数 (男女計)

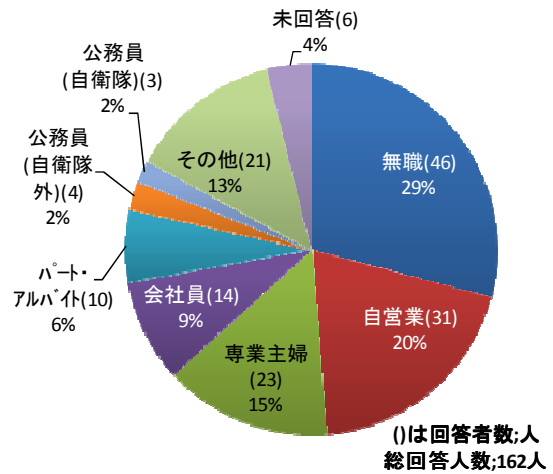


図 8-4 職業別回答者数

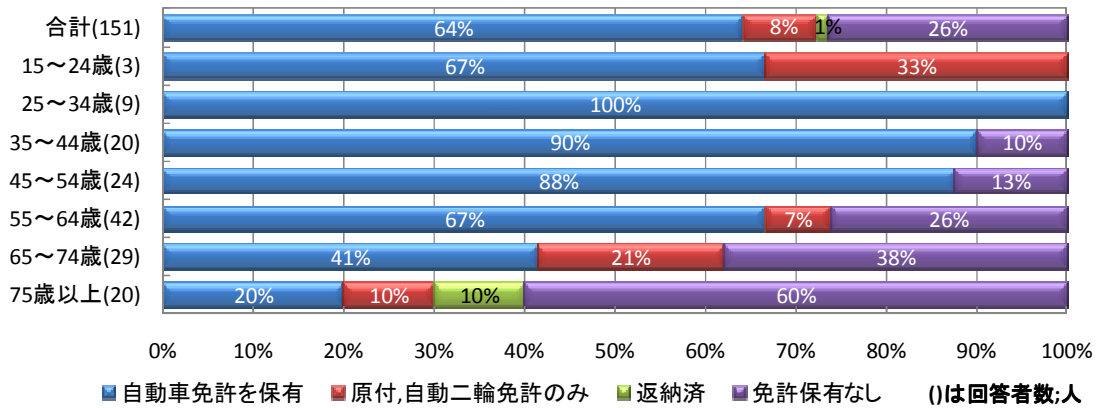


図 8-5 年齢別免許保有状況

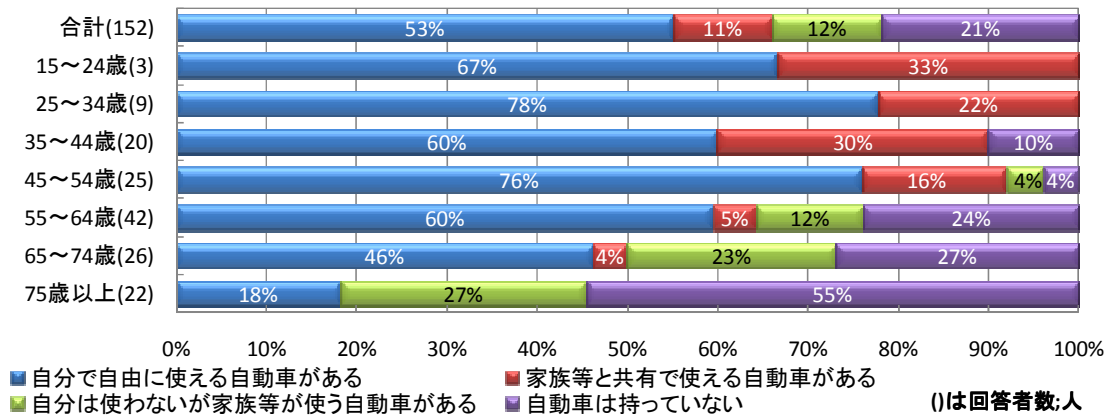


図 8-6 年齢別自家用車保有状況

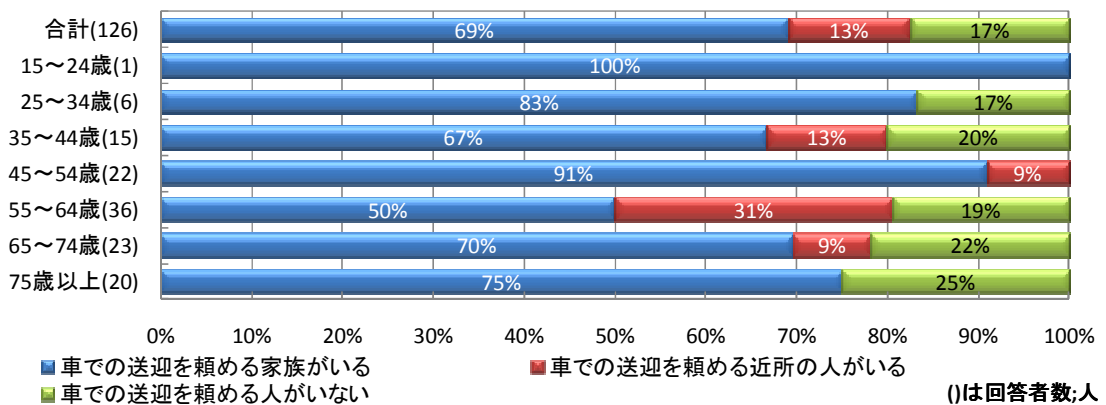


図 8-7 年齢別送迎環境

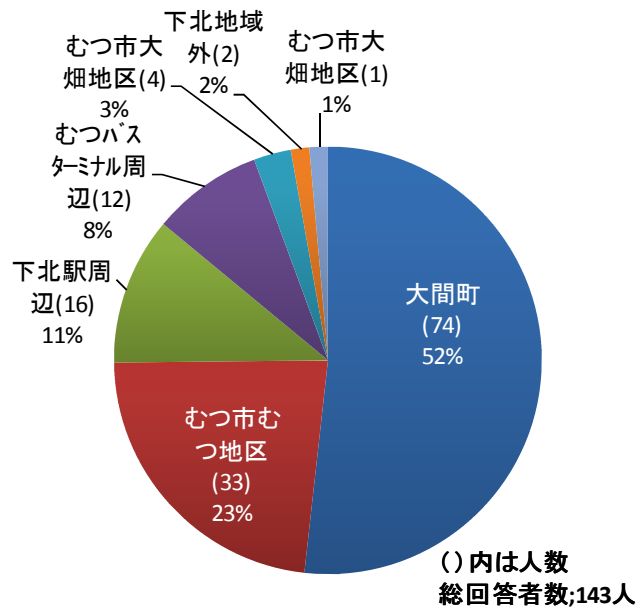


図 8-8 目的地別市町村を跨ぐ移動 (平成 22 年 8 月～10 月中)

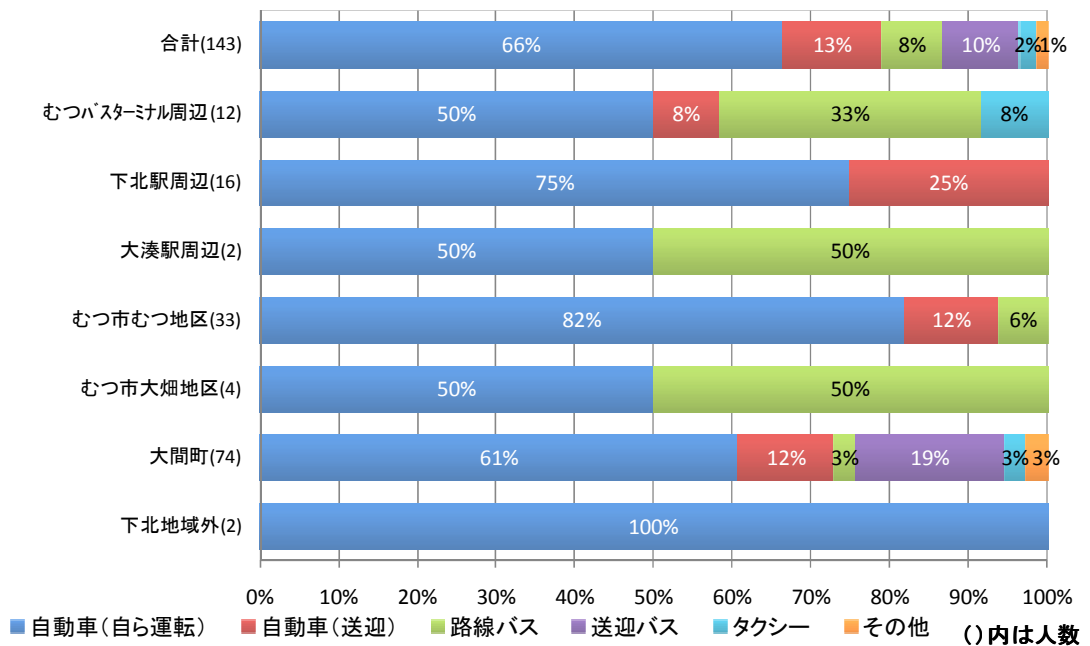


図 8-9 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

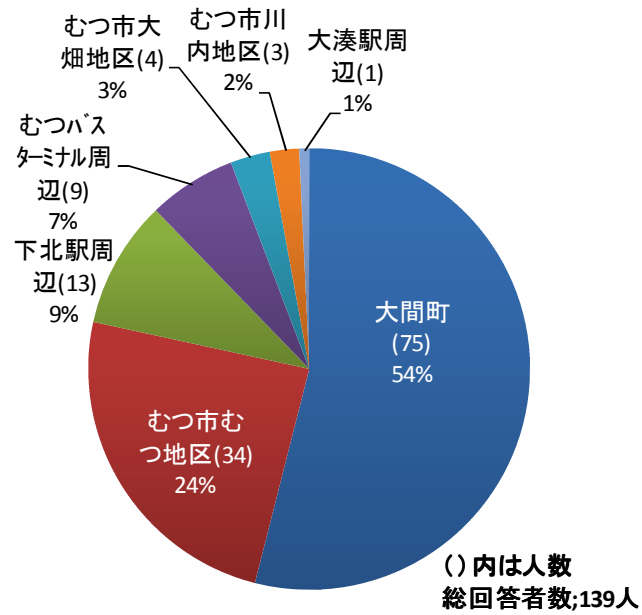


図 8-10 目的地別市町村を跨ぐ移動（平成 22 年 11 月～12 月中）

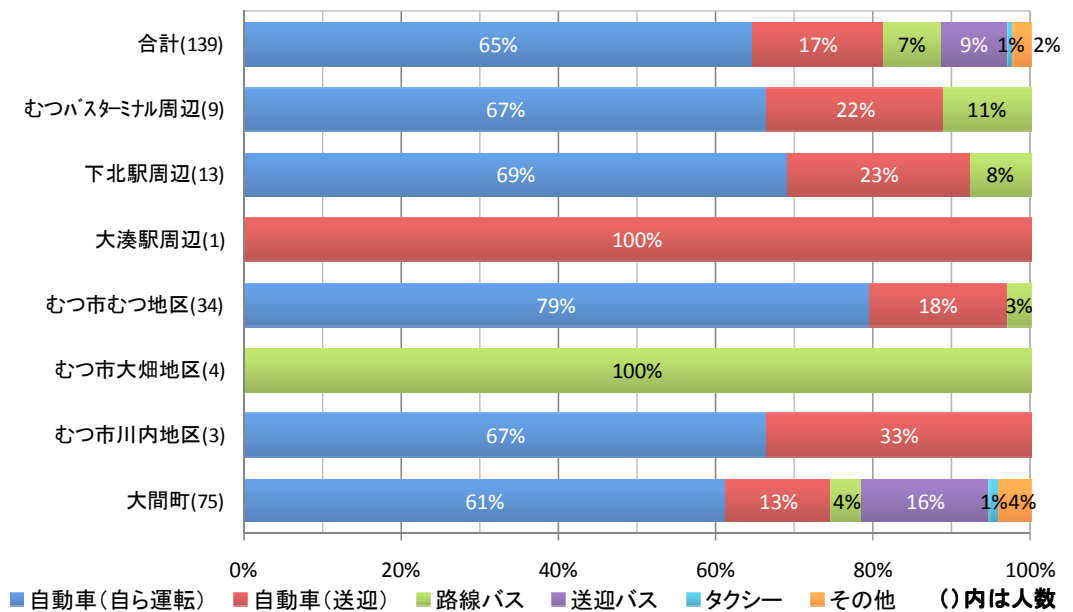


図 8-11 目的地別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段（平成 22 年 11 月～12 月中）

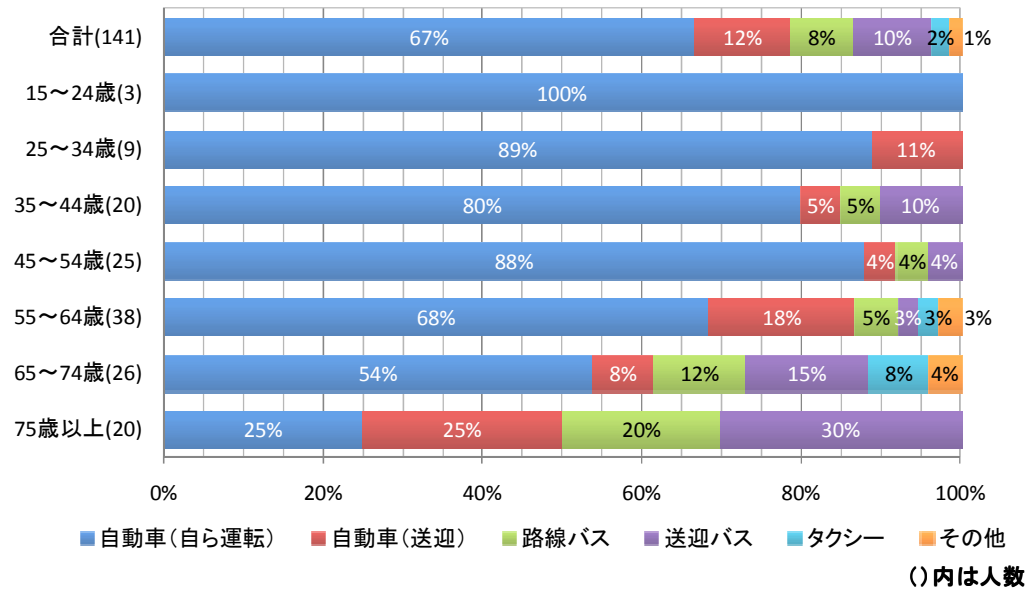


図 8-12 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 8 月～10 月中)

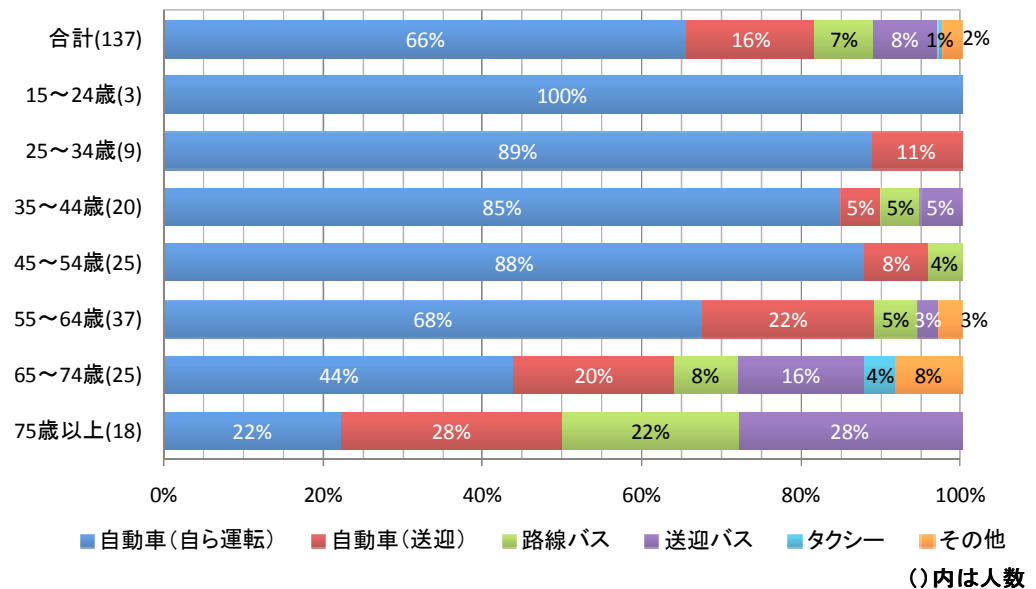


図 8-13 年齢別市町村を跨ぐ移動の際の交通手段 (平成 22 年 11 月～12 月中)

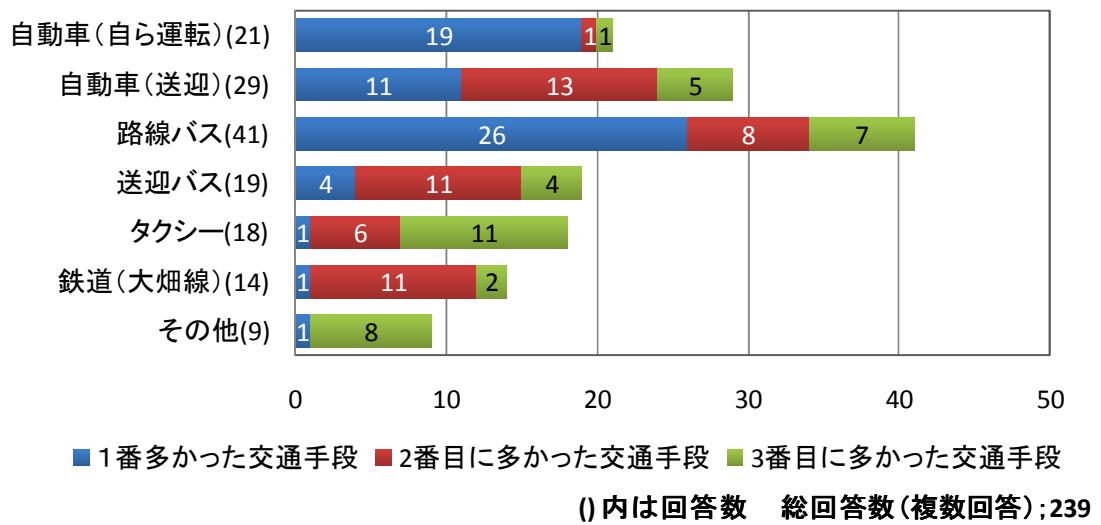
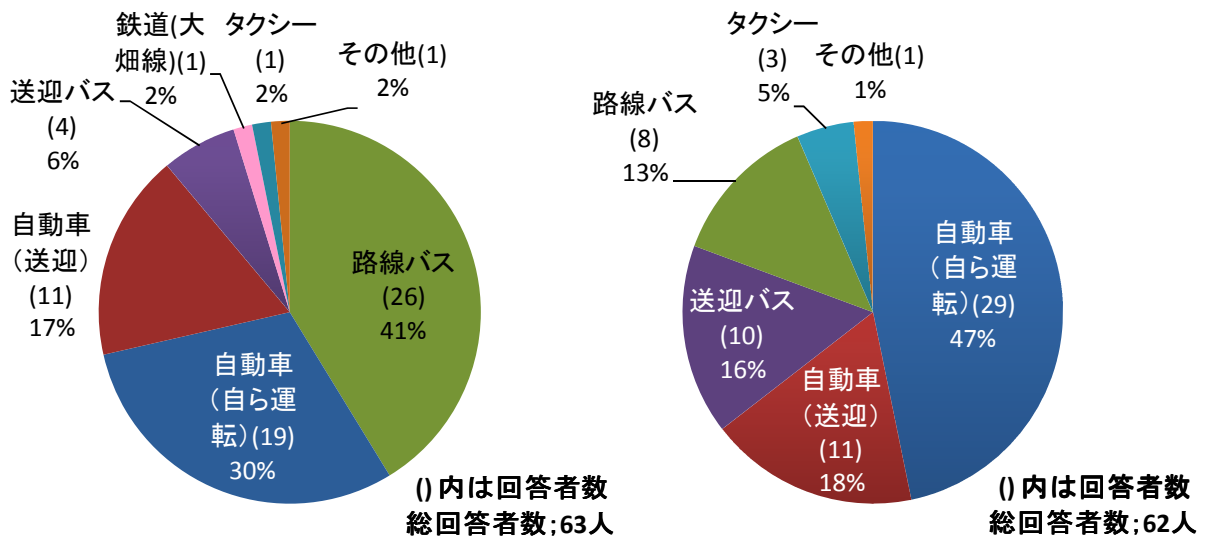


図8-14 過去の市町村を跨ぐ移動の際の交通手段(60歳以上のみ回答)



(過去の1番多く利用した交通手段) (平成22年8~10月間の利用交通手段)

図8-15 市町村を跨ぐ移動の際の交通手段の比較(60歳以上のみ回答)

●地域住民の意識

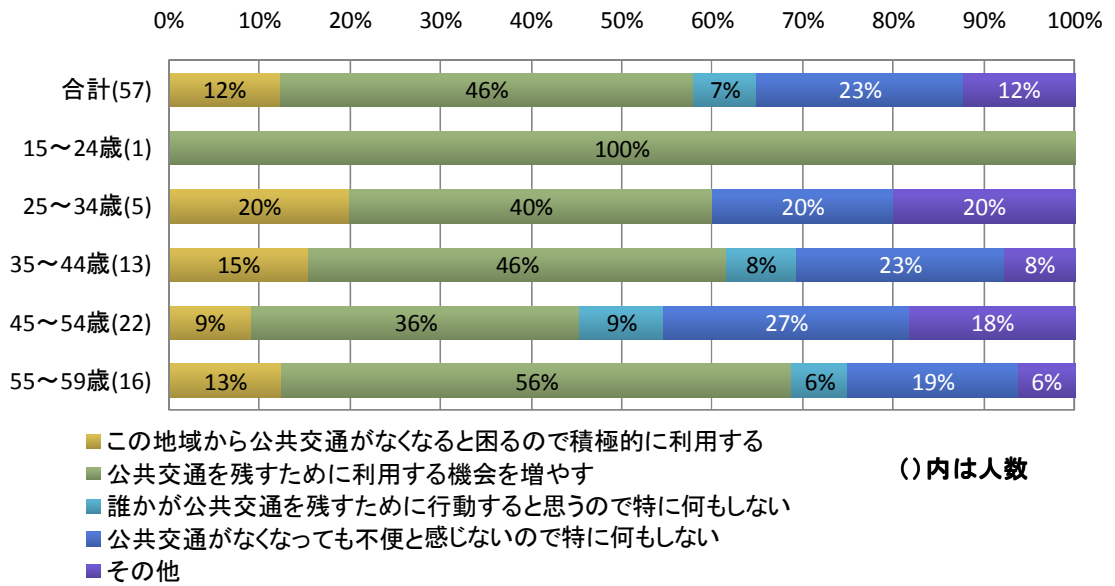


図 8-16 年齢別公共交通機関に対する意識 (60 歳未満のみ回答)

45～54 歳の「その他」と回答した人の意識

- ・現在よりも利用し易いコース、便数であれば利用する。